KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

bizhub 36

ユーザーズガイド　ファクス機能編



もくじ

1 はじめに

2 ファクス機能を使用する前に

3 操作パネル / 液晶画面

4 基本情報の登録

11 レポート / リストの見かた

12 ユーザーモード設定

13 PageScope Web Connection

14 ファクス機能で困ったとき

15 付録

16 索引

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
［すぐに使える操作ガイド］	すぐに本製品をご利用いただけるよう、使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
［安全にお使いいただくために］	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド コピー機能編］	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 · 原稿、コピー用紙の仕様 · コピー機能 · 本機のメンテナンス · トラブルの対処方法
［ユーザーズガイド プリンター機能編］	プリンター機能について記載しています。 · プリンター設定および操作 · プリンタートラブルの対処方法
［ユーザーズガイド スキャン機能編］	スキャン機能について記載しています。 · スキャン設定および操作 · スキャントラブルの対処方法
［ユーザーズガイド ファクス機能編］	ファクス機能について記載しています。 · ファクス設定および操作 · ファクストラブルの対処方法
［ユーザーズガイド 管理者機能編］	本機管理者が使用する機能や設定について記載しています。 · **操作パネル**での設定 · PageScope Web Connection での設定
［商標 / ライセンスについて］	商標およびライセンスについて記載しています。 · 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

1.2　ページの見かた

1.2.1　本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ **警告**
- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**
- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要
本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

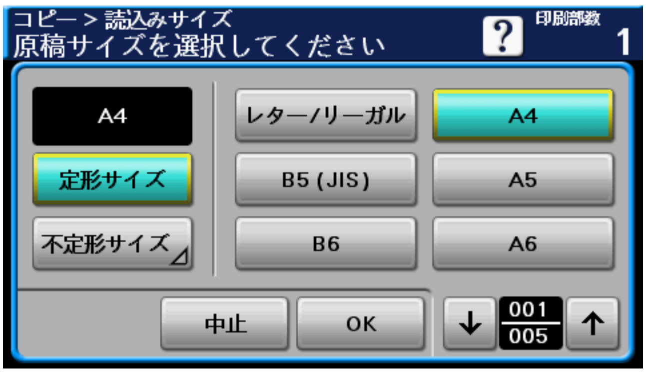
✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。
　➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

➔ この記号は、目的のメニューにアクセスする**操作パネル**の遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

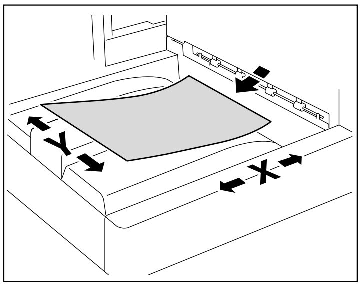
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2　原稿と用紙の表示について

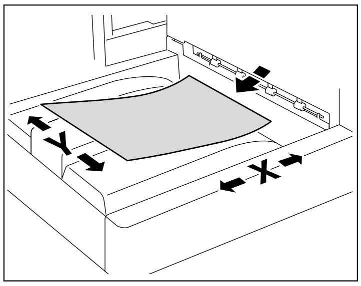
原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

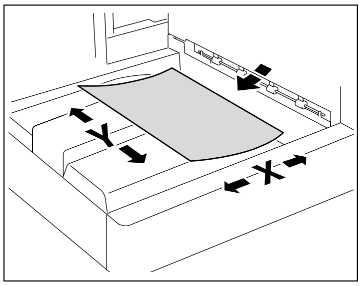


原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。



2 ファクス機能を使用する前に

2　ファクス機能を使用する前に

本機のファクス機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

2.1　知っておいていただきたいこと

⚠ **注意**
- **電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと正常に機能しないことがあります。

参考
- ファクス機能を使用するには、オプションの **FAX キット FK-509** が必要です。
- 本機はカラーでファクスを送受信することはできません。

2.1.1　ファクス機能について

機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークや電話回線を通じて送受信できます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。
- ファクス（G3）機能
- インターネットファクス（I-FAX）機能
- PC-FAX 機能

ファクス（G3）/PC-FAX 機能使用時の注意

本機を接続することのできる電話回線は以下のとおりです。
- 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について以下の項目を確認してください。
- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、SuperG3 による通信ができなくなる可能性があります。

ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

インターネットファクス /PC-FAX 機能使用時の注意

インターネットファクス機能および PC-FAX 機能をネットワーク接続で使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている＜必須＞

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、4-4 ページをごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

インターネットファクス機能使用時の注意

インターネットファクス機能使用時の注意は以下のとおりです。

- インターネットファクス機能を使用できる環境は以下のとおりです。
  - 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができる
- 電子メールの送信を行った場合、ネットワークの状況などにより添付ファイルが破損する場合があります。送信文書の添付ファイルが破損していないか必ず確認してください。
- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。「----」はサーバーまでは通常に通信できたことを示しています。

2.1.2　　ユーザーの認証

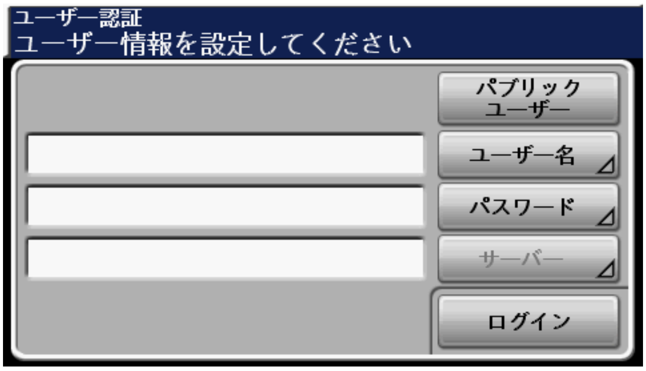
本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

参考

- 誤ったパスワードを連続 3 回入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。
- オプションの**認証装置** AU-201 を使用して認証を行っている場合のログイン方法は、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

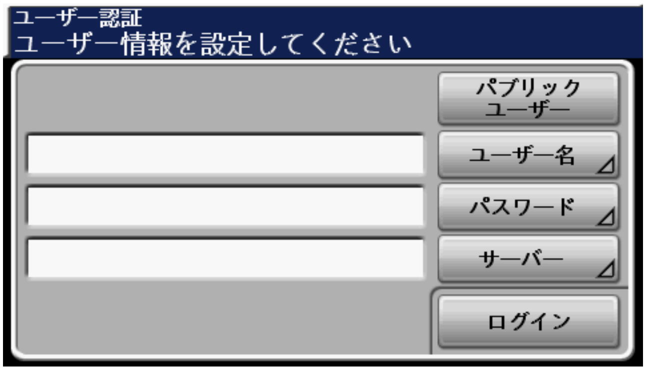
デバイス認証

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] または ID を押します。



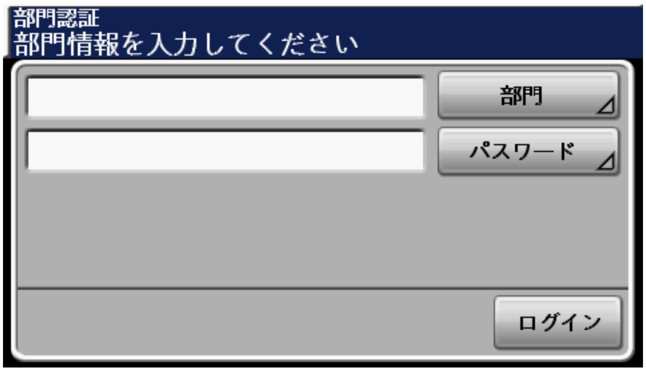
外部サーバー認証

ユーザー名、パスワード、サーバーを指定し、[ログイン] または ID を押します。



部門認証

部門とパスワードを入力し、[ログイン] または ID を押します。



2.1.3 ファイル名の制限

保存する文書のデータに名前をつけることができます。

参考

- 名称の長さは半角で 30 文字までです。
- 名称は保存したあとから変更することもできます。
- 名称は保存時に指定できますが、指定せずに保存したときはあらかじめ設定された名称が付けられます。

名称を指定しないで保存した場合、名称は以下の内容を組み合わせて付けられます。
「SMFP110511152300」を例に説明します。

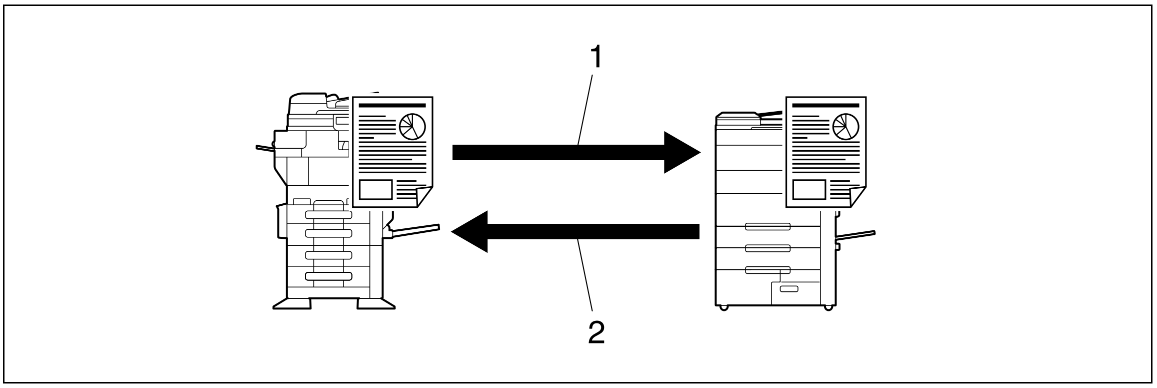
項目	説明
S	保存したときのモードを表しています。 S：スキャン（E-mail 送信 / ファイル送信） F：ファクス P：プリンター
MFP	データを読込んだデバイス（機器）の名称です。[管理者設定] ▸▸ [管理者登録] ▸▸ [マシン登録] で、[装置名] に入力されている名称が表示されます。名称を変更する場合は、10 文字以内で設定します。
110511152300	読込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時間、分を続けて表示します。同じ時刻（分）に複数枚を読込んだ場合は、最後の 2 桁に連番が付きます。
_0001	複数ページのデータを読込んだとき、ページを表します。この数字はファイル名の画面では表示されませんが、送信時に、自動的にファイル名の一部として付けられます。FTP 送信時などにサーバーのファイル名受付の条件がある場合、この部分も考慮して名称を付けてください。
.TIF	指定したデータ形式の拡張子です。この文字はファイル名の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。

2.2 概要

2.2.1 ファクス（G3）機能でできること

ファクス（G3）の送受信

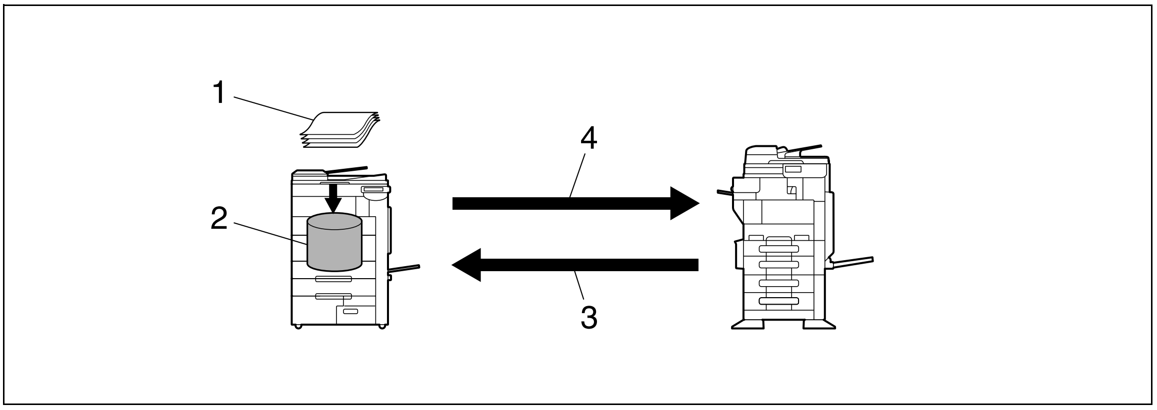
ファクス（G3）の送受信ができます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、同報で送信することができます。



1. 送信
2. 受信

ポーリング

ポーリング指示を送ることで相手先ファクスから原稿を受信する（ポーリング受信）ことができます。



1. 原稿
2. メモリー / 掲示板
3. ポーリング指示
4. 受信

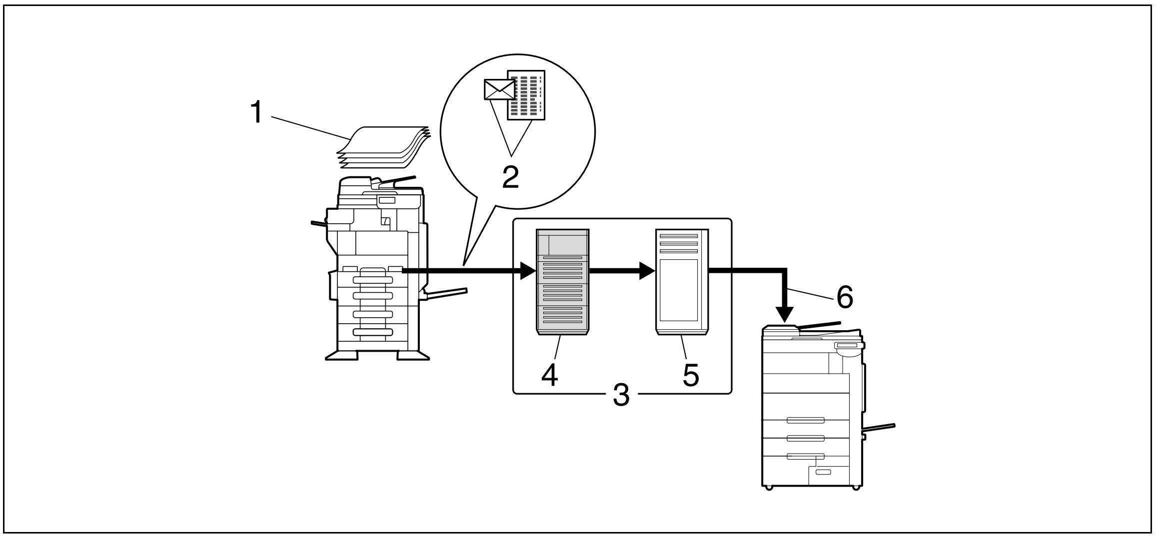
2.2.2 インターネットファクス機能でできること

イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読取った原稿を、電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。送信先のインターネットファクス対応の機器は、電子メールを受信し、添付ファイルをプリントします。

イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。相手先の E-mail アドレスを指定して送信します。

本機は、インターネットファクスで文書を受信し、モノクロでプリントもできます。

白黒 2 値の文書を受信した場合は、プリントできますが、カラーやグレースケールの原稿を受信した場合は、データは破棄され、プリントされません。



1. 原稿
2. 電子メール +TIFF 形式の添付ファイル
3. イントラネット / インターネット
4. SMTP サーバー
5. POP サーバー
6. インターネットファクス受信

2.2.3 PC-FAX 機能でできること

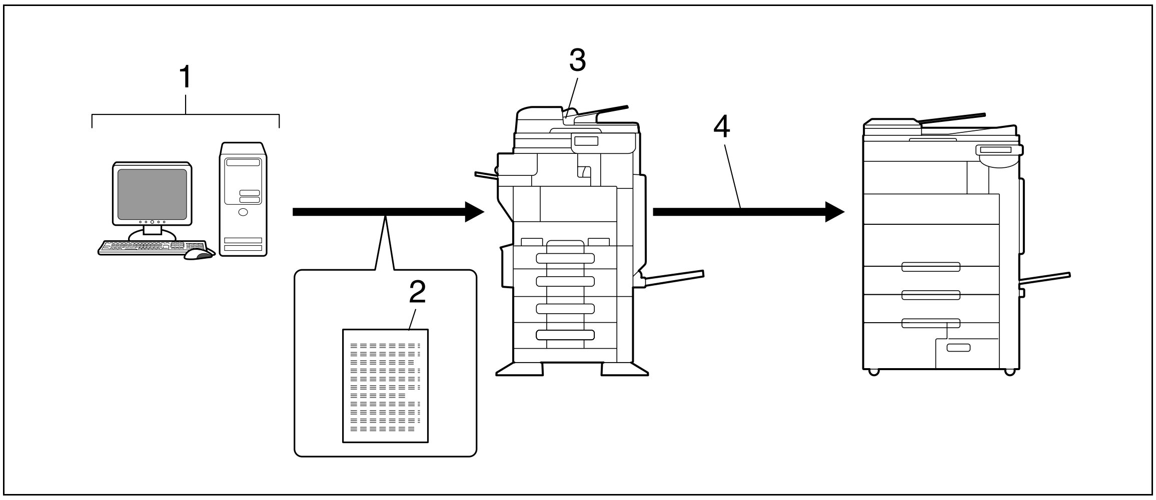
PC-FAX 送信

通常、ファクスを送信するときは、紙に書かれたものや印刷されたものをファクスにセットして送信します。

ファクスドライバーを使用すると、コンピューターから操作するだけで、紙を使用せずにファクスを直接送信できます。

アプリケーションで作成されたデータは、ファクスドライバーを使用し、USB インターフェースまたはネットワークを通じてデータが本機に送られ、本機のプリンターコントローラーに渡されます。

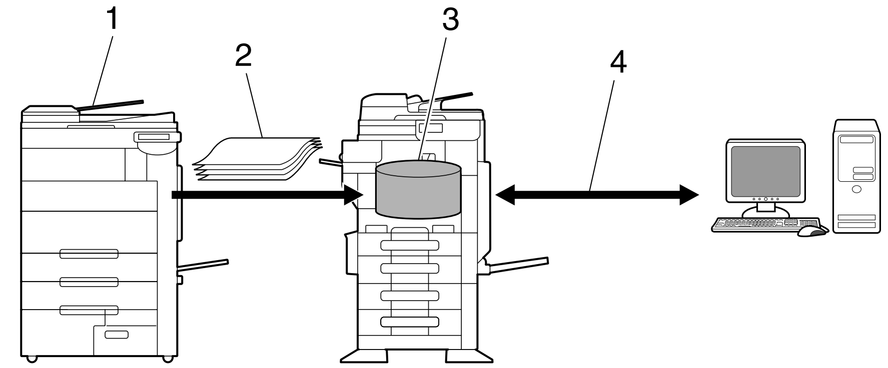
プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機のメモリーに蓄積され、通常のファクスジョブと同様にファクス送信されます。



1. Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
2. TIFF 形式のファイル
3. 本体
4. 送信

PC-FAX 受信

ファクスとして受信した文書のデータを本機に内蔵されている SSD に保存する機能です。保存したデータは印刷、またはネットワーク上のコンピューターにダウンロードすることができます。



1. 送信側
2. 原稿
3. SSD
4. ダウンロード

PC-FAX 受信を行うと、以下の機能は使用できません。

- 強制メモリー受信
- 転送ファクス
- 夜間受信機能

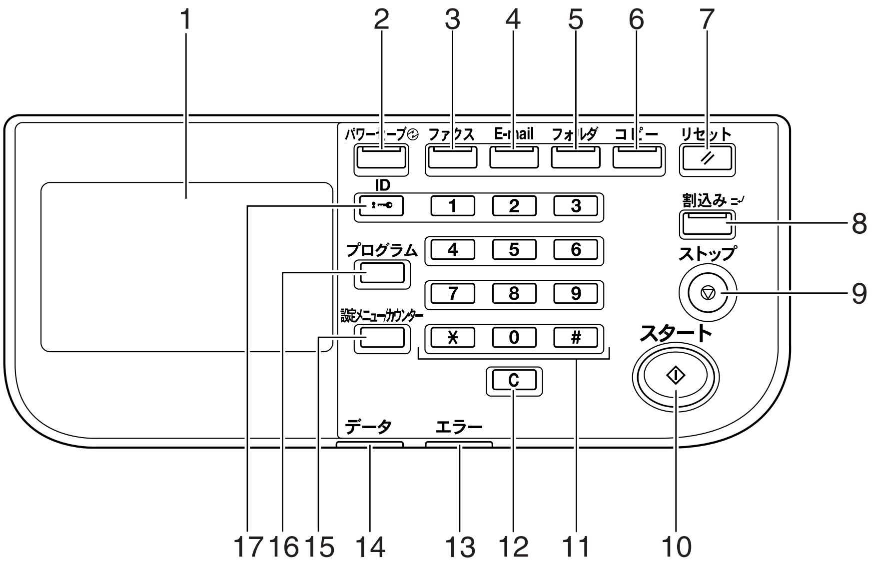
3 操作パネル / 液晶画面

3 操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

3.1 操作パネル

操作パネルのキーについて説明します。



No.	名称	説明
1	**タッチパネル**	各設定画面やメッセージが表示されます。**タッチパネル**に直接タッチして各設定を行うことができます。
2	**パワーセーブ**	スリープモードに切換わります。スリープモード時はランプが緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。スリープモード時に**パワーセーブ**を押すと、スリープモードは解除されます。
3	**ファクス**	ファクス機能に切換わります。ファクス機能中は**ファクス**が緑色に点灯します。 FAX キット FK-509 が装着され、ファクス機能が有効な場合に使用します。
4	**E-mail**	E-mail 送信機能に切換わります。E-mail 送信機能中は **E-mail** が緑色に点灯します。 E-mail 送信機能について詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
5	**フォルダ**	ファイル送信機能に切換わります。ファイル送信機能中は**フォルダ**が緑色に点灯します。 ファイル送信機能について詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
6	**コピー**	コピー機能に切換わります。コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。 コピー機能について詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
7	**リセット**	**操作パネル**、または**タッチパネル**で入力した設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
8	**割込み**	割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯します。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能を解除できます。
9	**ストップ**	コピー、スキャン、印刷中に動作を一時停止できます。
10	**スタート**	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始できます。

No.	名称	説明
11	**テンキー**	部数の設定ができます。倍率の入力ができます。各種の設定値の入力ができます。
12	C（クリア）	**テンキー**で入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。
13	**エラーランプ**	エラー発生時はオレンジ色に点滅します。サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。
14	**データランプ**	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。
15	**設定メニュー / カウンター**	［設定メニュー］画面に切換わります。 ［設定メニュー］画面では、［ユニバーサル設定］、［セールスカウンター］、［宛先登録］、［ユーザー設定］、［管理者設定］の各設定や確認ができます。
16	**プログラム**	目的のコピー / ファクス / スキャン機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。
17	**ID**	ユーザー認証または部門認証を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門認証）を入力したあとに **ID** を押すと本機が使用できるようになります。 また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。

⚠ 注意

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

3.2 タッチパネル

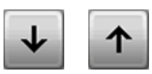
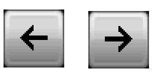
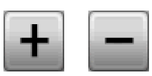
3.2.1 全体の画面構成

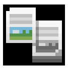
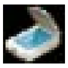


No.	名称	説明
1	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
2	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
3	トナー残量表示	トナー残量を表示します。
4	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。

タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	画面が複数ある場合、ページを切換えます。 [↑] と [↓] の間の数値は、画面の「現在のページ数 / 総ページ数」を示しています。
	複数のタブがある場合、タブの表示を切換えます。
	設定値を増減します。
	設定値を増減します。
	エラー発生時に表示されます。アイコンを押すと、エラー画面が表示されます。
	表示中の機能や設定のヘルプが表示されます。
	本機に登録されている宛先が表示されます。短縮宛先やグループ宛先を指定できます。

アイコン	説明
	コピー動作中に表示されます。
	原稿の読込み動作中に表示されます。
	印刷動作中に表示されます。
	ファクス（G3）回線の使用中に表示されます。
	タイマー送信機能により送信予約したジョブがあるときに表示されます。
	強制メモリー受信機能や PC-FAX 受信機能により本機の SSD に保存された文書があるときに表示されます。
	本機から送信しているときに表示されます。
	本機が受信しているときに表示されます。
	セキュリティー強化モードが設定されているときに表示されます。
	外部メモリーが接続されているときに表示されます。
	サービスエンジニアによって交換する部品が交換時期に達したときに表示されます。サービス実施店にご連絡ください。

3.2.2　　ジョブ

ジョブ画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認を行うことができます。

✔ 1 つのジョブの実行中でも、別のジョブを登録できます。ファクスの送信ジョブは最大 20 件まで、ファクスの受信ジョブは最大 100 件まで登録できます。
✔ 履歴画面を表示している場合は［実行中］を押すと、実行中のジョブ画面が表示されます。
✔ 実行中のジョブ画面を表示している場合は［履歴］を押すと、履歴画面が表示されます。
✔ ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴は表示されません。

➔ ホーム画面で［ジョブ］を押します。



＜［印刷］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

＜［印刷］の履歴リスト＞

印刷されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、ジョブ名、登録時間、完了時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。

＜［送信］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

＜［送信］の履歴リスト＞

ファクスの送信またはスキャン送信されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスの受信後に転送された場合にも、［送信］の履歴リストに表示されます。

［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［個人情報非表示］が［する］に設定されている場合は、［詳細］の宛先は表示されません。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、宛先、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

＜［受信］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

＜［受信］の履歴リスト＞

ファクスを受信、転送されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

<［保存］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

<［保存］の履歴リスト>

ハードディスクや USB メモリーへ保存されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスを強制メモリー受信や PC-FAX 受信した場合も、［保存］の履歴リストに表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、ジョブ名、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

4 基本情報の登録

4 基本情報の登録

ファクス機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

4.1 はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

4.1.1 必要な環境と設備

各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

機能	環境と設備
ファクス（G3）機能	· FAX キット FK-509（オプション）の装着と設定 · モジュラーケーブルの接続
インターネットファクス機能	· FAX キット FK-509（オプション）の装着と設定 · ネットワークケーブルの接続 · ネットワークの設定 · 本機の E-mail アドレスの設定
PC-FAX 機能	ネットワーク接続の場合 · FAX キット FK-509（オプション）の装着と設定 · モジュラーケーブルの接続 · ネットワークケーブルの接続 · ネットワークの設定 · ファクスドライバーのインストール
	ローカル接続の場合 · FAX キット FK-509（オプション）の装着と設定 · モジュラーケーブルの接続 · USB ケーブルの接続 · ファクスドライバーのインストール

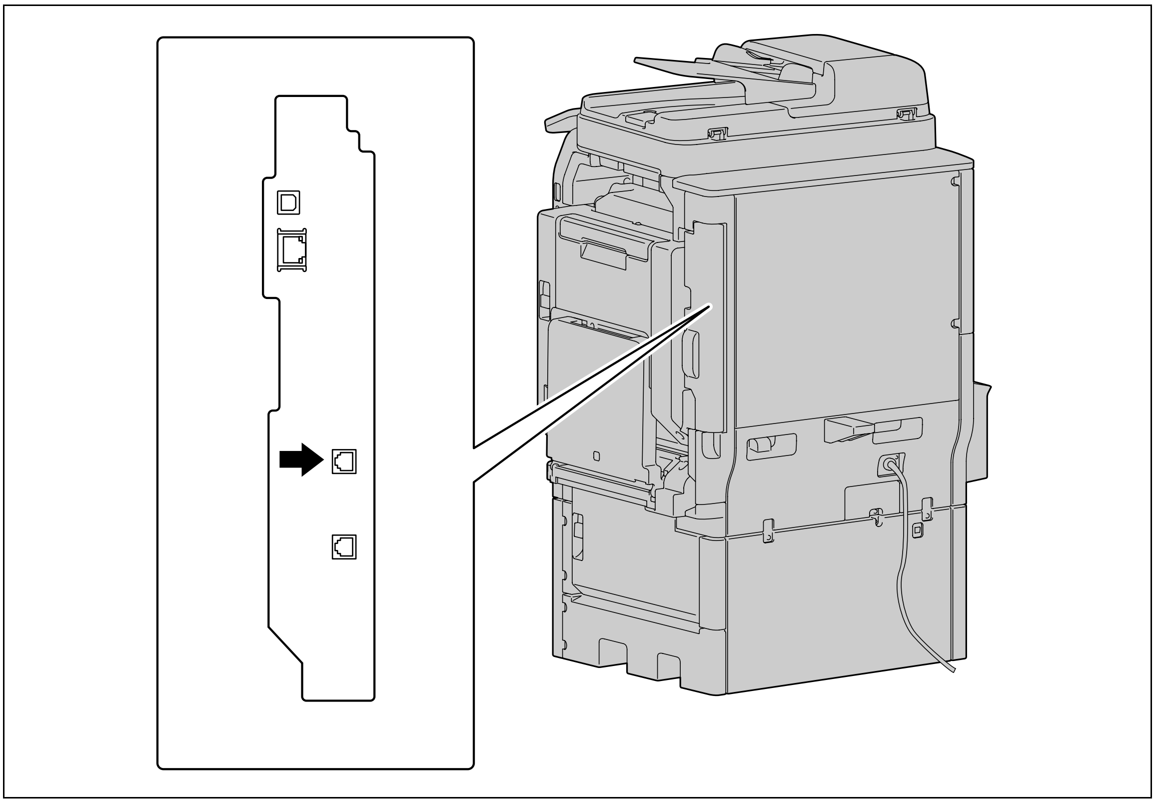
4.1.2 ファクス設定

ファクス機能を使用する場合は、日付 / 時刻設定、ファクス仕向、発信元設定、通信設定、PBX 接続設定などの設定が必要です。詳しい操作の手順は［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

4.1.3 モジュラーケーブルの接続

電話回線を使用するファクス（G3）/PC-FAX を送受信する場合は、モジュラーケーブルを接続します。

電話回線に接続したモジュラーケーブルを所定のコネクタに接続してください。



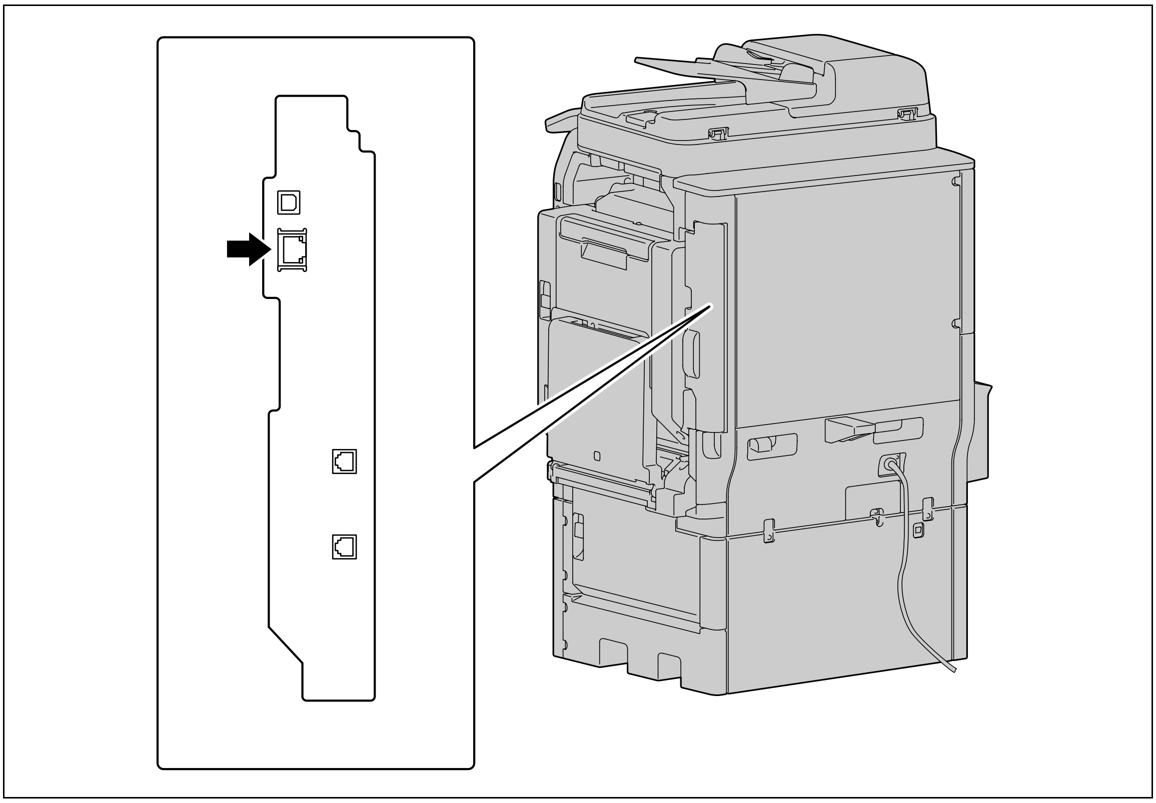
4.1.4　ネットワークケーブルの接続と設定

インターネットファクス機能、PC-FAX 機能（ネットワーク接続時）のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する場合、ネットワークケーブルの接続と設定が必要です。

ネットワークケーブルの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。

1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP）、Web サービス、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。



ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

本機の E-mail アドレスの設定

インターネットファクスを使用する場合は、本体に E-mail アドレスを登録する必要があります。
この E-mail アドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者の E-mail アドレスを使用することをおすすめします。

マシン登録の E-mail アドレスが設定されていない場合はインターネットファクス送信ごとに From アドレスを入力する必要があります。アドレスの入力がないときはインターネットファクス送信はできません。

参考

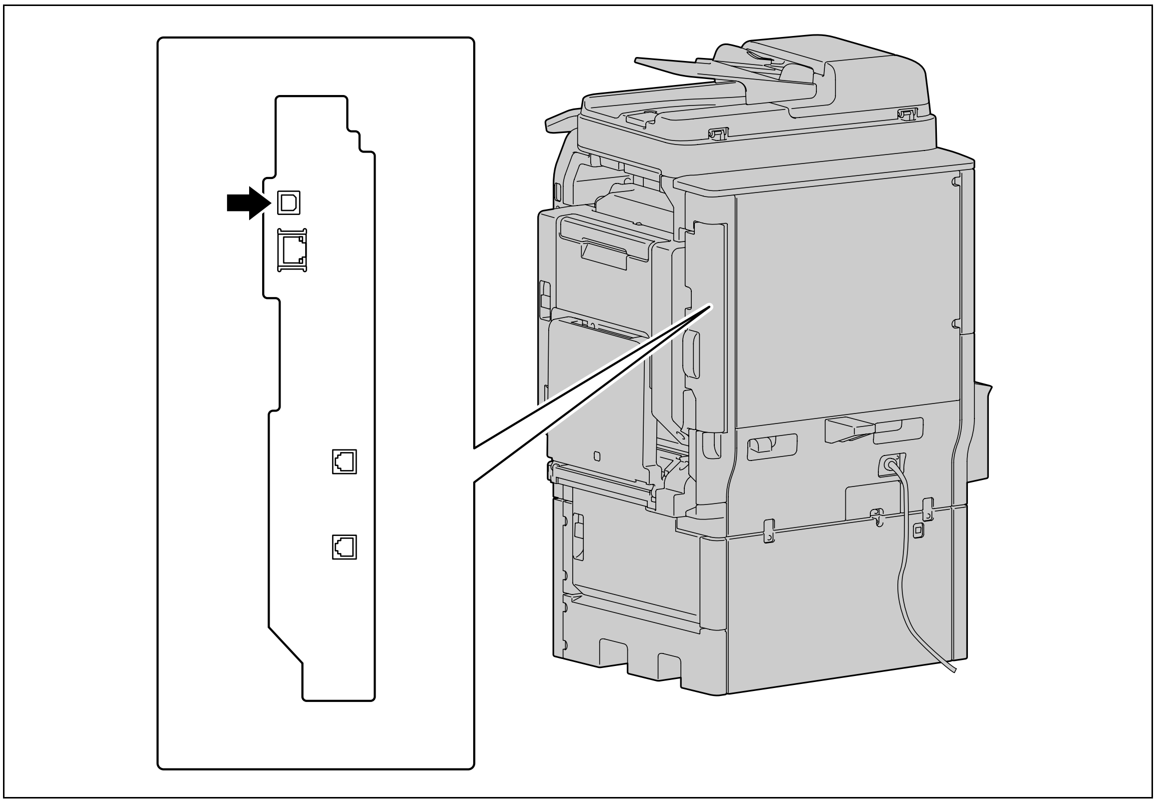
- ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定した E-mail アドレスが From アドレスとなります。

参照

本機の E-mail アドレスの設定は、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

4.1.5　　USB ケーブルの接続

本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）-B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。



4.1.6　　ファクスドライバーのインストール

PC-FAX を使用する場合は、コンピューターにファクスドライバーをインストールする必要があります。

参照

ファクスドライバーのインストール方法は、5-2 ページをごらんください。

4.2 宛先登録

ファクスの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機の**操作パネル**から設定する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使う

参考

- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。

4.2.1 短縮宛先

短縮宛先には以下の種類があります。

- E-mail
- FTP
- SMB
- WebDAV
- Fax
- I-Fax

参考

- 短縮宛先は、最大 2000 件の宛先を登録できます。
- Fax は、本機の**操作パネル**から登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。短縮宛先の登録方法は、12-2 ページ、13-13 ページをごらんください。
- I-Fax は、PageScope Web Connection でのみ登録できます。短縮宛先の登録方法は、13-13 ページをごらんください。

4.2.2 グループ宛先

短縮宛先を組み合わせてグループ宛先として登録できます。複数の宛先に同時に送信するときなどに便利です。

参考

- グループ宛先は、100 グループ（1 グループに短縮宛先を最大 500 件）を登録できます。
- グループ宛先の登録は PageScope Web Connection で行います。グループ宛先の登録方法は、13-15 ページをごらんください。
- スキャン宛先とファクス宛先の組み合わせで登録することはできません。

4.2.3 プログラム宛先

送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でファクス送信する場合などに便利です。

参考

- プログラム宛先は最大 400 件登録することができます。
- プログラム宛先の登録は、本機の**操作パネル**から登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。プログラム宛先の登録方法は、12-4 ページ、13-16 ページをごらんください。

5 ファクスドライバーのインストール

5　ファクスドライバーのインストール

ファクスドライバーのインストール方法について説明します。

5.1　接続方法とインストール方法

PC-FAX 機能を使用するためには、ファクスドライバーのインストールが必要です。ファクスドライバーとは、出力するデータの処理などを制御するプログラムで、使用する前に Drivers CD-ROM からコンピューターにインストールします。

ファクスドライバーのインストール方法は、使用する OS や接続方法によって異なります。

既存のファクスドライバーをアップデートする場合は、先に既存のファクスドライバーを削除してください。詳しくは、5-21 ページをごらんください。

参照

ネットワーク環境での設定方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

5.1.1　Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	Port 9100	p. 5-4 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。 * インストーラーは IPv4/IPv6 の環境の両方に対応していますが、IPv6 の場合は Port 9100 のみの対応になります。
		IPP	
	USB		
プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 5-10
		Port 9100	
		IPP/IPPS	
		Web サービスプリント	
	USB		
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB		p. 5-18

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

参考

- 本書では、プリンターの追加ウィザードでセットアップする方法として、LPR/Port 9100 印刷の方法のみ説明しています。その他のネットワーク接続（IPP/IPPS、Web サービスプリント）については、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。
- 本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

5.1.2　Windows XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	Port 9100	p. 5-4 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。
		IPP	
	USB		
プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 5-14
		Port 9100	
		IPP/IPPS	
	USB		
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB		p. 5-20

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

参考

- 本書では、プリンターの追加ウィザードでセットアップする方法として、LPR/Port 9100 印刷の方法のみ説明しています。その他のネットワーク接続（IPP/IPPS）については、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。
- インストーラーでは、Windows XP/Server 2003 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。
- 本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

5.2 インストーラーによる自動インストール

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーと同時にファクスドライバーもインストールできます。また、手動で指定してインストールすることも可能です。

5.2.1 インストーラーの動作環境

OS	Windows XP Home Edition（SP3 以降） Windows XP Professional（SP3 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition（SP2 以降） Windows Server 2003, Standard ×64 Edition（SP2 以降） Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition（SP2 以降） Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business（SP2 以降）* Windows Vista Enterprise（SP2 以降）* Windows Vista Home Basic（SP2 以降）* Windows Vista Home Premium（SP2 以降）* Windows Vista Ultimate（SP2 以降）* Windows Server 2008 Standard（SP2 以降）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2 以降）* Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium * Windows 7 Professional * Windows 7 Enterprise * Windows 7 Ultimate * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。

参考

- USB 接続で、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。
- インストーラーはWindows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2の場合のみIPv4/IPv6環境の両方に対応しています。ただし、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 での［セキュリティ印刷］（IPPS）および IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。

5.2.2 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

参照

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

本機の RAW ポート番号 /IPP 設定

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port 9100：[TCP/IP 設定] で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を設定しておきます。
- IPP/IPPS：[IPP 設定] で IPP 印刷を有効に設定しておきます。

参照

本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

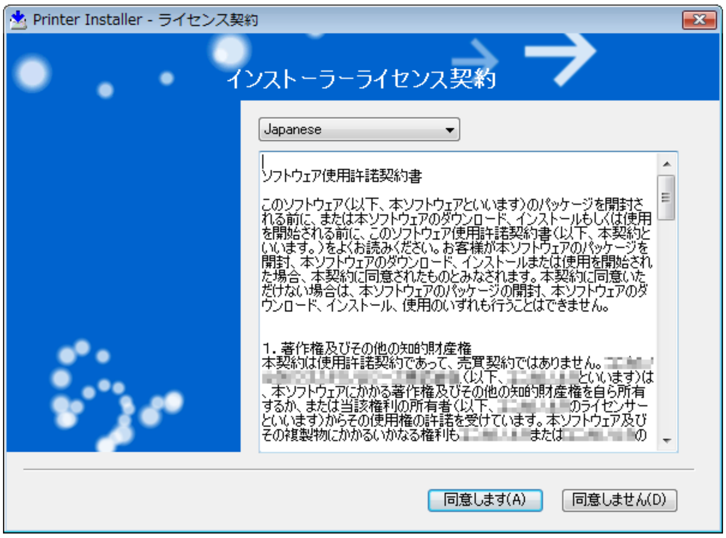
5.2.3　インストール

✔ ファクスドライバーをインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ ファクスドライバーをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

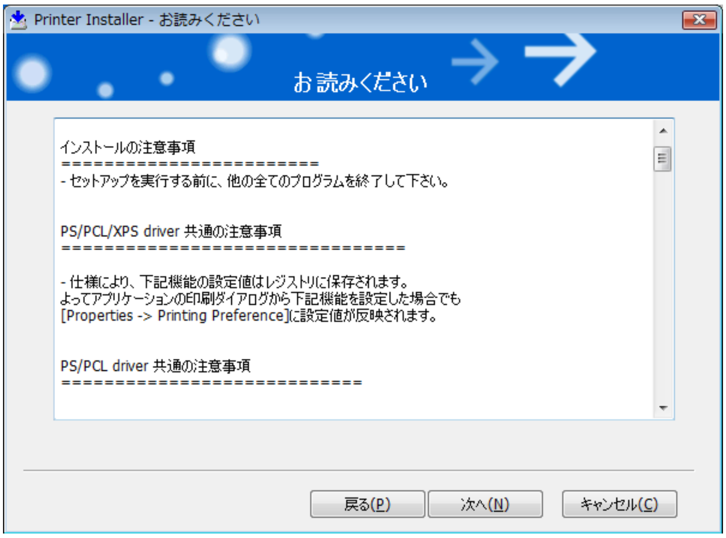
1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
  → インストールプログラムが起動するのを確認します。
  → インストールプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の [AutoRun.exe] をダブルクリックします。
  → Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合、[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
  → 言語が表示されているボックスでインストールプログラムの表示言語を変更できます。

2 [プリンター / ファクス] をクリックします。
  プリンター / ファクスドライバーのインストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書のすべての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。
  → 同意していただけない場合は、インストールできません。
  → 言語が表示されているボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。



4 ［お読みください］画面で、内容を確認して［次へ］をクリックします。

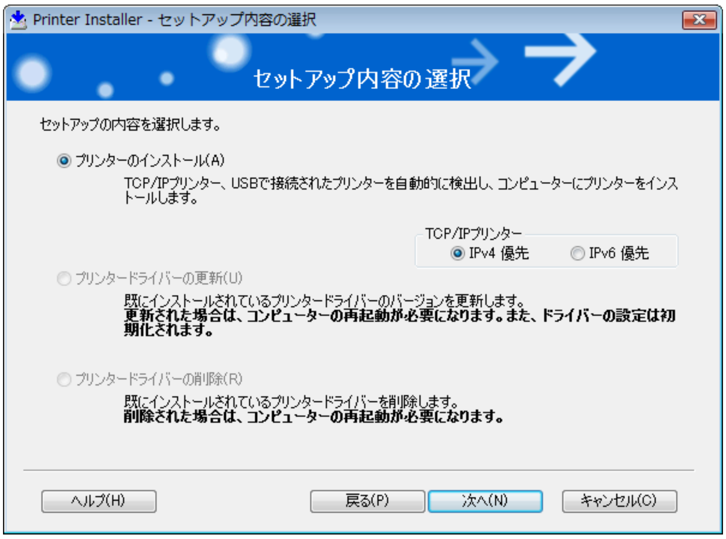


5 セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は［プリンターのインストール］を選択して［次へ］をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

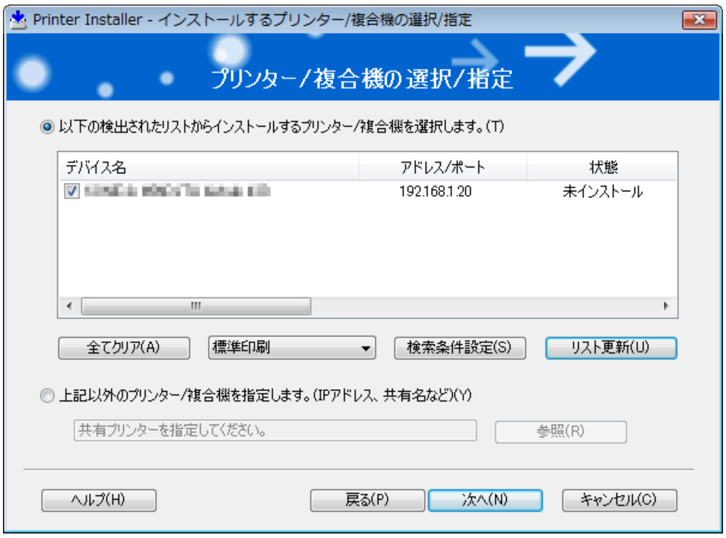
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［IPv4 優先］/［IPv6 優先］を選択できます。検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



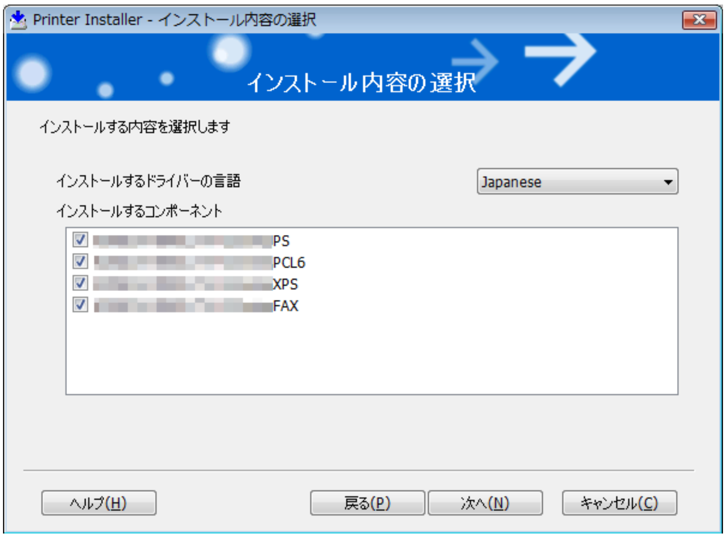
6　本機を選択して［次へ］をクリックします。

➔ 接続されているプリンター・複合機のうち、プリンタードライバーに対応した機種のみがリストに表示されます。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の［上記以外のプリンター / 複合機を指定します。(IP アドレス、共有名など)］を選択し、手動で指定してください。
➔ 接続の方法として、［標準印刷］(Port 9100、USB）のほか、［インターネット印刷］(IPP）を選択できます。
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、IPv4/IPv6 環境の両方に対応していますが、IPv6 環境での［インターネット印刷］(IPP）には対応していません。



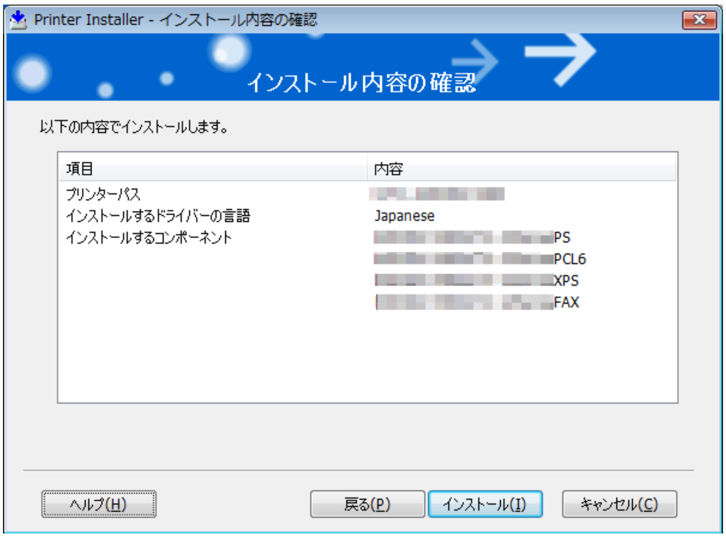
7　インストールするコンポーネントを選択します。

➔ ［インストールするドライバーの言語］で、ドライバーの表示言語を変更できます。
➔ プリンタードライバーについては、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。



8 インストール内容を確認します。

➔ 変更する場合は［戻る］をクリックし、手順 7 へ戻ります。
➔ 変更しない場合は手順 9 へ進みます。

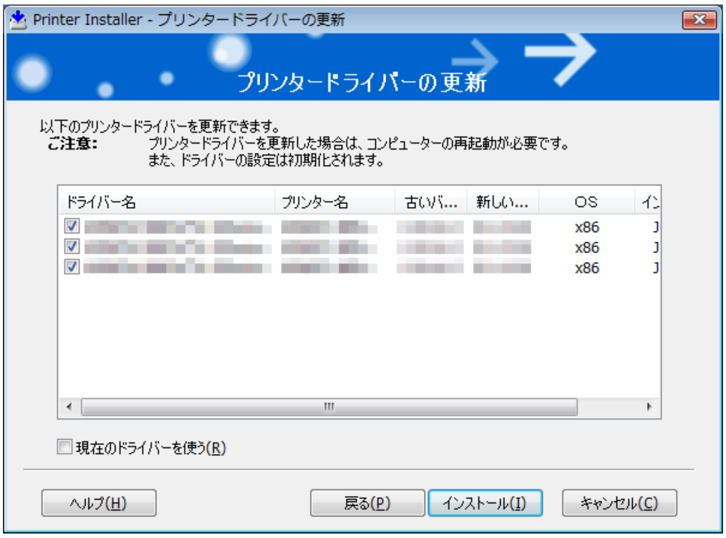


9 ［インストール内容の確認］画面で［インストール］をクリックします。

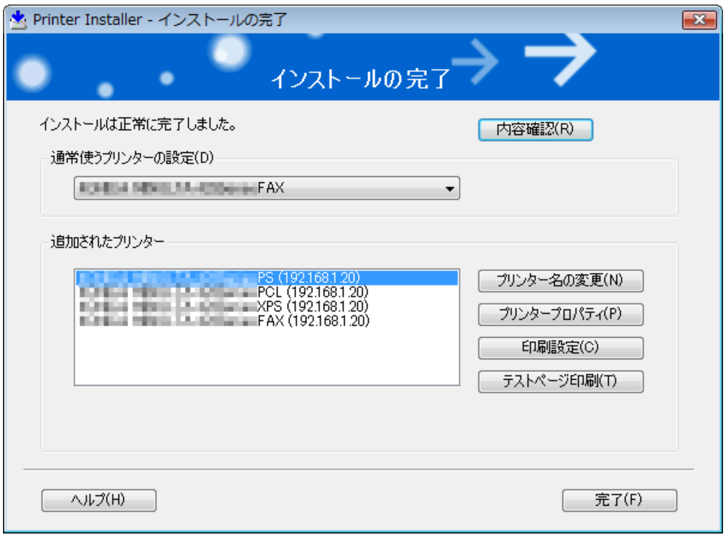
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ーソフトウェアをインストールします］をクリックします。
➔ Windows XP/Server 2003 で［Windows ロゴ テスト］、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

10 古いバージョンのドライバーが既にインストールされている場合は、［プリンタードライバーの更新］画面が表示されます。更新するドライバーを選択して、［インストール］をクリックしてください。

➔ ファクスドライバーの更新をすると、コンピューターの再起動が必要になります。
また、ファクスドライバーの設定は初期化されます。



11 ［インストールの完了］画面で［完了］をクリックします。
インストールが完了します。



［インストールの完了］画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

項目名	説明
［内容確認］	インストール内容を確認します。
［プリンター名の変更］	プリンター名を変更します。
［プリンタープロパティ］	ファクスドライバーのプロパティ設定を行います。詳しくは、8-11 ページをごらんください。
［印刷設定］	ファクスドライバーの［印刷設定］画面を表示し、各種機能を設定します。詳しくは、8-15 ページをごらんください。
［テストページ印刷］	テスト印刷を行います。

12 ［終了］をクリックして、インストールプログラムを終了します。

13 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

5.3 プリンターの追加ウィザードを使ったインストール

ここでは、ネットワーク接続（LPR/Port 9100）でインストールする手順を説明します。

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、ファクスドライバーをインストールする途中でポートを設定します。

参照

その他のネットワーク接続（IPP/IPPS、Web サービスプリント）については、[ユーザーズガイド プリンター機能編] をごらんください。

5.3.1 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

本機の RAW ポート番号設定

Port 9100 印刷を利用する場合は、本機の [TCP/IP 設定] で RAW ポートを有効に設定し、RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を設定しておきます。

参照

本機の RAW ポート番号の設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の [TCP/IP 設定] で LPD を有効に設定しておきます。

参照

本機の LPD 設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

5.3.2 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールできます。

✔ ファクスドライバーをインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ ファクスドライバーをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。ネットワーク設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] をクリックします。

3 [ハードウェアとサウンド] のプリンター機能を選択します。

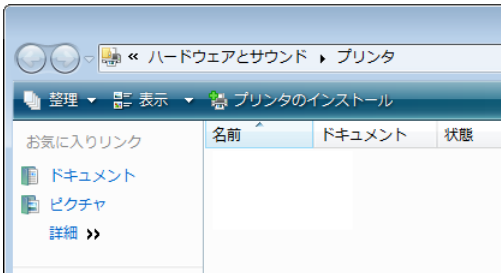
➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。[コントロールパネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。[コントロールパネル] がアイコン表示になっている場合は、[デバイスとプリンター] をダブルクリックします。

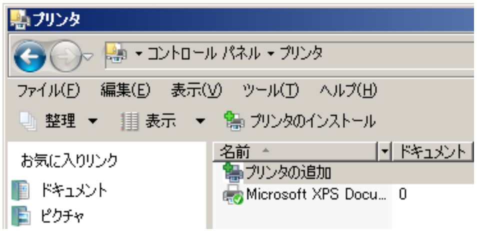
4 ツールバーのプリンターの追加機能を選択します。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Vista の場合：



Windows Server 2008 の場合：

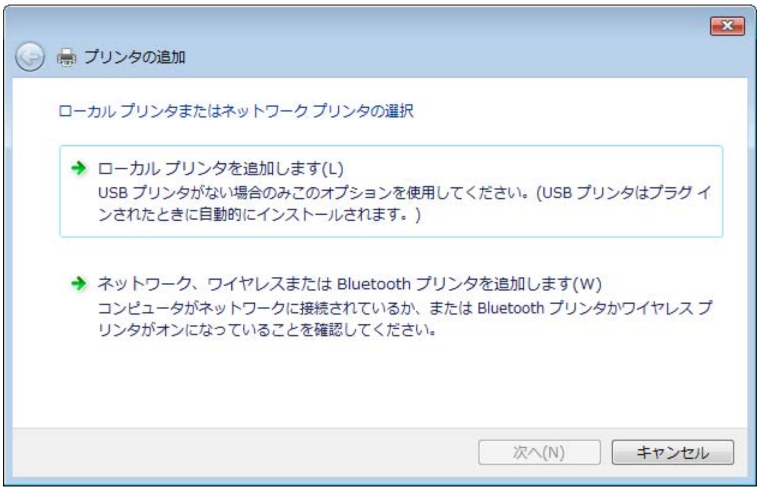


➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［プリンターの追加］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。



［プリンタポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類で［Standard TCP/IP Port］を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、［TCP/IP デバイス］を選択し、IP アドレスを入力します。

9 ［次へ］をクリックします。

➔ ［ポート情報がさらに必要です］または［追加ポート情報が必要です］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ ［プリンタドライバのインストール］ダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに［Print］と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。

12 ［次へ］をクリックします。

［プリンタドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

13 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

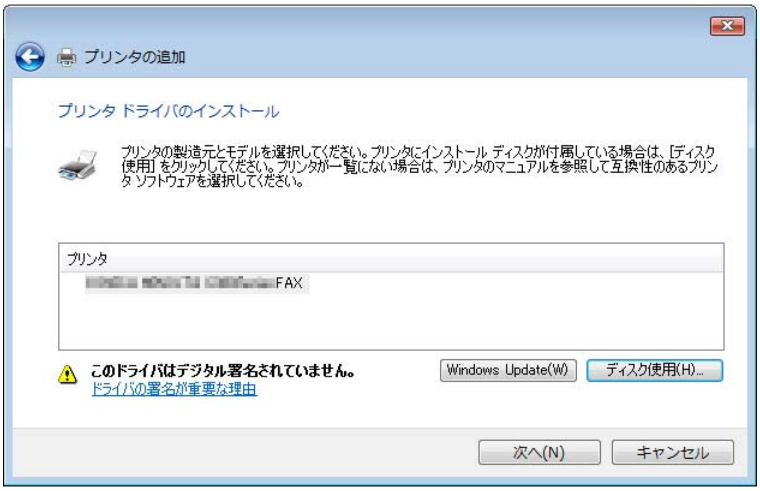
15 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するファクスドライバー、OS、言語に応じて選択してください。

16 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

17 ［次へ］をクリックします。



18 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

19 ［完了］をクリックします。

20 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

参照

本機のネットワーク設定で、［RAW ポート］と［LPD］の両方が有効になっている場合は、有効となっているポートを確認し、必要に応じて変更してください。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

5.3.3　Windows XP/Server 2003 の場合

✔ ファクスドライバーをインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ ファクスドライバーをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

1　Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2　[スタート] をクリックして、[プリンタと FAX] をクリックします。

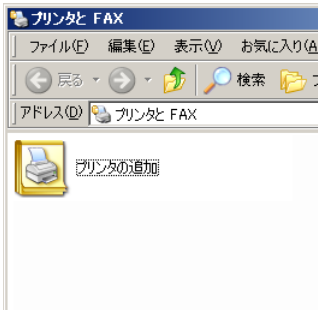
➔ [スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] を選び、さらに [プリンタと FAX] を選びます。

3　Windows XP の場合は、[プリンタのタスク] メニューから [プリンタのインストール] をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

Windows XP の場合：



Windows Server 2003 の場合：

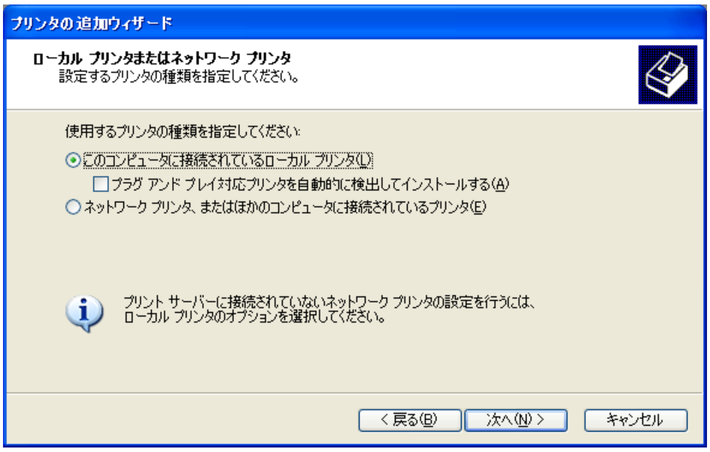


[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

4　[次へ >] をクリックします。

5　［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

➔［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。



［プリンタポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6　［新しいポートの作成 :］をクリックし、［ポートの種類 :］で［Standard TCP/IP Port］を選択します。



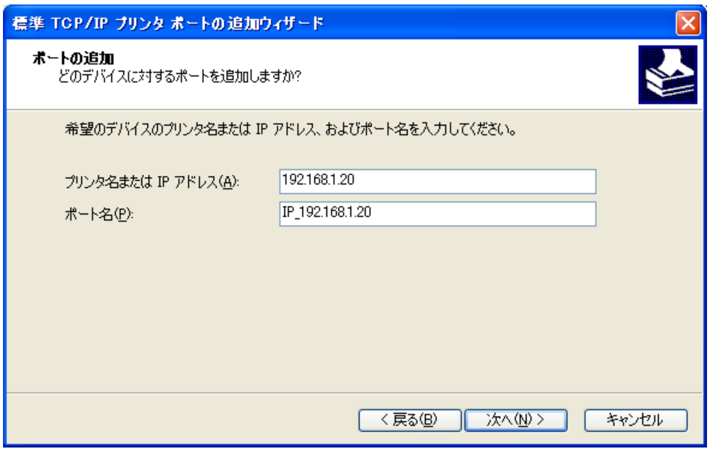
7　［次へ >］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が起動します。

8　［次へ >］をクリックします。

9 ［プリンタ名または IP アドレス :］ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［ポート情報がさらに必要です。］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ ［完了］画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



10 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。

12 ［次へ >］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

14 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

15 ［参照 ...］をクリックします。

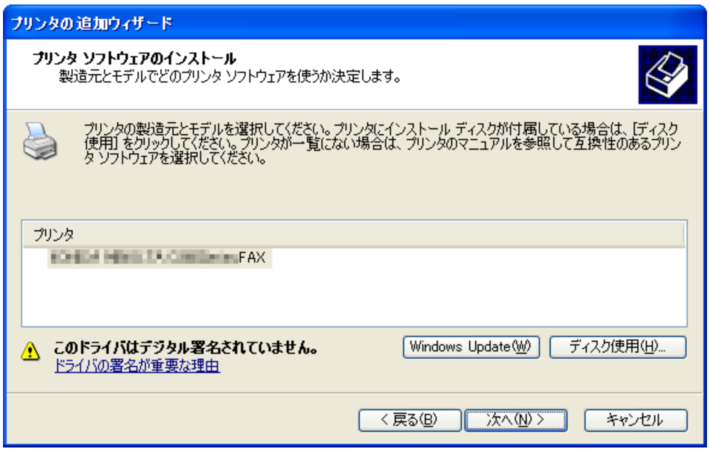
16 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するファクスドライバー、OS、言語に応じて選択してください。

17 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

18 ［次へ >］をクリックします。



19 画面の指示にしたがって操作します。

20 ［完了］をクリックします。

➔ ［Windows ロゴ テスト］、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

参照

本機のネットワーク設定で、［RAW ポート］と［LPD］の両方が有効になっている場合は、有効となっているポートを確認し、必要に応じて変更してください。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

5.4 プラグアンドプレイを使ったインストール

5.4.1 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合

参考

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめファクスドライバーをインストールする「インストール済みのファクスドライバーを認識させる」方法でインストールしてください。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができます。先にファクスドライバーをインストールしていない状態で 、引き続きファクスドライバーのインストールディスクを指定してインストールする場合は、「接続時にファクスドライバーをインストールする」方法でインストールしてください。

インストール済みのファクスドライバーを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で USB ポートに接続する場合は、ファクスドライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでファクスドライバーを認識させます。

1 本機のファクスドライバーをインストールします。

➔ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでファクスドライバーをインストールします。プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。詳しくは、5-5 ページまたは 5-10 ページをごらんください。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

本機のファクスドライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

➔ ファクスドライバーが検索されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

参考

- ファクスドライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。詳しくは、5-19 ページをごらんください。

接続時にファクスドライバーをインストールする

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからファクスドライバーをインストールできます。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の電源を入れます。

［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

➔ ディスク（CD-ROM）がない場合は、［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。次の画面で［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］を選択して目的のファクスドライバーのフォルダーを指定してください。

➔ 指定するフォルダーは、使用するファクスドライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のファクスドライバー名を指定し、［次へ］をクリックします。

6 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

7 インストールが終了したら［閉じる］をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

9 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でファクスドライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、ファクスドライバーが正しく認識されません。この場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。

1 ［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。

➔ ［コントロールパネル］で［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロールパネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

2 ［未指定］カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

➔ 本機のデバイス名でなく［不明なデバイス（Unknown Device）］と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、「インストール済みのファクスドライバーを認識させる」方法で接続してください。

3 ［ハードウェア］タブの［プロパティ］をクリックします。

4 ［全般］タブの［設定の変更］をクリックします。

5 ［ドライバー］タブの［ドライバーの更新 ...］をクリックします。

6 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。

7 ［参照 ... ］をクリックします。

8 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するファクスドライバー、OS、言語に応じて選択してください。

9 ［次へ］をクリックします。

10 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーの更新が完了しました。

参考

- Windows Vista/Server 2008 でも、[ドライバの更新 ...] を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[デバイスマネージャ] で [ほかのデバイス] に表示されている本機の [プロパティ] を開くと、[ドライバの更新 ...] が指定できます。
  [デバイスマネージャ] は、[コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックし、表示される [タスク] で選択できます。

5.4.2 Windows XP/Server 2003 の場合

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の電源を入れます。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログが表示されます。

➔ [新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログが表示されない場合は、本体の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 [一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ >] をクリックします。

➔ [Windows アップデートに接続する] 画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択します。

5 [次の場所で最適のドライバを検索する] から [次の場所を含める :] を選択し、[参照] をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するファクスドライバー、OS、言語に応じて選択してください。

7 [次へ >] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

8 [完了] をクリックします。

➔ [Windows ロゴ テスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたファクスドライバーのアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

5.5 ファクスドライバーをアンインストールする場合

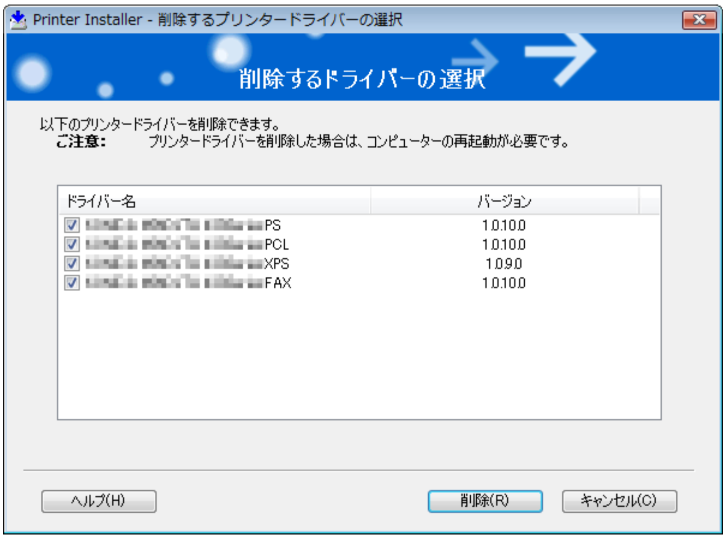
ファクスドライバーを再インストールするときなど、ファクスドライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

5.5.1 ファクスドライバーの削除機能がある場合

ファクスドライバーをインストーラーでインストールした場合は、ファクスドライバーの削除機能が組み込まれています。

1 ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）►►「KONICA MINOLTA」►►「42Series」►►［プリンタードライバーの削除］をクリックします。

2 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。
　➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



3 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

5.5.2 ファクスドライバーの削除機能がない場合

インストーラーを使わずにファクスドライバーをインストールした場合は、ファクスドライバーの削除機能が組み込まれません。

1 ［プリンタ］ウィンドウ、［デバイスとプリンター］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2 削除したいファクスドライバーのアイコンを選択します。

3 ファクスドライバーを削除します。
　➔ Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、キーボードの **Delete** を押します。
　➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［デバイスの削除］をクリックします。

4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。
　削除が終了すると［プリンタ］ウィンドウ、［デバイスとプリンター］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウからアイコンが消えます。
　引き続きサーバーのプロパティでファクスドライバーを削除します。

5 ［サーバーのプロパティ］を開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］▸▸［サーバーのプロパティ］をクリックします。
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、他のプリンターを選択し、ツールバーの［プリントサーバー プロパティ］をクリックします。
➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。
➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

6 ［ドライバー］タブをクリックします。

7 ［インストールされたプリンタドライバ :］一覧から、削除したいファクスドライバーを選択し、［削除 ...］をクリックします。

➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、手順 8 に進みます。
➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。

8 削除の対象を確認する画面で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］を選択して、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

➔ 必ず再起動してください。

これでファクスドライバーの削除は完了です。

参考

- 先の手順でファクスドライバーを削除しても、Windows XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルはコンピューターに残ります。このため同一バージョンのファクスドライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。
  - 「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥w32×86」フォルダー（×64 のシステムの場合は、「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥×64」フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、ファクスドライバーのほかに PCL ドライバーや PostScript ドライバー、XPS ドライバーがインストールされている場合は、すべての機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
  - 「C:￥WINDOWS￥inf」フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
  - Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］で操作した場合は、この作業は不要です。

6 送信する（G3/I-FAX）

6 送信する（G3/I-FAX）

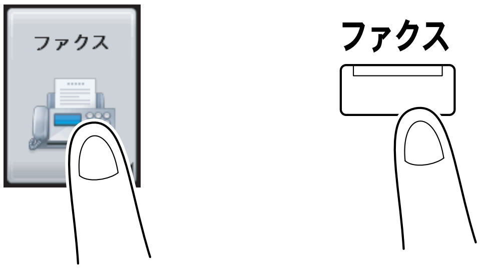
ファクスを送信する方法と設定できる機能について説明しています。

6.1 操作の流れ

6.1.1 ファクス（G3）

ファクス（G3）機能を使う場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［ファクス］または**操作パネルのファクス**を押す



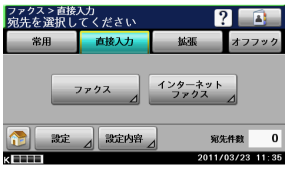
↓

宛先を指定する

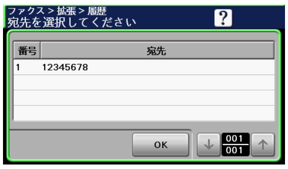
登録宛先から（p. 6-14）



直接入力から（p. 6-11）



送信履歴から（p. 6-13）

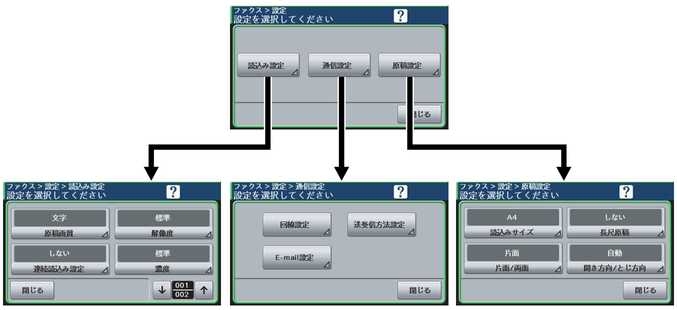


LDAP 検索から（p. 6-14）



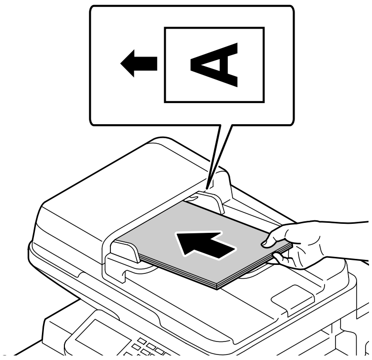
↓

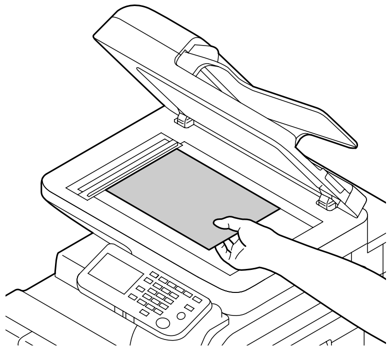
読込み設定（p. 6-18）、原稿設定（p. 6-26）、通信設定（p. 6-21）を行う



↓

原稿をセットする

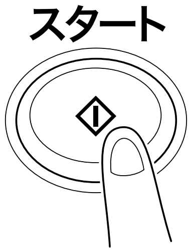




・　1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ▼マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-26 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

6.1.2　インターネットファクス

インターネットファクス機能を使う場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［ファクス］または**操作パネルのファクス**を押す



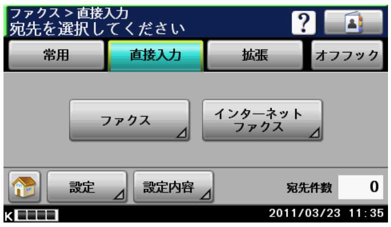
↓

宛先を指定する

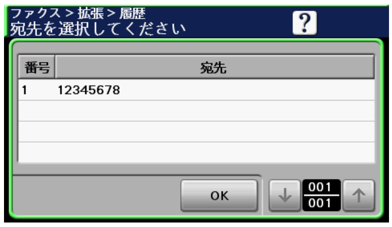
登録宛先から（p. 6-14）



直接入力から（p. 6-11）

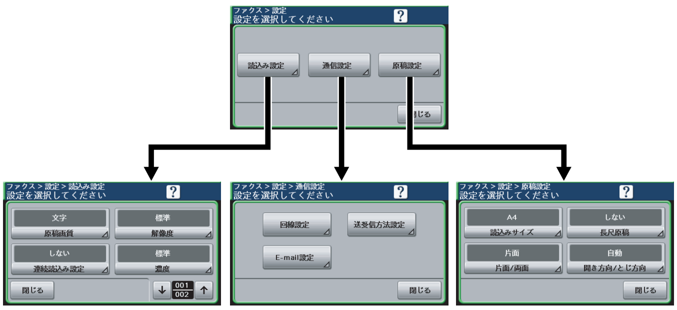


送信履歴から（p. 6-13）



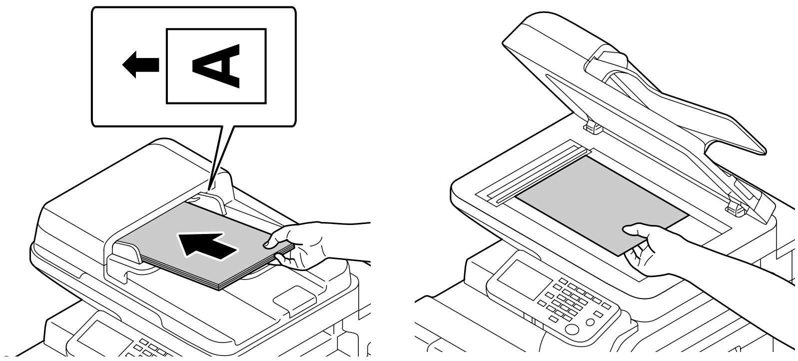
↓

読込み設定（p. 6-18）、原稿設定（p. 6-26）、通信設定（p. 6-21）を行う



↓

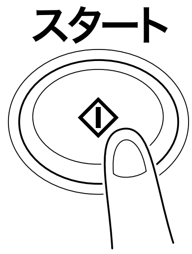
原稿をセットする



- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

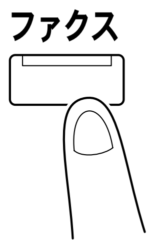
- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-26 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、[中止] を押します。

6.1.3 プログラム宛先の呼び出し

プログラム宛先を使う場合の手順の流れを説明します。

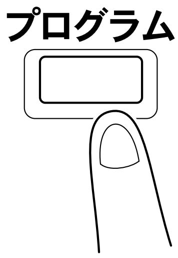
ホーム画面の [ファクス] または**操作パネル**の**ファクス**を押す





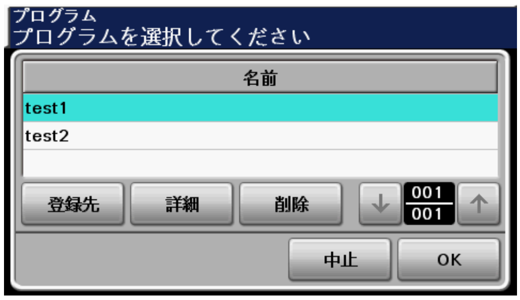
↓

プログラムを押す



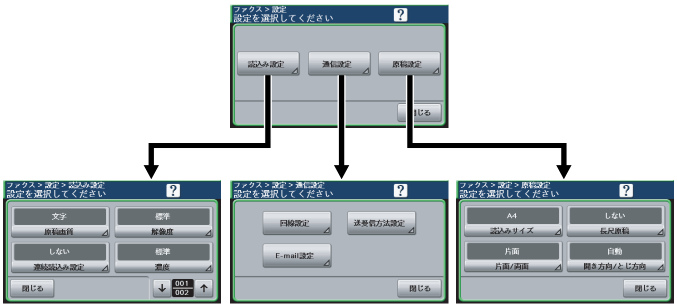
↓

プログラム宛先を選択し、[OK] を押す



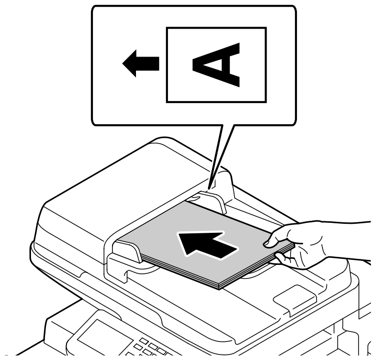
↓

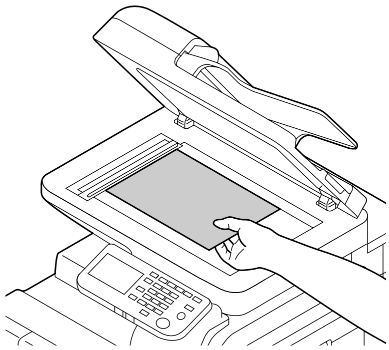
読込み設定（p. 6-18）、原稿設定（p. 6-26）、
通信設定（p. 6-21）を行う



↓

原稿をセットする

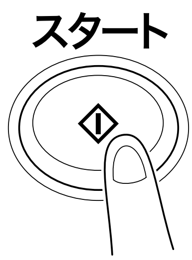




- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-26 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

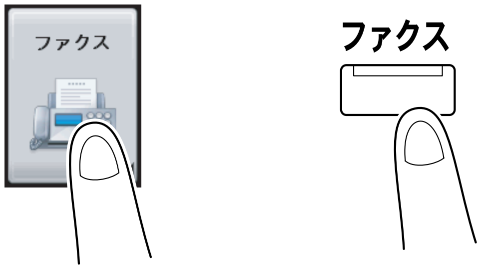
参照

プログラム宛先登録の内容と手順は 12-4 ページ、13-16 ページをごらんください。

6.1.4 同報送信

同時に複数の宛先にファクス送信する場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［ファクス］または**操作パネルのファクス**を押す



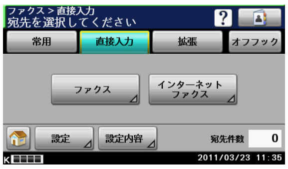
↓

宛先を複数件指定する

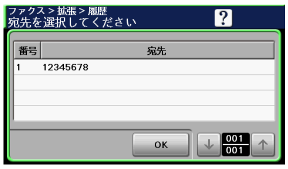
登録宛先から（p. 6-14）



直接入力から（p. 6-11）



送信履歴から（p. 6-13）

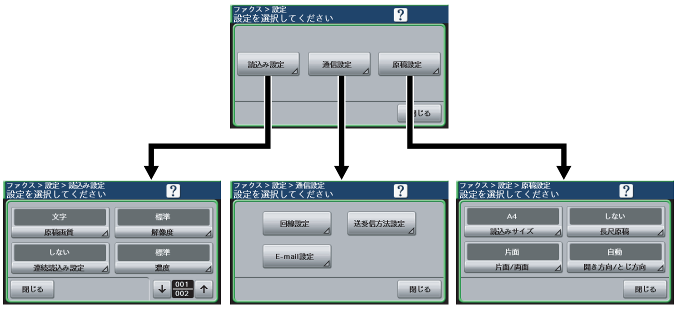


LDAP 検索から（p. 6-14）



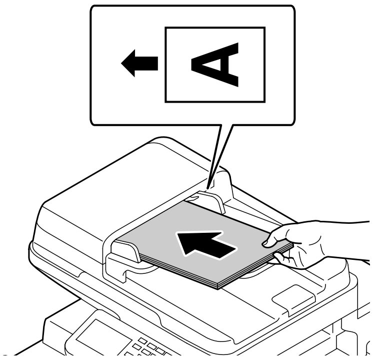
↓

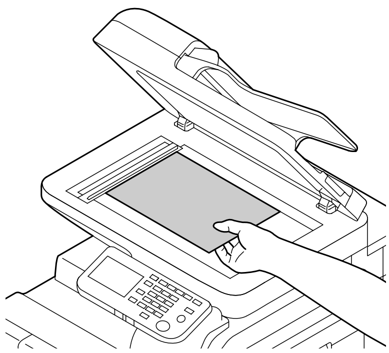
読込み設定（p. 6-18）、原稿設定（p. 6-26）、通信設定（p. 6-21）を行う



↓

原稿をセットする

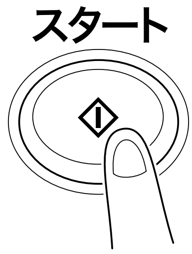




- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- LDAP 検索はファクス（G3）機能のみ使用できます。
- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-26 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

6.2 ファクス画面

6.2.1 画面構成の説明

ホーム画面の［ファクス］または**操作パネル**の**ファクス**を押すと、以下の画面が表示されます。



No.	項目	説明	参照先
1	常用	常用（よく使用する宛先）に設定されている宛先から送信先を選択します。	p. 6-10
2	直接入力	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 6-11
3	拡張	送信履歴から送信先を選択します。 また、本機のメモリーに保存されている文書を印刷または削除します。	p. 6-13
4	オフフック	オフフックしてダイアルできます。	p. 6-17
5	アドレス帳	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 6-14
6	ホーム	ホーム画面に戻ります。	
7	設定	ファクスの送受信に関する設定を行います。	p. 6-18
8	設定内容	指定した宛先と、ファクス設定の内容を確認します。	p. 6-29

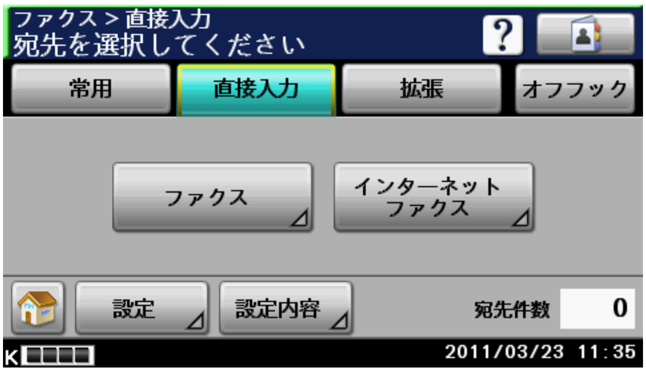
6.3 常用

常用に設定されている宛先を選択できます。



6.4　直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。



参考
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

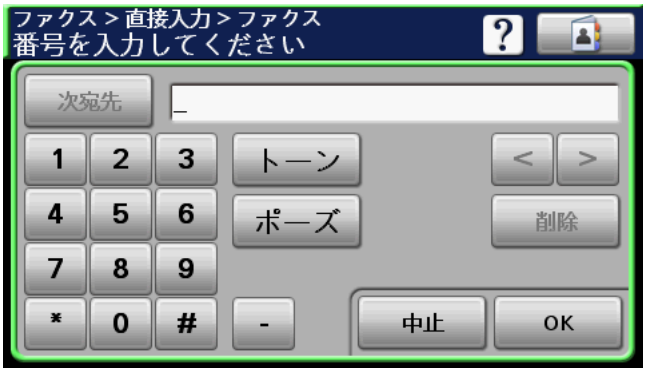
参照

手動宛先入力については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

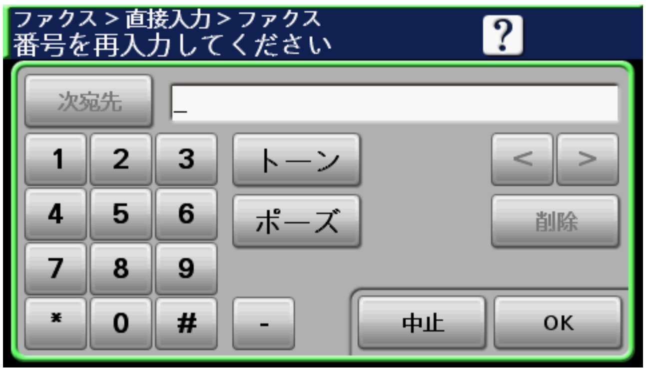
6.4.1　ファクス

テンキーまたはパネルのキーを使ってファクス番号を入力します。

参考
- ［トーン］：ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときに押します。画面には［T］と表示されます。
- ［ポーズ］：ダイアルに間をあけたいときに押します。画面には［P］と表示されます。
- ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。



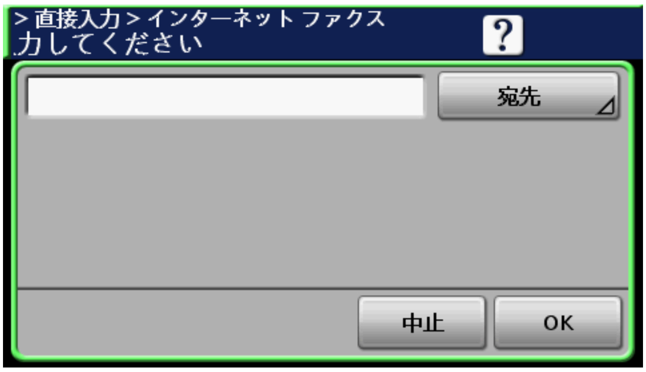
[管理者設定] ▸▸ [ファクス設定] ▸▸ [ファクス機能設定] ▸▸ [宛先 2 度入力機能 (送信)] が [する] に設定されている場合は、[OK] を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、[OK] を押します。



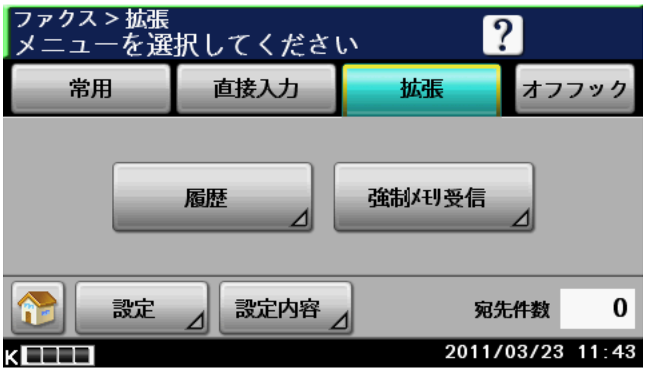
参照
宛先 2 度入力機能については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

6.4.2 インターネットファクス

E-mail アドレスを入力します。

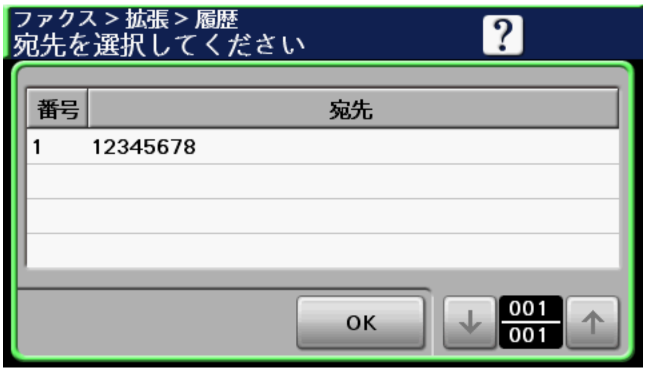


6.5 拡張



6.5.1 履歴

過去に送信した宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。



参考

- 直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。
- 同報送信ジョブは履歴に表示されません。
- 本機の**電源スイッチ**を OFF にすると、履歴は消去されます。
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。
- ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクス機能設定］▸▸［宛先 2 度入力機能（送信）］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。
- PC-FAX、転送ファクス、本機の**電源スイッチ**を ON にして復旧した送信（タイマー送信ジョブなど）、手動送信の場合は、履歴に残りません。

参照

通信履歴非表示、宛先 2 度入力機能については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

6.5.2 強制メモリ受信

強制メモリー受信については、10-2 ページをごらんください。

6.6 アドレス帳

登録されている宛先を選択できます。



参考
- ［かな］を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
- ［グループ］を押すと、登録されているグループ宛先が表示されます。

参照

短縮宛先の登録については、12-2 ページ、13-13 ページをごらんください。

グループ宛先の登録については、13-15 ページをごらんください。

6.6.1 LDAP（G3）



参考
- 検索した宛先を短縮宛先に追加する場合は、宛先を選択して［保存］を押します。
- 表示されている宛先の情報を確認したい場合は、宛先を選択して［詳細］を押します。
- LDAP 検索して指定するには、PageScope Web Connection から LDAP サーバーを登録する必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

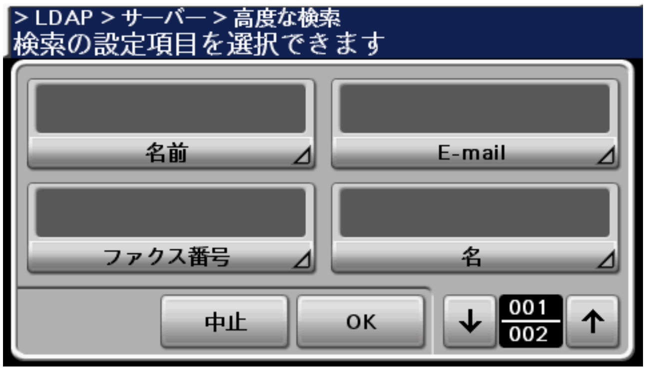
検索

検索するキーワードを入力し、[OK] を押すと、指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。



高度な検索

複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。



項目	説明
[名前]	名前を入力します。
[E-mail]	E-mail アドレスを入力します。
[ファクス番号]	ファクス番号を入力します。
[名]	名を入力します。
[姓]	姓を入力します。
[都市名]	都市名を入力します。
[会社名]	会社名を入力します。
[組織名]	組織名を入力します。
[含む] / [同じ] / [始まる] / [終わる]	入力した検索条件の設定を含む / 同じ / 始まる / 終わるから選択できます。

6.6.2 検索

送信したい宛先を検索することができます。登録宛先を検索するには、以下の方法があります。

種別

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。



名前

宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して［OK］を押すと、検索結果の一覧が表示されます。



6.7　オフフック（G3）

手動でファクス送信するときに使用します。

参考

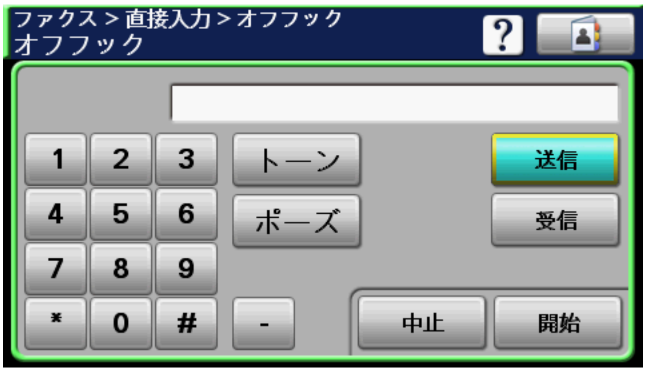
- オフフックを使用するときは、メモリー送信を行うことはできません。
- ［連続読込み設定］は使用できません。
- オートリダイアル機能ははたらきません。
- 同報送信はできません。
- タイマー送信機能、F コード送信機能、パスワード送信機能、ポーリング受信機能は使用できません。
- ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクス機能設定］▸▸［宛先 2 度入力機能（送信）］が［する］に設定されている場合は、オフフックは使用できません。

参照

宛先 2 度入力機能については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

手動送信

原稿をセットし、必要に応じて読込みの設定を行います。［オフフック］を押すとオフフックの状態になり、相手先を指定する画面が表示されます。



［送信］を押し、相手先を指定します。応答音が聞こえたら、［開始］または**スタート**を押します。

参考

- 宛先の設定方法は、登録宛先 / 直接入力 / プログラム宛先から選択できます。

6.8 設定－読込み設定

［読込み設定］を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

6.8.1 原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



項目	説明
［文字］	文字だけで構成されている原稿です。
［文字 / 写真］	文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。
［写真］	写真（ハーフトーン）だけの原稿です。

6.8.2 解像度

スキャンする解像度を選択します。

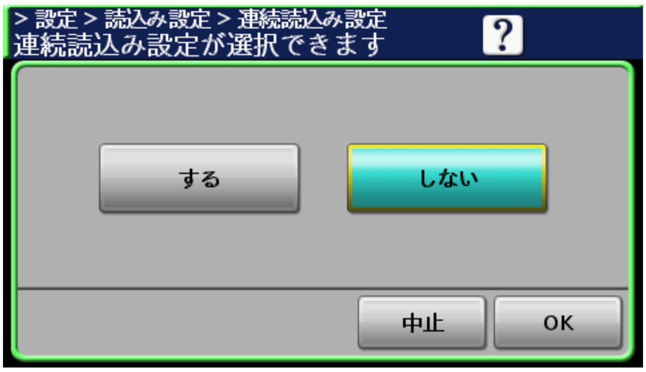


参考

- インターネットファクス送信時に［高精細］を選択したときは、自動的に［精細］に設定変更されます。

6.8.3　連続読込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、**原稿ガラス**上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など読込みを数回に分割することができます。



6.8.4　濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



6.8.5　下地調整

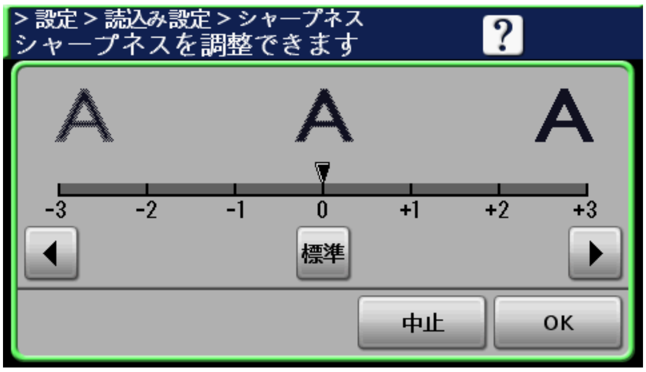
スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。

- 下地の濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



6.8.6 シャープネス

スキャン時に、文字などの境界をくっきりさせることができます。



6.9 設定－通信設定

6.9.1 回線設定（G3）

ファクス送信の回線に関する設定を行います。

ECM OFF

ECM モードを解除して送信します。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。雑音が多い場合は ECM OFF 時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。送信が終了すると自動的に ECM ON の状態に戻ります。

参考

- 本機では ECM OFF を設定しない限り、ECM モードで送信されます。
- ポーリング受信機能とは併用できません。

V34 OFF

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。

このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。

参考

- ポーリング受信機能とは併用できません。

宛先確認送信

送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

参考

- 宛先確認送信は、相手先が自局のファクス番号を登録していることが必要です。

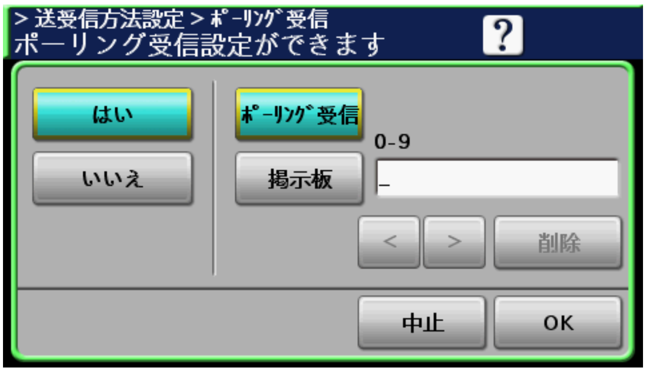
6.9.2 送受信方法設定（G3）

送受信の方法を設定できます。

ポーリング受信－ポーリング受信

送信側にセットされている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。通信料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

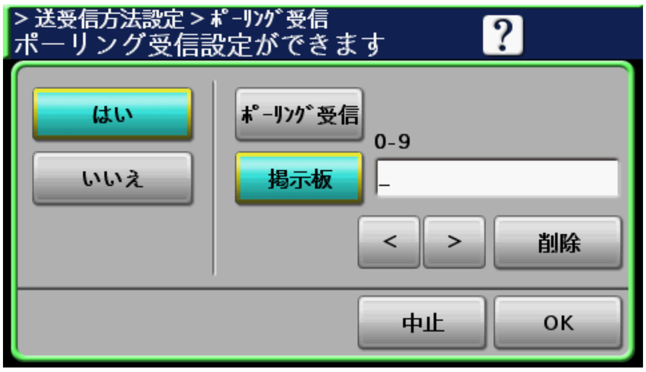
［ポーリング受信］を選択したあと相手先を選択します。



ポーリング受信－掲示板

送信側にセットされている掲示板の文書を受信側からの指示で送信させる機能です。

掲示板の文書を受信する場合は［掲示板］を選択したあと**テンキー**で掲示板番号を入力し、相手先を選択します。

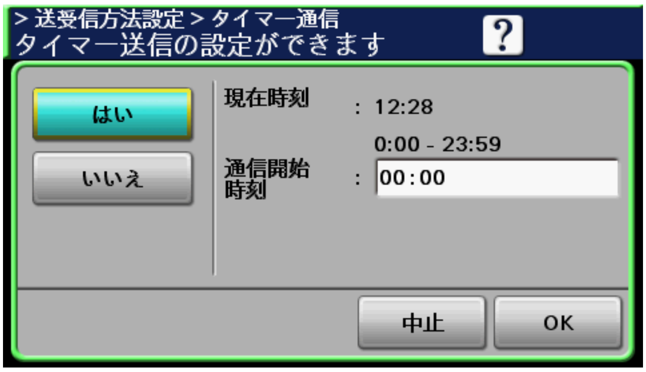


以下の機能とは併用できません。

- 読込みサイズ
- 長尺原稿
- 連続読込み設定
- 開き方向 / とじ方向
- ECM OFF
- V34 OFF
- タイマー通信
- F コード送信
- パスワード送信
- インターネットファクス送信

タイマー通信

送信の時刻を指定できます。早朝や深夜などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。通信の開始時刻を**テンキー**で指定します。



参考

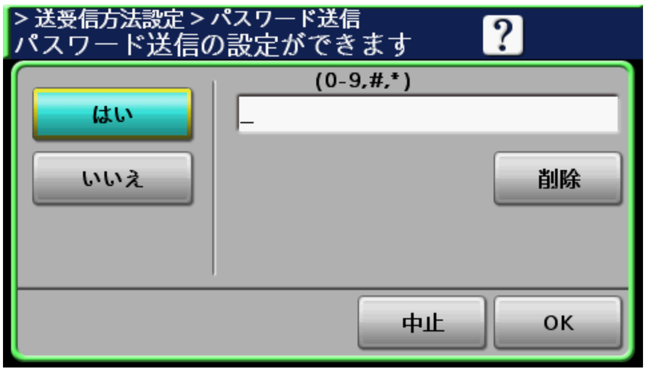
- 時、分で設定します。
- 日付の指定はできません。
- リダイアルを含め 16 件まで予約できます。
- あらかじめ本機の日付と時刻を正しく設定しておく必要があります。日付と時刻の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- ポーリング受信機能、インターネットファクス送信機能とは同時に使用できません。
- 指定した通信開始時刻に本機の電源がオフの場合は、電源をオンにしたときに送信されます。

パスワード送信

送信文書にパスワードをつけて送信します。相手先が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

この機能は、相手先が閉域受信（パスワード）機能をもつ弊社機種のときだけ使用できます。

テンキーでパスワードを入力してください。



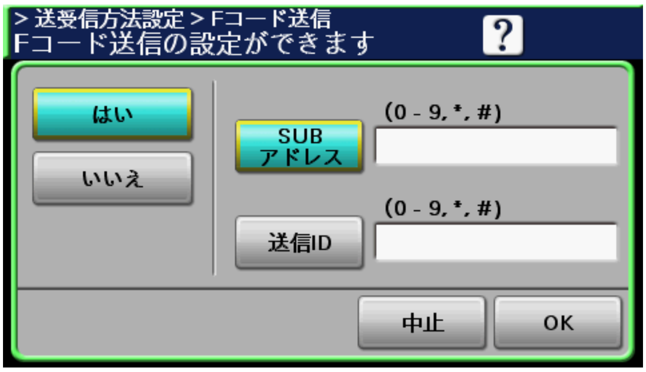
参考

- F コード送信機能、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

F コード送信

SUB アドレスや送信 ID を入力することで、相手先の特定のボックス宛に送信します。特定のボックスには、以下の種類があります。

- 親展送信
  - 相手機の親展受信ボックスに送信します。SUB アドレスにボックス番号、送信 ID に親展送信パスワードを入力します。
- 中継送信
  - 相手機が中継配信機能を持っている場合に、中継配信ボックスに送信します。SUB アドレスに中継ボックス番号、送信 ID に中継送信のパスワードを入力します。



参考

- F コードを使用するためには、相手先が F コード機能を持っている必要があります。
- パスワード送信機能、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

6.9.3 E-mail 設定（I-FAX）

インターネットファクス送信時の文書名、件名、From、本文内容を設定します。



項目	説明	
［文書名］	初期表示	保存されるファイルの名称が表示されます。
	設定	［文書名］を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 30 文字までです。
［件名］	初期表示	PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［題名］▸▸［題名一覧］でデフォルト E-mail 設定されている場合は、設定されている題名が表示されます。 PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［題名］▸▸［題名一覧］でデフォルト E-mail 設定されていない場合は、「Message from（装置名）」が表示されます。
	設定	［件名］を押すと、件名リストが表示されます。 いちばん上の項目を選択して、［直接入力］を押すと内容が変更できます。入力できるのは半角 64 文字までです。 2 行目以降は PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［題名］▸▸［題名一覧］で登録された件名が表示されます。
［From］	初期表示	［管理者設定］▸▸［管理者登録］▸▸［マシン登録］▸▸［アドレス］が設定されている場合は、設定された E-mail アドレスが表示されます。 ユーザー認証を行っている場合は、ユーザー登録されている E-mail アドレスが表示されます。 どちらも E-mail アドレスが設定されていない場合は、空白となります。
	設定	［From］を押すと、発信アドレスを変更できます。 ［管理者アドレス］、［ユーザー宛先］から選択するか、直接入力します。入力できるのは半角 320 文字までです。 ［管理者アドレス］：［管理者設定］▸▸［管理者登録］▸▸［管理者登録］▸▸［E-mail アドレス］で E-mail アドレスが登録されている場合は選択できます。 ［ユーザー宛先］：ユーザー認証を行っている場合は、選択できます。
［本文］	初期表示	PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［本文］▸▸［本文一覧］でデフォルト E-mail 設定されている場合は、設定されている本文が表示されます。 PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［本文］▸▸［本文一覧］でデフォルト E-mail 設定されていない場合は、空白となります。
	設定	［本文］を押すと、本文リストが表示されます。 いちばん上の項目を選択して、［直接入力］を押すと内容が変更できます。入力できるのは半角 256 文字までです。 2 行目以降は PageScope Web Connection の［宛先］▸▸［本文］▸▸［本文一覧］で登録された本文が表示されます。 ［詳細］を押すと、本文の内容を確認できます。

6.10　設定－原稿設定

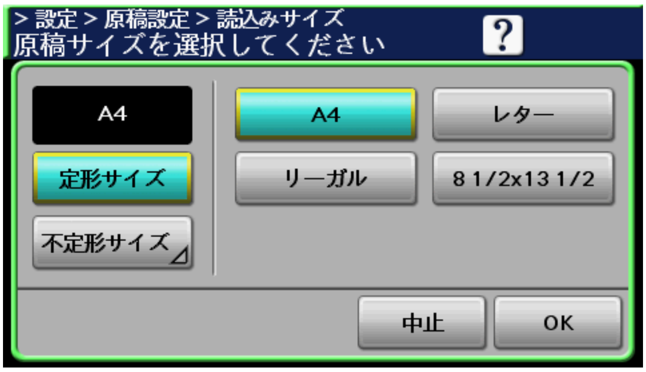
原稿のセットの種類を設定します。

6.10.1　読込みサイズ

スキャンする用紙サイズを設定します。

［定形サイズ］

A4 など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。



［不定形サイズ］

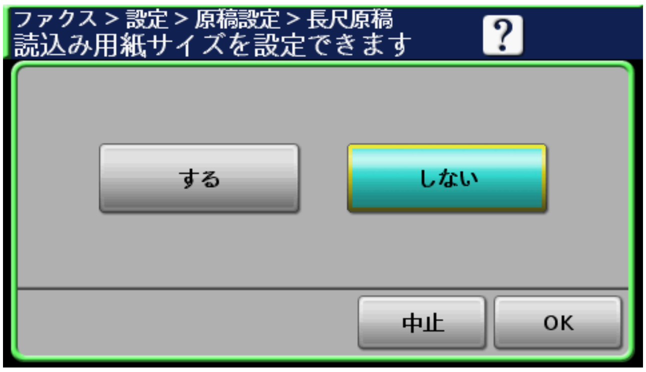
規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。

- X 方向：148.0 ～ 356.0 mm の範囲で設定します。
- Y 方向：140.0 ～ 216.0 mm の範囲で設定します。



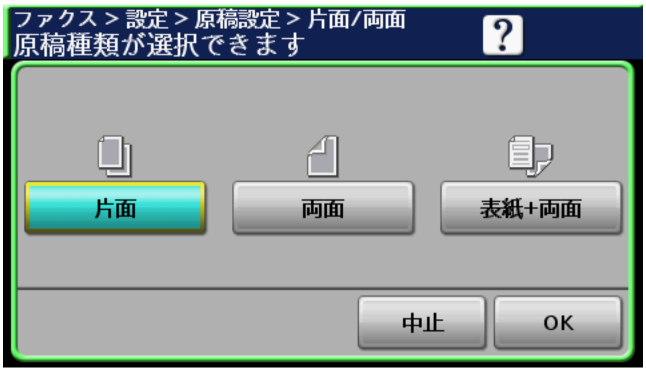
6.10.2 長尺原稿

定形サイズ（リーガル）よりも通紙方向が長い原稿をセットするときに設定します。1000 mm までの長さの原稿を送信できます。



6.10.3 片面 / 両面

ADF を使用する場合、原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。



項目	説明
[片面]	原稿の片面をスキャンします。
[両面]	原稿の両面をスキャンします。
[表紙 + 両面]	原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

6.10.4 開き方向 / とじ方向

原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。

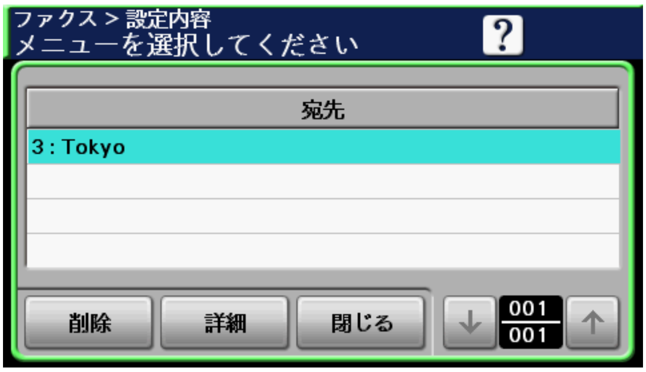


項目	説明
[左とじ]	原稿の左側にとじしろがある場合に設定します。
[上とじ]	原稿の上側にとじしろがある場合に設定します。
[自動]	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。

6.11 設定内容

ファクス画面で［設定内容］を押すと、指定した宛先とファクス設定内容の確認ができます。

宛先を削除する場合は、削除したい宛先を選択して［削除］を押します。



6.12 リダイアル（G3）について

同じ宛先にもう一度ダイアルする動作をリダイアルといいます。

受信側が話し中などで送信できない場合、一定時間が経過してから再度ダイアルします。

6.12.1 オートリダイアル

受信側が話し中などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にリダイアルされます。

リダイアルされるまで、送信のジョブはリダイアル待機の予約ジョブとして扱われます。

参考

- オートリダイアルの回数は出荷時に 2 分後に 1 回行われるように設定されています。

参照

オートリダイアル回数の設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

6.13　外付け電話機からの操作について

手動で相手先にダイアルし、相手先の状態を確認してから送信できます。

1 ホーム画面の［ファクス］または**操作パネル**の**ファクス**を押します。

2 読込み設定（p. 6-18）、原稿設定（p. 6-26）、通信設定（p. 6-21）を設定します。

3 原稿をセットします。

4 受話器を取って、発信音が聞こえることを確認します。

5 ファクス番号をダイアルします。
  → **操作パネル**からでもファクス番号を指定できます。

6 相手先と通話し、ファクス受信の準備をしてもらいます。

7 応答音が聞こえたら、［送信］を押し、［開始］または**スタート**を押します。

8 受話器を戻します。

7 受信する（G3/I-FAX）

7 受信する（G3/I-FAX）

ファクス受信の種類やそれぞれの操作について説明しています。

［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［強制メモリ受信］または［PC-Fax 受信設定］が［する］に設定されている場合は SSD に保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

参照

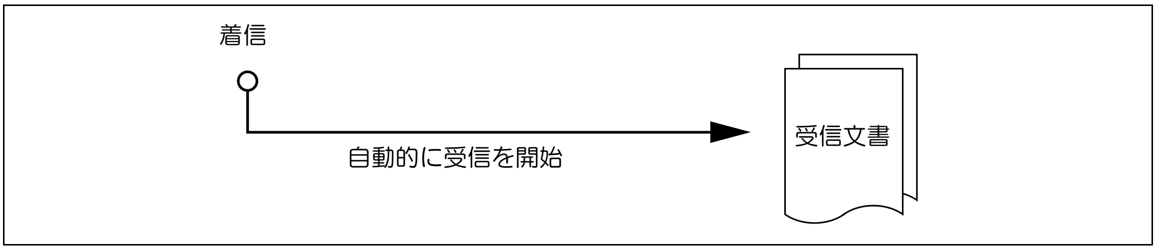
SSD からの印刷については、10-2 ページ、10-8 ページ、13-11 ページをごらんください。

強制メモリー受信、PC-Fax 受信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

7.1 受信する（G3：外部電話を接続しない）

7.1.1 自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信を開始します。



参考

- 自動受信で使用するには、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］を［自動受信］に設定する必要があります。

参照

通信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

7.2　受信する（G3：外部電話を接続する）

7.2.1　自動受信（TEL/FAX 自動切換え）

外部電話機を本機に接続して電話としても使う場合に設定します。ファクス優先で使うことが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。

着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して送信側に対して音声メッセージを流します。

参考

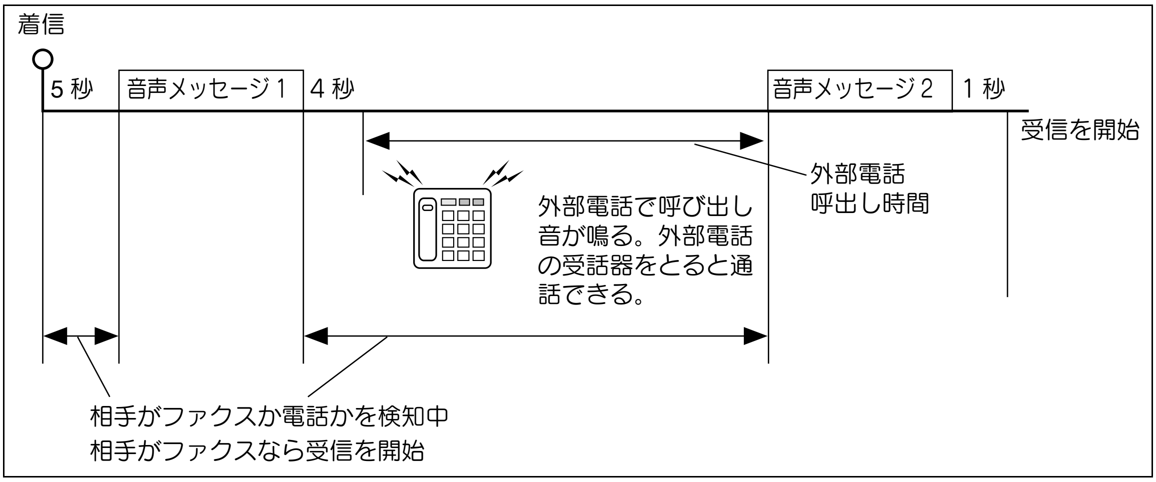
- TEL/FAX 自動切換えで使用するには、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］を［TEL/FAX 自動切換え］に設定する必要があります。

相手がファクスのとき

受信を開始します。送信側には音声メッセージが流れます。

相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが流れます。



音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」

音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」

自動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］に設定

参考

- 外部電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときはファクスからの送信です。受話器を上げたまま［受信］を押し、**スタート**を押すと受信できます。

参照

通信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

自動受信の状態で留守番電話機能設定を使う場合

外出時などに外部電話機の留守番電話機能を ON にする場合、外部電話機側の呼出音設定回数が、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［外部 TEL 呼出時間］よりも多く設定されている場合、本機がファクス受信を開始してしまい、留守番電話機能が正しく機能しません。［外部 TEL 呼出時間］の設定が、外部電話機の呼出音設定回数より多くなるように設定してください。

参照

通信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

外部電話機の呼出音設定回数を変更するには、外部電話機のマニュアルをごらんください。

7.2.2　外部電話機の留守番電話機能を設定するときは

外部電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用している場合で、常に外部電話の留守番機能を設定している場合は、このモードに設定しておくと便利です。

着信すると外部電話機の留守番電話メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。

参考

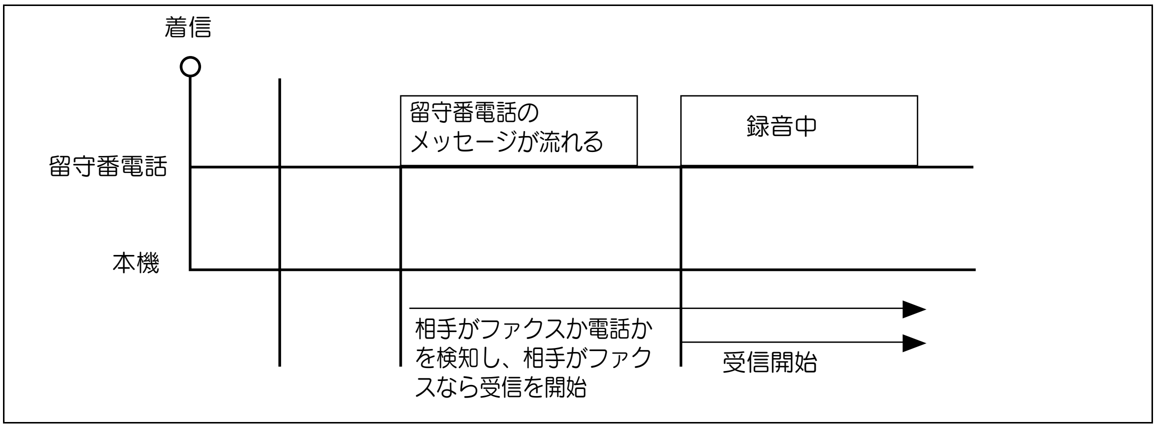
- 留守番設定がされていないなど、留守番電話が応答しない場合は約 20 秒後に受信を開始します。
- 留守番電話機能を設定するには、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］を［留守番電話接続］に設定する必要があります。

相手がファクスのとき

留守番電話から本機に自動的に切換わり、受信を開始します。

相手が電話のとき

送信側に留守番電話のメッセージが流れます。



留守番電話機能を使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

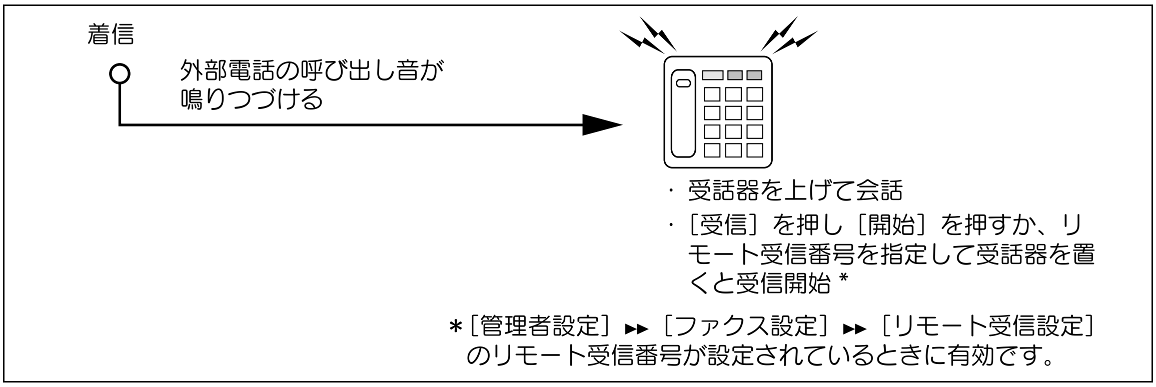
- 外部電話：接続している（留守番機能 ON）
- ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］：［留守番電話接続］に設定

参照

通信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

7.2.3　手動受信（電話専用）

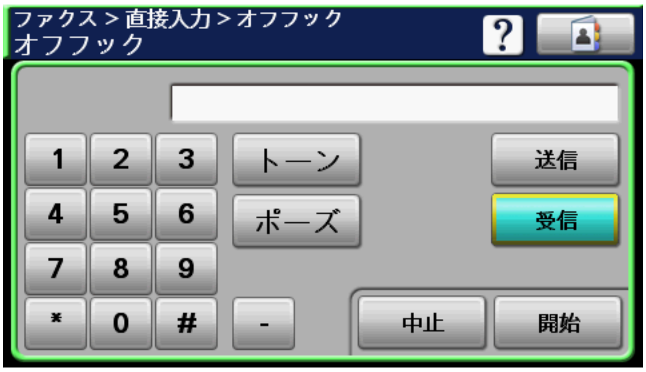
外部電話機を本機に接続している場合で、電話として使用することが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。



参考

- 電話専用で使用するには、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］を［手動受信］に設定する必要があります。

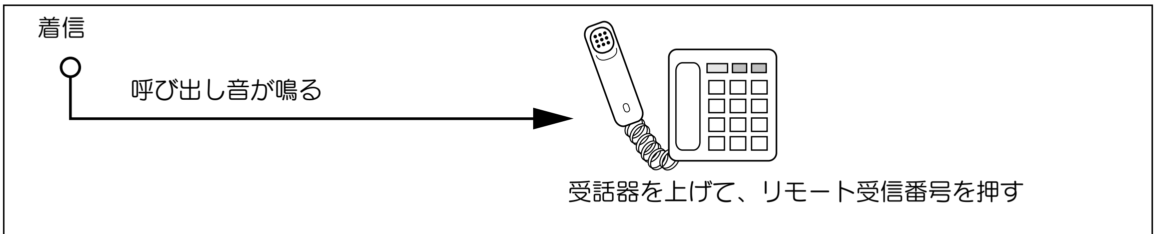
本機のパネルで手動受信する場合は、外部電話機のベルが鳴ったらファクス画面の［オフフック］を押し、［受信］になっていることを確認します。［開始］または**スタート**を押してください。



手動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。
- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］:［手動受信］に設定

リモート受信

外部電話機でリモート受信番号を入力することで、外部電話機から本機に受信の指示をすることができる機能です。リモート受信を行うには、あらかじめ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］を［手動受信］に設定し、リモート受信するためのリモート受信番号（2 桁）を設定する必要があります。



外部電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて相手がファクスであることを確認します。続けて 2 桁のリモート受信番号をダイアルし、受話器を戻します。

参照

通信設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

リモート受信設定については、12-6 ページをごらんください。

参考
- リモート受信番号は**テンキー**の 0 ～ 9、*、# を使って入力します。
- ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

7.3　受信する（I-FAX）

電子メールの受信には、自動取得があります。本機が電子メールを受信すると、メールの添付ファイルが自動的に印刷されます。本機は白黒 2 値の文書の受信ができます。

参考

- カラーやグレースケールの文書を受信すると、データは破棄され、プリントされません。
- 送信元がコニカミノルタ機のとき、相手機受信能力設定で、［JPEG（カラー）］、［JPEG（グレースケール）］を選択している場合は、データは破棄され、プリントされません。
- 受信したインターネットファクスの解像度によっては受信エラーとなる場合があります。本機が対応している受信解像度については、15-2 ページをごらんください。
- インターネットファクスの件名と本文は印刷されません。

自動取得

POP サーバーに対して、一定の間隔で電子メールが届いているかを確認します。

参考

- 電子メールを確認する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。設定方法については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- お買い上げ時の時間は 15 分に設定されています。

7.4 メモリー代行受信

7.4.1 メモリー代行受信とは

用紙づまりや消耗品ぎれなどで受信した文書を印刷できない場合は、印刷できる状態になるまで受信した文書がメモリーに保存されています。この機能をメモリー代行受信といいます。

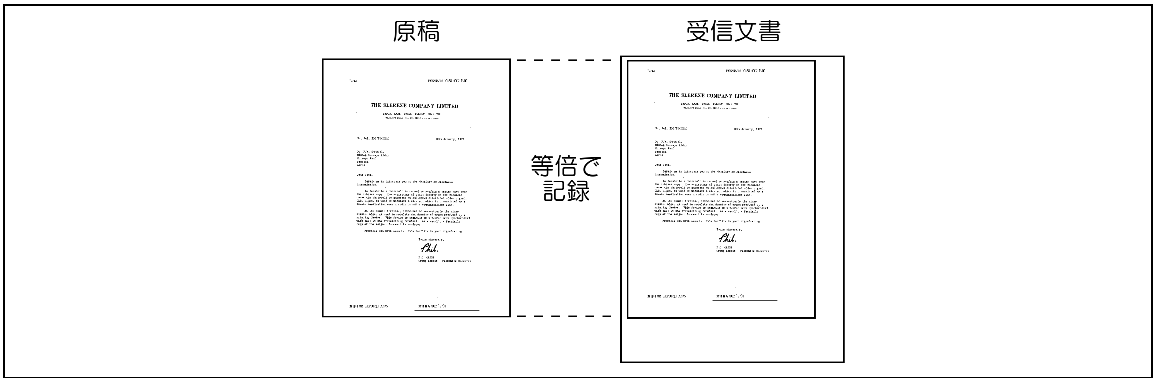
- 用紙づまりなどのトラブル処理が終了すると、保存されていた受信文書が自動的に印刷されます。
- メモリーがいっぱいになっているときは代行受信できない場合があります。

7.5 受信時の記録

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

7.5.1 等倍で記録するとき

[管理者設定] ▸▸ [ファクス設定] ▸▸ [機能設定] ▸▸ [受信印刷縮小率] が [100%] に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

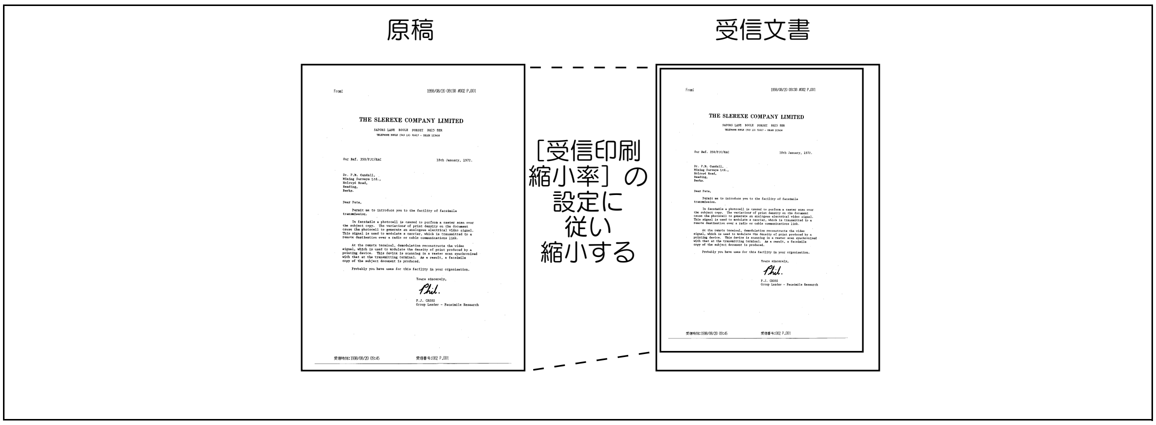


参考

- ページ分割をすることはできません。
- 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

7.5.2 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。(初期値は 96%)

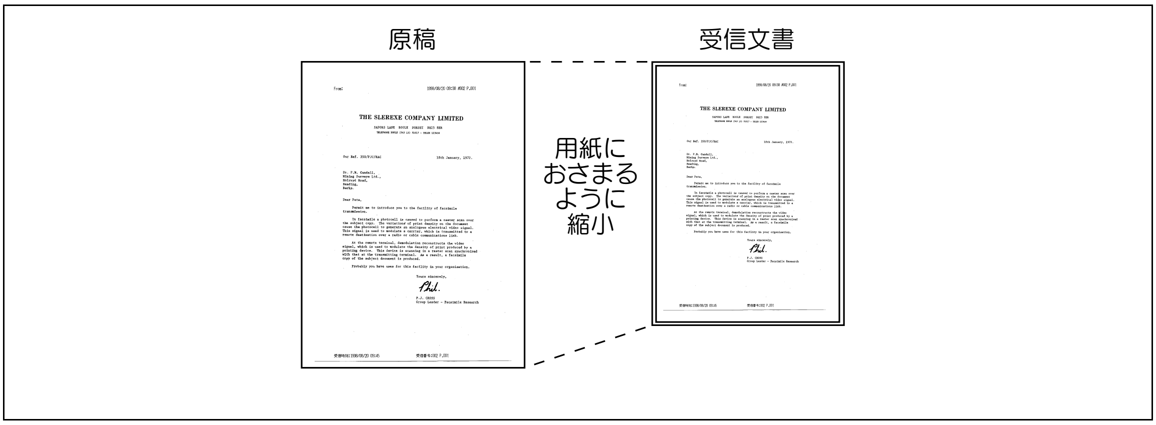


参照

受信印刷縮小率の設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

7.5.3　用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。



最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1：最適な用紙を選択する

受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	［インチ系用紙優先選択］の設定値	［受信情報］の記録位置	受信文書の長さ	選択される用紙サイズ
A4 幅	［しない］	［受信情報 OFF］または［本文中テキスト］	0 ～ 1000 mm	A4
		［原稿外］	0 ～ 1000 mm	A4
	［する］	［受信情報 OFF］または［本文中テキスト］	0 ～ 292 mm	レター
			293 ～ 1000 mm	リーガル
		［原稿外］	0 ～ 284 mm	レター
			285 ～ 1000 mm	リーガル

参照
インチ系用紙優先選択、受信情報の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

Step 2：実際にプリントする用紙を選択する

Step1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。

- 最適な用紙がセットされている：
  記録が開始されます。
- 最適な用紙がセットされていない、または［ユーザー設定］▸▸［環境設定］▸▸［給紙トレイ設定］▸▸［給紙トレイ自動切換え］が［しない］に設定されている：
  次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。

最適記録用紙	A4	レター	リーガル
記録紙選択順序（上段から下段）	A4	レター	リーガル
		A4	レター
		リーガル	A4

参考
- 印刷用紙が給紙トレイにセットされていない場合は、用紙のセットを促すメッセージが表示されます。
- 給紙トレイ自動切換え機能の設定によっては、最適用紙サイズに印刷されません。

参照
給紙トレイ自動切換え機能の設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

縮小と分割の動作

[給紙トレイ固定]:給紙トレイが固定されている場合
- 受信文書のサイズが給紙トレイにセットされている用紙サイズと同じか、短いサイズの場合は、設定されている縮小率(87% ~ 96%)で縮小されます。
- 受信文書のサイズが給紙トレイにセットされている用紙サイズよりも長いサイズの場合は、自動的に縮小(75% ~ 96%)されます。75% まで縮小しても収まらない場合は、はみ出た部分が切り捨てられます。
- ページ分割は行われません。

[受信印刷縮小率]:[100%](等倍)に設定されている場合
- ページ分割は行われません。
- 縮小は行われません。
- [給紙トレイ固定] は [自動] に設定されます。
- 受信長 -20 mm の長さが収まる用紙に等倍で印刷され、20 mm までの後端画像が切り捨てられます。20 mm を超えた場合は、次に大きなサイズの用紙に印刷されます。

[ページ分割記録]:[しない] に設定されている場合
- 自動的に縮小(75% ~ 96%)されます。75% まで縮小しても収まらない場合は、はみ出た部分が切り捨てられます。
- 縦横比を維持したまま主走査方向と副走査方向が縮小されます。
- 印刷用紙の方向と自動選択された用紙の方向が一致しない場合でも、自動的に 90 度回転して印刷されません。

[ページ分割記録]:[する] に設定されている場合
- 設定されている縮小率(87% ~ 96%)で縮小されます。1 ページに収まらない場合は、次ページに分割されます。
- ページ分割によって他ページとの重複部分が生じることはありません。
- 以下のように設定されている場合は、ページ分割は行われません。
  - [給紙トレイ固定]:給紙トレイを固定
  - [受信印刷縮小率]:[100%]
  - [記録用紙優先選択]:[サイズ固定] または [サイズ優先]
  - [受信原稿両面印刷]:[する]

参照
ページ分割記録、給紙トレイ固定、受信印刷縮小率、記録用紙優先選択、受信原稿両面印刷については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

7.6　受信情報

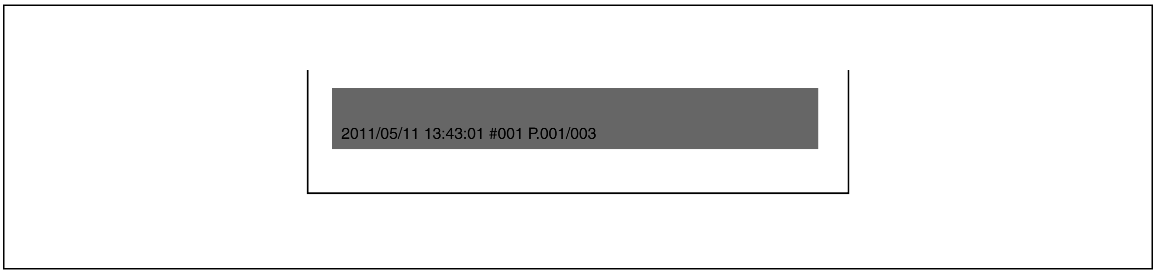
受信した日付、時刻、受信番号、ページ番号が受信した文書に自動的に印刷されます。受信した情報は［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ヘッダー / フッター設定］▸▸［受信情報］で設定した内容にしたがって以下の場所に印刷されます。

参照

受信情報の設定については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

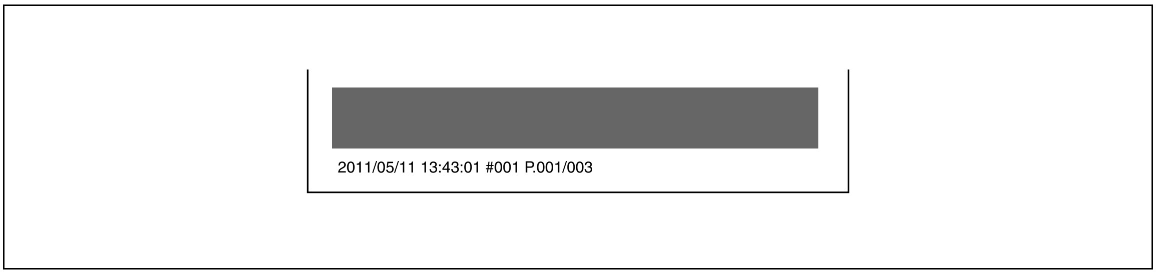
原稿内に印刷

画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。



原稿外に印刷

画像の外側に受信情報が印刷されます。



印刷されない

［受信情報 OFF］に設定すると、受信情報は印刷されません。



8 PC-FAX を送信する

8 PC-FAX を送信する

ファクスドライバーの使い方について説明します。

8.1 PC-FAX を送信する

8.1.1 送信操作

1 アプリケーションソフトウェアで送信したいデータを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 ［プリンタ名］（または［プリンタの選択］）でインストールした「KONICA MINOLTA 42SeriesFAX」を選択します。

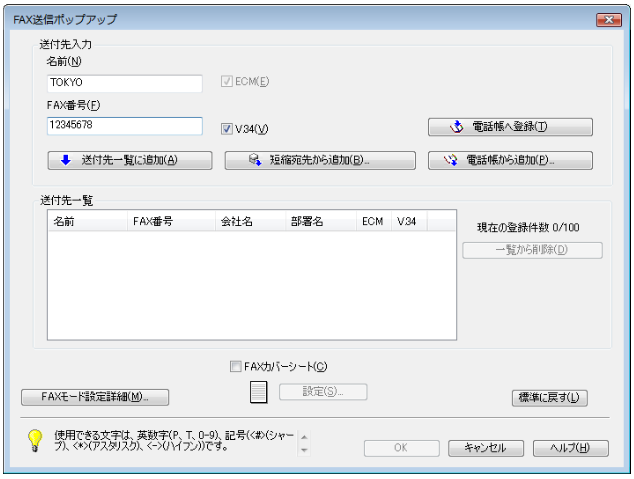
4 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、ファクスドライバーの設定を変更します。

➔ ［印刷］画面で［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックすると、ファクスドライバーの［印刷設定］画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、8-15 ページをごらんください。

5 ［印刷］をクリックします。

［FAX 送信ポップアップ］が表示されます。

6 ［名前］と［FAX 番号］を入力します。



➔ ［名前］は 80 文字まで入力できます。

➔ ［FAX 番号］は、0 ～ 9 までの数字と、ハイフン（-）、#、*、P、T が半角 38 文字まで入力できます。海外に送信する場合は、番号の最初に国番号を入力してください。

➔ 通信モードは必要に応じて変更してください。
ECM：ECM（エラー訂正モード）を設定します。V.34 が ON の場合は OFF にできません。
V.34：スーパー G3 のファクス送信モードを設定します。通常は ON で使用し、相手先のモードで通信できない場合のみ OFF にしてください。

➔ 本機の短縮宛先に登録されているファクス番号は［短縮宛先から追加 ...］で指定できます。詳しくは、8-5 ページをごらんください。

➔ 電話帳に登録されているファクス番号は［電話帳から追加 ...］で指定できます。詳しくは、8-4 ページをごらんください。

➔ 入力した名前と FAX 番号は、［電話帳へ登録］をクリックすると電話帳の［簡易登録］フォルダーに登録できます。ただし、電話帳が登録されていない場合は登録できません。電話帳については、8-20 ページをごらんください。

7 ［送付先一覧に追加］をクリックします。

➔ 送付先が複数の場合は、手順 6、7 を繰り返します。100 件まで登録できます。

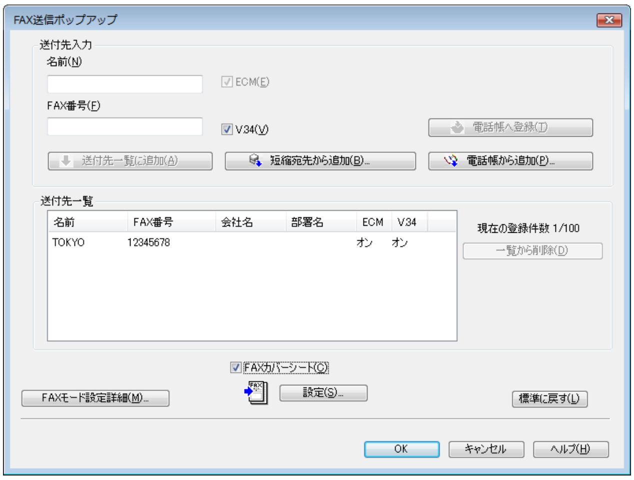
➔ 登録した送付先を取り消したいときは、［一覧から削除］で削除できます。

8 必要に応じて［FAX モード設定詳細 ...］、［FAX カバーシート］を設定します。

➔ 詳しくは、8-6 ページ、8-7 ページをごらんください。

9 ［OK］をクリックします。

ファクスデータが本機経由で送信されます。



8.1.2 送信先を電話帳から選択する

参照

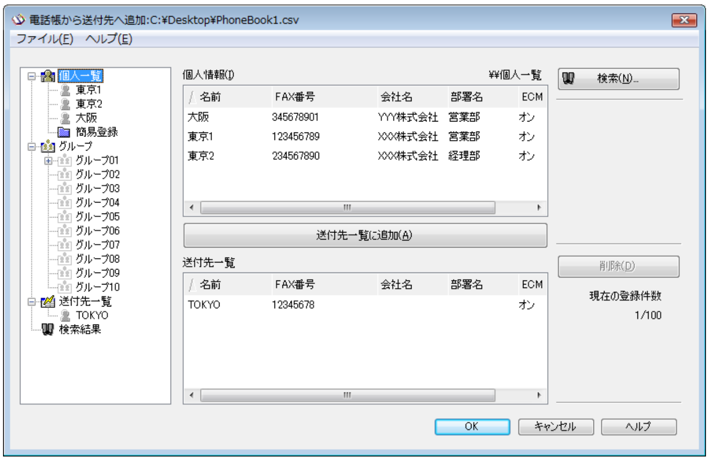
電話帳を利用する場合は、あらかじめ送信先の名前やファクス番号を電話帳に登録しておいてください。詳しくは、8-20 ページをごらんください。

1 送信時に、［FAX 送信ポップアップ］で［電話帳から追加 ...］をクリックします。

→ ［FAX 送信ポップアップ］は送信操作（手順 1 ～ 5）で開きます。詳しくは、8-2 ページをごらんください。

2 電話帳左側のリストから［個人一覧］や［グループ］を選択し、目的の送信先を［個人情報］一覧に表示させせます。

→ ［検索 ...］をクリックすると条件を設定して検索できます。

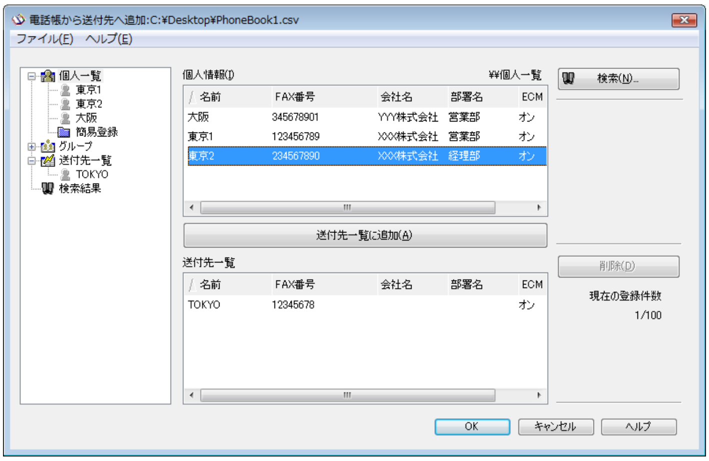


3 ［個人情報］一覧から送信したい名前を選択し、［送付先一覧に追加］をクリックします。

→ 送付先が複数の場合は、同様に追加します。100 件まで登録できます。

→ ［送付先一覧］に追加した送付先を取り消したいときは、削除したい名前を選択し、［削除］をクリックすると削除できます。

→ 送付先をグループに登録してある場合は、グループ名を選択した状態で［送付先一覧に追加］をクリックすると、全メンバーが［送付先一覧］に追加されます（同報送信）。



4 ［OK］をクリックします。

指定した名前が送付先一覧に追加され、［FAX 送信ポップアップ］にもどります。

8.1.3 送信先を本機の短縮宛先から選択する

参照

本機の短縮宛先から選択する場合は、あらかじめ送信先の名前やファクス番号を本機の短縮宛先に登録しておいてください。本機の短縮宛先登録の詳細は、12-2 ページ、13-13 ページをごらんください。

✔ 本機の短縮宛先から送信先を選択する機能は、本機とコンピューターが通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

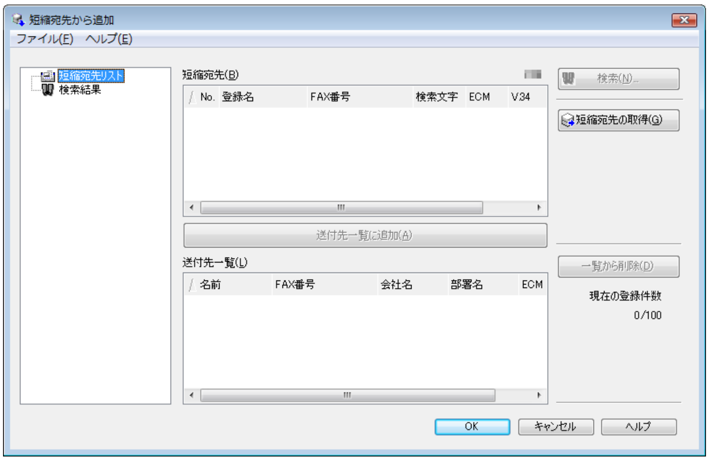
1 送信時に、[FAX 送信ポップアップ] で [短縮宛先から追加 ...] をクリックします。

➔ [FAX 送信ポップアップ] は「送信操作」(手順 1 ～ 5) で開きます。詳しくは、8-2 ページをごらんください。

2 画面左側のリストから [短縮宛先リスト] を選択し、目的の送信先を [短縮宛先] 一覧に表示させます。

➔ [短縮宛先の取得] をクリックすると本機と通信し、短縮宛先の情報を読み取ります。

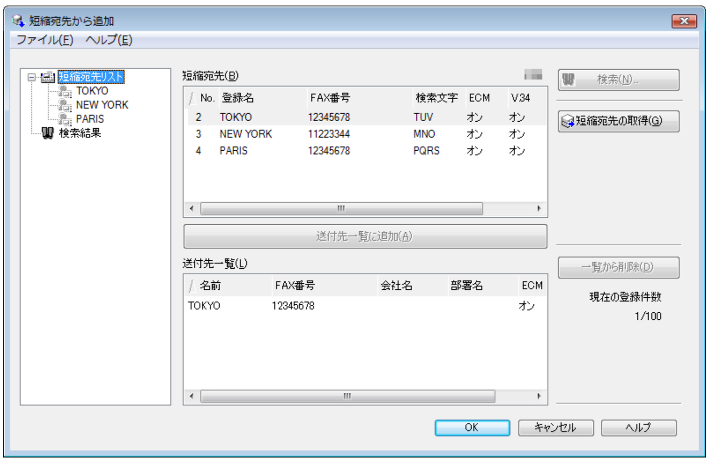
➔ [検索 ...] をクリックすると条件を設定して検索できます。



3 [短縮宛先] 一覧から送信したい名前を選択し、[送付先一覧に追加] をクリックします。

➔ 送付先が複数の場合は、同様に追加します。100 件まで登録できます。

➔ [送付先一覧] に追加した送付先を取り消したいときは、削除したい名前を選択し、[一覧から削除] をクリックすると削除できます。

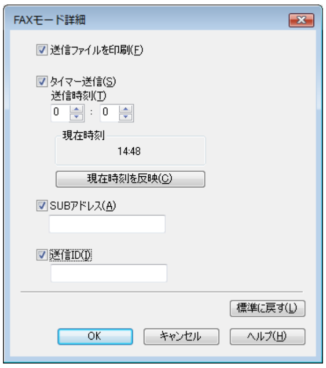


4 [OK] をクリックします。

指定した名前が送付先一覧に追加され、[FAX 送信ポップアップ] にもどります。

8.1.4　　送信条件を設定する

［FAX モード詳細］は、送信時に［FAX 送信ポップアップ］で［FAX モード設定詳細 ...］をクリックすると表示され、送付条件を設定します。



項目名	機能
［送信ファイルを印刷］	ファクス送信したあとに原稿を印刷します。
［タイマー送信］	送信する時刻を指定します。［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が［送信時刻］に表示されます。
［SUB アドレス］	F コードを使用した親展通信を行う場合に SUB アドレスを指定します。
［送信 ID］	F コードを使用した親展通信を行う場合に送信 ID を指定します。

参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。
- F コードを使用して他機種のファクスに親展通信を行う場合は［SUB アドレス］と［送信 ID］を入力します。［SUB アドレス］は 0 ～ 9 までの半角数字で 20 文字まで入力できます。［送信 ID］は 0 ～ 9 までの半角数字と、#、* で、20 文字まで入力できます。SUB アドレスと送信 ID の詳細は、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

8.1.5 FAX カバーシートを作成する

送信時に［FAX 送信ポップアップ］で［FAX カバーシート］を ON にすると表紙を付けて送信できます。カバーシートの内容は［設定 ...］をクリックして表示される［FAX カバーシート設定］ダイアログボックスで編集できます。

［FAX カバーシート設定］ダイアログボックスでは、［基本］、［送付先］、［発信者］、［イメージ］の各設定をそれぞれの画面に切換えて変更できます。

参考

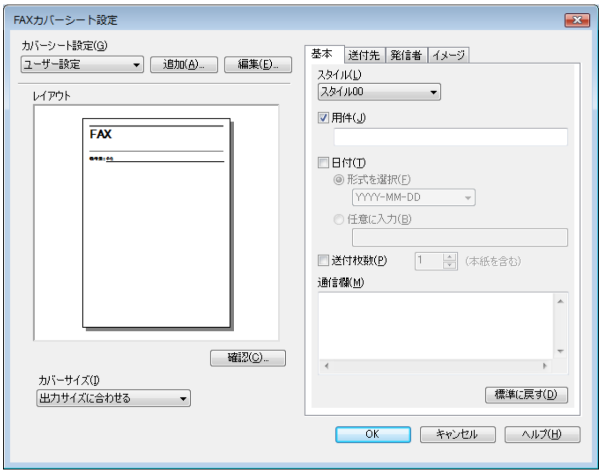
- Windows Vista x64/7 x64/Server 2008 x64/Server 2008 R2 の場合、［FAX 送信ポップアップ］から［FAX カバーシート］が指定できません。あらかじめ、ファクスドライバーの［FAX］タブで設定してください。詳しくは、8-15 ページをごらんください。

1 ［FAX 送信ポップアップ］で［FAX カバーシート］のチェックボックスを ON にします。

2 ［設定 ...］をクリックします。

［FAX カバーシート設定］ダイアログボックスが表示されます。

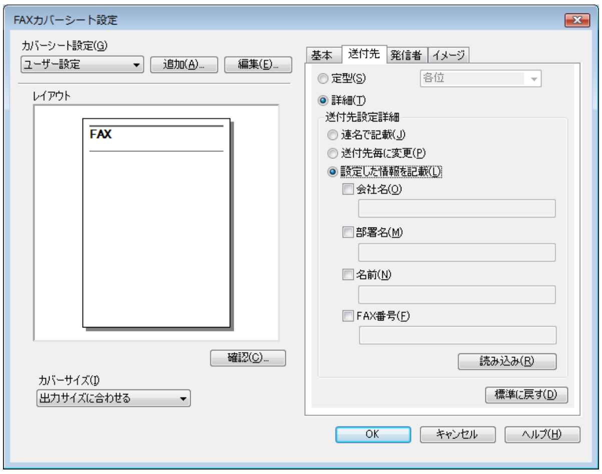
3 ［カバーサイズ］でカバーシートのサイズを設定します。



4 ［基本］タブで書式や用件などを設定します。

項目名	機能
［スタイル］	カバーシートの書式デザインを選択します。
［用件］	送信するファクスの件名を入力します。64 文字まで入力できます。
［日付］	日付を指定します。形式を選択するか、任意に入力します。入力する場合は 20 文字まで入力できます。
［送付枚数］	送付枚数を指定します。
［通信欄］	通信欄に表示する文章を入力します。640 文字まで入力でき、改行は 2 文字分に換算されます。

5 ［送付先］タブで送付先の表記を設定します。

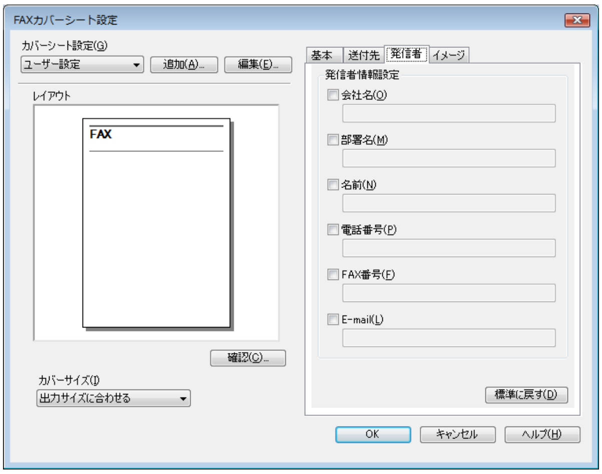


項目名			機能
［定型］			定型文を指定します。
［詳細］			下段の［送付先設定詳細］で詳細に設定します。
	［連名で記載］		送付先を連名で記載します。記載内容は、［FAX 送信ポップアップ］の送付先一覧の内容です。
	［送付先毎に変更］		送付先ごとに記載を切換えます。記載内容は、［FAX 送信ポップアップ］の送付先一覧の内容です。
	［設定した情報を記載］		直下の［会社名］［部署名］［名前］［FAX 番号］で指定した内容を表記します。 各項目 80 文字まで入力できます。
		［読み込み］	情報ボックスに 1 件目の送付先の内容を読み込みます。

➔ ［送付先毎に変更］で送付状を個別に作成できるのは 100 件までです。
➔ ［送付先毎に変更］を指定した場合でも、［レイアウト］には、1 件目の送付先が見本として表示されます。
➔ ［連名で記載］および［送付先毎に変更］に設定した場合、登録した名前が記載されますが、敬称は付加されません。
➔ ［FAX 送信ポップアップ］で送付先が設定されていない場合は、［設定した情報を記載］は選択できません。また、ファクスドライバーの［FAX］タブからも選択できません。

6 ［発信者］タブで発信者の表記を設定します。

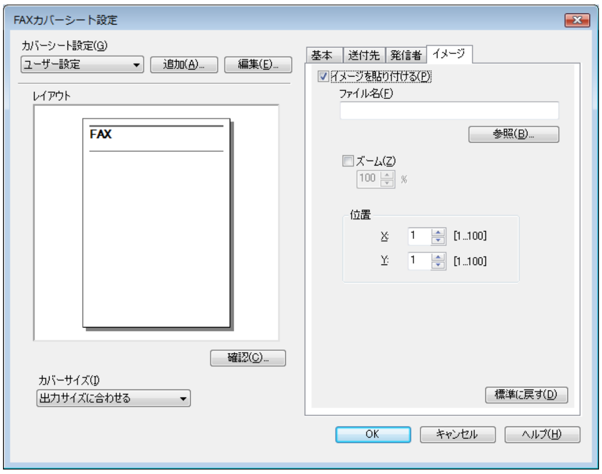
➔ 記載する項目のチェックボックスを ON にして内容を入力します。
➔ 各項目 80 文字まで入力できます。



7 会社のロゴマークや地図などの画像を送付状に配置する場合は、［イメージ］タブで画像ファイルを指定します。

➔ サイズはズームで、位置は［X:］［Y:］の数値で指定します。

➔ 指定できるファイル形式は BMP です。



8 指定内容を確認します。

［確認 ...］をクリックするとレイアウトイメージを拡大して確認できます。

➔ ［追加 ...］をクリックすると、カバーシートの設定を保存して、次から［カバーシート設定］リストで呼び出せます。

9 ［OK］をクリックします。

8.2　ファクスドライバーの初期設定

ファクスドライバーをインストールしたら、日常のファクス送信を行う前にオプションやユーザー認証、部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をファクスドライバーの［印刷設定］画面から使用可能にする必要があります。

重要
本機に装着されているオプション、ユーザー認証、部門管理機能が［装置情報］タブで設定されていないと、ファクスドライバーの［印刷設定］画面でオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

8.2.1　プロパティ画面の表示方法

1 ［プリンタ］ウィンドウ（Windows 7/Server 2008 R2 の場合は［デバイスとプリンター］ウィンドウ、Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］ウィンドウ）を開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロールパネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
［コントロールパネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

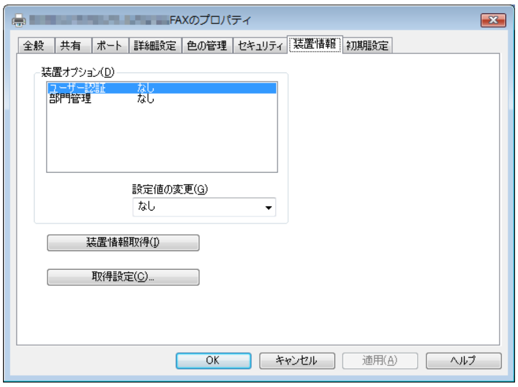
➔ Windows XP/Server 2003 で［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。
［コントロールパネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタと FAX］をダブルクリックします。

2 ［プリンターのプロパティ］を開きます。

➔ Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたファクスドライバーのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、インストールしたファクスドライバーのアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］をクリックします。

8.2.2　［装置情報］タブ

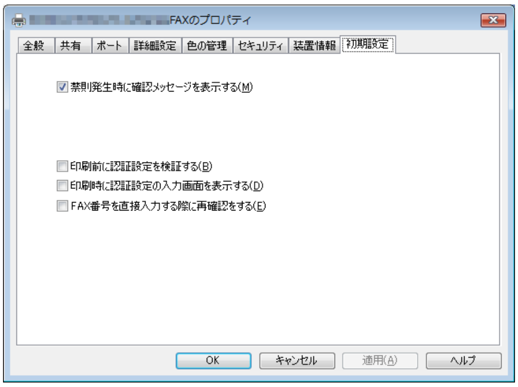


項目名	機能
［装置オプション］	本機に装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は［設定値の変更］で設定します。
［装置情報取得］	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
［取得設定 ...］	［装置情報取得］を実行する接続先などの条件を設定します。 装置情報を自動で取得する場合は［自動取得］を有効にします。

参考

- ［装置オプション］のオプションは、［取得設定 ...］が［自動取得］になっていれば自動的に設定されます。［自動取得］になっていない場合は、［装置情報取得］または手動で必ず設定してください。
- ［装置情報取得］は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。また、［装置情報取得］を利用するときは、PageScope Web Connection の管理者モード ▸▸［ネットワーク］▸▸［OpenAPI 設定］▸▸［OpenAPI 設定］▸▸［認証］を［オフ］に設定してください。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- 接続先は［取得設定 ...］をクリックして設定できます。

8.2.3 ［初期設定］タブ

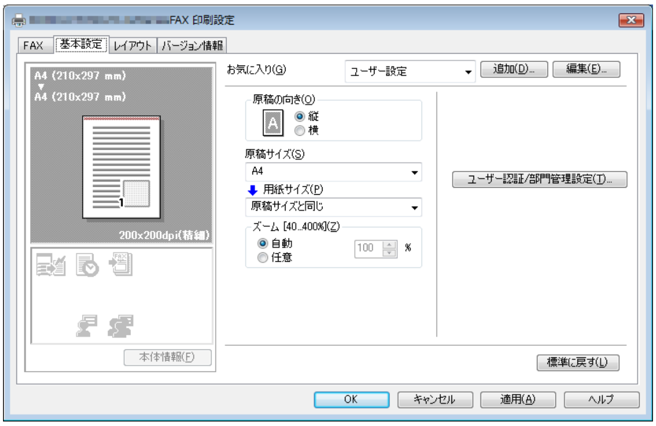


項目名	機能
［禁則発生時に確認メッセージを表示する］	ファクスドライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
［印刷前に認証設定を検証する］	印刷前に本機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。
［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］	印刷を指定するときに［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。
［FAX 番号を直接入力する際に再確認をする］	［FAX 送信ポップアップ］で［FAX 番号］を直接入力した場合、［送付先一覧に追加］をクリックしたときに、確認のため FAX 番号を再入力する画面を表示します。

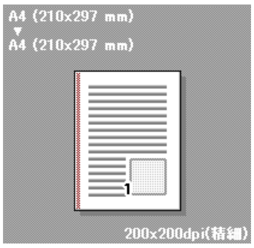
8.3 共通項目

ここでは、ファクスドライバーの［印刷設定］画面の各タブで共通の設定やボタンについて説明します。

［印刷設定］画面は、［印刷］ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウ、［デバイスとプリンター］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウのファクスドライバーのアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］を指定して開きます。



項目名	機能
［OK］	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
［キャンセル］	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
［適用］	このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。
［ヘルプ］	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
［追加 ...］（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼び出すことができます。詳しくは、8-24 ページをごらんください。
［編集 ...］（お気に入り）	保存してある設定を変更します。詳しくは、8-25 ページをごらんください。
［標準に戻す］	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。

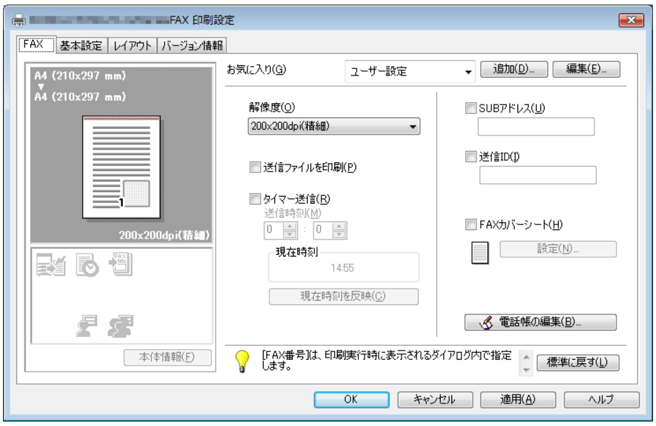
項目名	機能
ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、送信結果のイメージを確認できます。  ビューの下段に表示されるアイコンは、設定されている機能を確認できます。 ：［送信ファイルを印刷］が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：［タイマー送信］が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：［FAX カバーシート］が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：［ユーザー認証］が設定されているときに表示され、なしのときにグレーアウトします。 ：［部門管理］がありのときに表示され、なしのときにグレーアウトします。
［本体情報］	PageScope Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。 本機と通信可能な状態で有効です。

参照

装着されているオプションを有効にするには、［装置オプション］の設定が必要です。詳しくは、8-11 ページをごらんください。

8.4 設定項目詳細

8.4.1 ［FAX］タブ

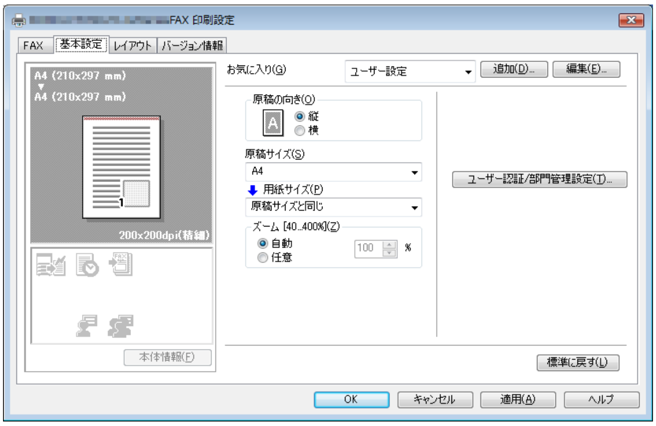


項目名	説明
［解像度］	ファクスの解像度を設定します。解像度を高くすると通信時間が長くなることがあります。
［送信ファイルを印刷］	ファクス送信したあとに原稿を印刷します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。
［タイマー送信］	送信する時刻を指定します。［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が［送信時刻］に表示されます。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。
［SUB アドレス］	F コードを使用した親展通信を行う場合に SUB アドレスを指定します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。
［送信 ID］	F コードを使用した親展通信を行う場合に送信 ID を指定します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。
［FAX カバーシート］	ファクスのカバーシートを設定します。この機能は送信時でも設定できます。詳しくは、8-7 ページをごらんください。
［電話帳の編集 ...］	電話帳を編集します。詳しくは、8-22 ページをごらんください。

参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。
- F コードを使用して他機種のファクスに親展通信を行う場合は［SUB アドレス］と［送信 ID］を入力します。［SUB アドレス］は 0 ～ 9 までの半角数字で 20 文字まで入力できます。
［送信 ID］は 0 ～ 9 までの半角数字と、＃、* で、20 文字まで入力できます。SUB アドレスと送信 ID の詳細は、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

8.4.2 ［基本設定］タブ



項目名	説明
［原稿の向き］	送信する原稿の用紙方向を設定します。
［原稿サイズ］	送信する原稿の用紙サイズを設定します。
［用紙サイズ］	送信する用紙サイズを設定します。設定した用紙サイズが原稿サイズと異なる場合で、ズームが［自動］のときは、サイズに合わせて拡大、縮小されます。
［ズーム］	拡大・縮小率を設定します。
［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］	本機で［ユーザー認証］を設定している場合のユーザー名／パスワード、本機で［部門管理］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。 ユーザー認証については 8-17 ページ、部門管理については 8-18 ページをごらんください。

不定形サイズを設定する

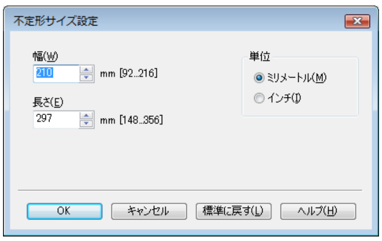
不定形サイズの原稿で送信する場合は、以下の操作で用紙サイズの数値を指定します。

1 ［原稿サイズ］から［不定形サイズ］を選択します。

［不定形サイズ設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 以下の項目を設定します。

項目名	機能
［幅］	不定形サイズの幅を単位に合わせて設定します。
［長さ］	不定形サイズの長さを単位に合わせて設定します。
［単位］	サイズを設定する単位を選択します。



3 ［OK］をクリックします。

ユーザー認証を設定する

本機で認証モードが設定されている場合にユーザー名とパスワードを入力します。

参考

- 本機の［ユーザー認証］で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して送信したり、または［ユーザー認証］を設定しないで送信した場合は、本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 本機で［ユーザー認証］機能を有効にしているとき、ファクスドライバーから、ユーザー名に、"（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、ファクス送信をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、ジョブは破棄されます。

参照

ユーザー認証が［装置情報］タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、8-11 ページをごらんください。

1　［基本設定］タブをクリックします。

2　［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。

3　［登録ユーザー］を ON にし、本機で登録されている［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。



➔ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角英数 64 文字まで入力できます。
➔ 本機でパブリックユーザーが許可されている場合は、［パブリックユーザー］で利用できます。
➔ ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、サーバーを選択してください。
➔ ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
➔ 中間サーバーで認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。
➔ 中間サーバーで認証を行っている場合、PageScope Web Connection の管理者モード ▸▸［ネットワーク］▸▸［OpenAPI 設定］▸▸［OpenAPI 設定］▸▸［認証］を［オフ］に設定してください。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

4　［OK］をクリックします。

参考

- 登録ユーザーであっても、使用が許可されていない場合は送信できません。ユーザー認証については、本機の管理者にお問い合わせください。
- オプションの**認証装置** AU-201 によるユーザー認証を行っている場合も、手順 3 の［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

部門管理を設定する

本機側で［部門管理］機能を使用している場合、部門名とパスワードを入力する必要があります。

参考

- 本機側の［部門管理］機能で有効ではない部門名やパスワードを入力して送信したり、または［部門管理］を設定しないで送信した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。

参照

［部門管理］が［装置情報］タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、8-11 ページをごらんください。

1 ［基本設定］タブをクリックします。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。

3 本機で登録されている［部門名］と［パスワード］を入力します。



➔［部門名］と［パスワード］は半角 8 文字まで入力できます。

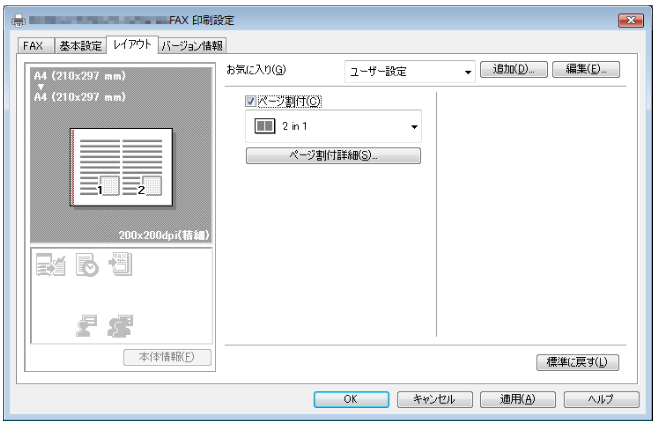
➔［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

4 ［OK］をクリックします。

参考

- 登録部門であっても、使用が許可されていない場合は送信できません。部門管理機能については、本機の管理者にお問い合わせください。

8.4.3 ［レイアウト］タブ



機能名称	説明
［ページ割付］	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付けて送信します。［ページ割付詳細 ...］で詳細が設定できます。

ページ割付（N in 1）を行う

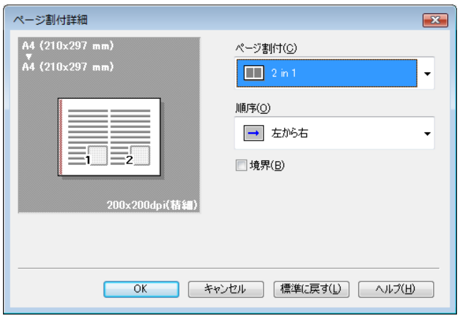
複数ページの文書を 1 枚の用紙に印刷する N in 1 印刷を指定します。

N in 1 印刷は、出力する用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

1 ［レイアウト］タブをクリックします。

2 ［ページ割付］のチェックボックスを ON にし、ドロップダウンリストで条件を設定します。

➔ ［境界］や［順序］などを設定するときは、［ページ割付詳細 ...］をクリックし、表示されるダイアログボックスで設定します。



参考

- 1 つのジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を送信すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

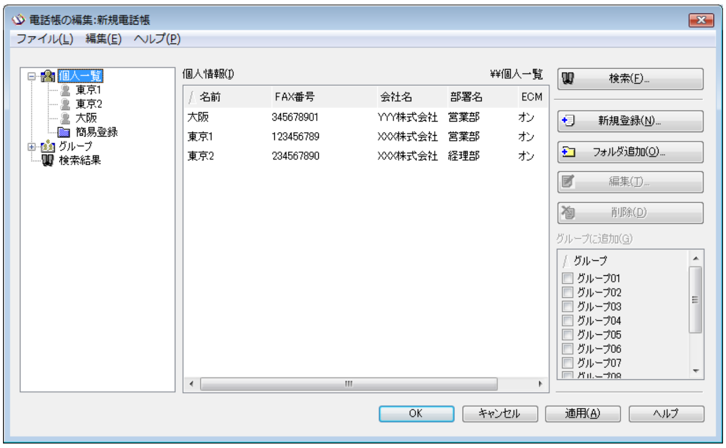
8.5 電話帳の利用

8.5.1 電話帳に登録する

よく利用する送信先を電話帳に登録しておけば、送信時に呼び出して利用できます。電話帳はファクスドライバーの［FAX］タブで登録します。

1 ファクスドライバーの［FAX］タブで［電話帳の編集 ...］をクリックします。

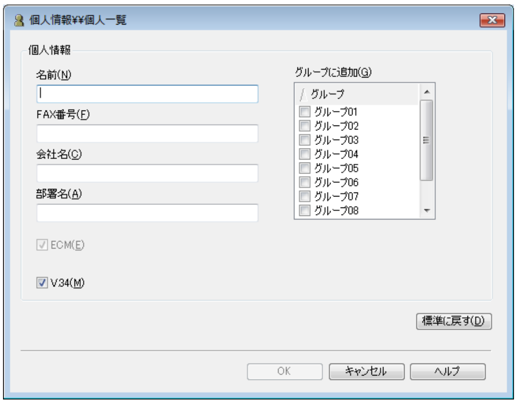
［電話帳の編集］画面が表示されます。



2 電話帳左側のリストから［個人一覧］を選択し、［新規登録 ...］をクリックします。

［個人情報￥￥個人一覧］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［名前］［FAX 番号］［会社名］［部署名］を入力します。



➔ FAX カバーシートで名前を記載する場合、敬称は付加されません。FAX カバーシートで敬称をつけたい場合は［名前］に敬称を付けて入力してください。

➔ ［名前］［会社名］［部署名］は、80 文字まで入力できます。

➔ ［FAX 番号］は、0 ～ 9 の数字とハイフン (-)、#、*、P、T が半角 38 文字まで入力できます。海外へ送信する場合は、番号の最初に国番号を入力してください。

➔ 通信モードは必要に応じて変更してください。
［ECM］：ECM（エラー訂正モード）を設定します。V.34 が ON の場合は OFF にできません。
［V.34］：スーパー G3 のファクス送信モードを設定します。通常は ON で使用し、相手先のモードで通信できない場合のみ OFF にしてください。

4 グループに登録する場合は、登録するグループにチェックマークを付けます。

➔ グループに登録すると、送付先をグループで指定できます（同報送信）。決まったメンバーに送信することがある場合はグループに登録しておくと便利です。
➔ 登録するグループは複数選択できます。
➔ グループ名は変更できます。

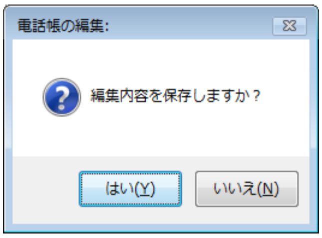
5 ［OK］をクリックします。

個人情報が登録され、個人一覧に表示されます。
グループを指定した場合は、登録したグループの一覧にも表示されます。

6 ［OK］をクリックします。

名前を追加した場合は電話帳の編集を終了します。
初めて電話帳を登録した場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

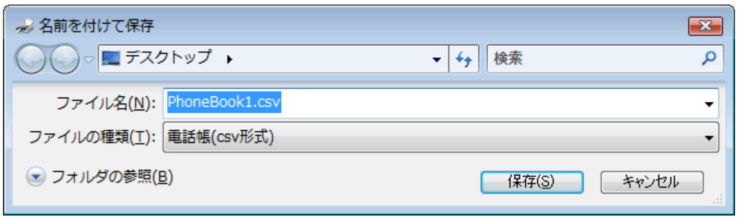
7 ［はい］をクリックします。



［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

8 保存する場所を指定してファイル名を入力し、［保存］をクリックします。

電話帳がファイルとして保存されます。



➔ ［名前を付けて保存］ダイアログボックスは、初めて電話帳を登録した場合に表示されます。2 回目以降に電話帳を変更した場合は、［名前を付けて保存］画面は表示されず、自動的に上書きされます。
➔ 保存した電話帳ファイルは、次回、電話帳を開いたときに自動的に表示されます。別の電話帳ファイルを開く場合は、［電話帳の編集］ダイアログボックスの［ファイル］メニューで［開く ...］を選択します。複数の電話帳ファイルを保存しておくことで、電話帳を切換えて利用できます。
➔ 電話帳ファイルは、［電話帳の編集］ダイアログボックスの［ファイル］メニューの［新規］で新規に作成できます。［ファイル］メニューの［名前を付けて保存 ...］で別名保存できます。
➔ 電話帳ファイルの拡張子は「.csv」となります。

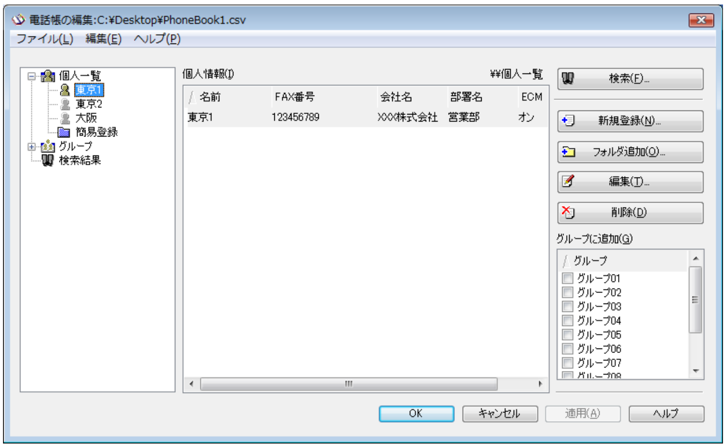
8.5.2　　電話帳を編集する

登録した個人情報を変更したり、グループの名前を変更するなど、電話帳を編集、整理することで使いやすくできます。

個人情報を変更する

電話帳左側の［個人一覧］から変更したい名前を選択し、右側の［編集 ...］をクリックします。登録時と同じ［個人情報￥￥個人一覧］ダイアログボックスが表示され、変更できます。

電話帳左側の［個人一覧］から削除したい名前を選択し、右側の［削除］をクリックすると削除できます。このとき、登録されているグループからも削除されます。

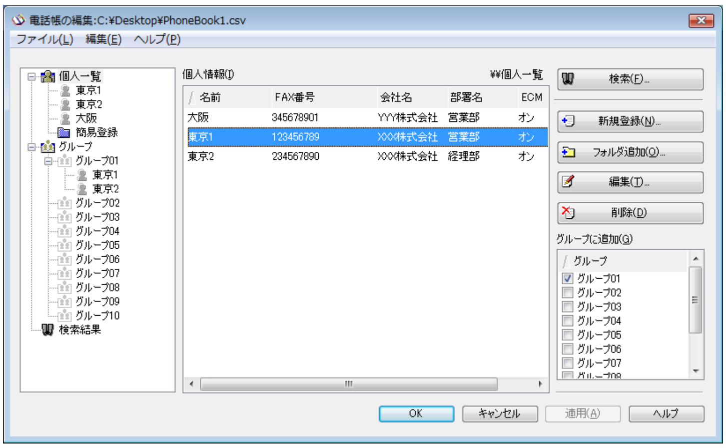


参考

- 送信時に手動で入力した名前／ FAX 番号を［電話帳へ登録］で登録してある場合は、電話帳の［簡易登録］フォルダーに表示されます。［簡易登録］フォルダーへ登録された送付先の個人情報も同様に編集できます。

グループへの登録を変更する

電話帳左側の［個人一覧］から変更したい名前を選択し、右側のグループ一覧のチェックを外したり付けたりして変更します。



参考

- 電話帳左側の［個人一覧］から名前をグループにドラッグしても登録できますが、ドラッグでグループから外すことはできません。
- グループへは、100 件まで登録できます。

グループ名を変更する

電話帳左側の［グループ］から変更したいグループを選択し、［編集］メニューの［グループ名の変更 ...］を指定します。

参考

- グループ名は 40 文字まで入力できます。

フォルダーを作成する

電話帳左側の［個人一覧］を選択し、［フォルダ追加 ...］をクリックしてフォルダーを作成します。［編集］メニューの［フォルダの追加 ...］を指定しても作成できます。

［個人一覧］から名前をフォルダーにドラッグすると移動できます。

フォルダーを修正する場合は、目的のフォルダーを選択して［編集 ...］をクリックします。

フォルダーを削除する場合は、目的のフォルダーを選択して［削除］をクリックします。

参考

- 名前を右クリックして［コピー］または［切り取り］をし、目的のフォルダー内で［貼り付け］をしてもフォルダーへ移動できます。
- フォルダー名は 40 文字まで入力できます。
- フォルダーは 3 階層まで作成できます。

個人情報を検索する

電話帳右側の［検索 ...］をクリックすると、検索条件を指定できる［検索］ダイアログボックスが表示されます。

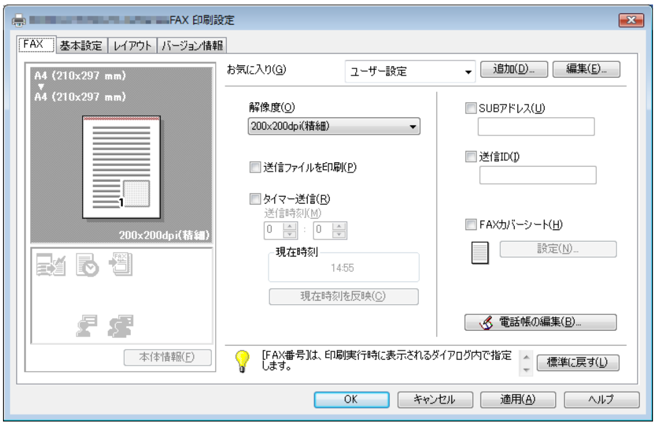
8.6　ファクスドライバーの設定を保存する

変更したファクスドライバーの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

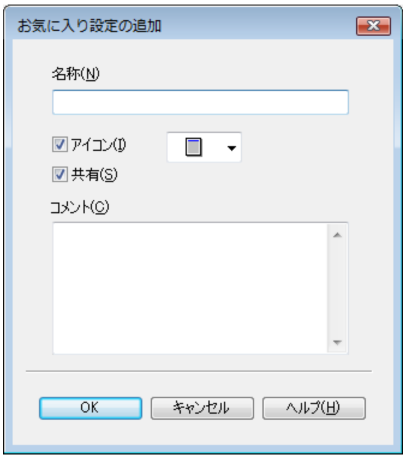
8.6.1　設定を保存する

1　［FAX］タブ、［基本設定］タブ、［レイアウト］タブでファクスドライバーの設定値を変更します。

2　［お気に入り］の［追加 ...］をクリックします。



3　各項目を設定します。



項目名	機能
［名称］	設定の登録名称を入力します。 ［名称］は 30 文字まで入力できます。
［アイコン］	アイコンを設定します。アイコンは設定しなくても登録できます。
［共有］	設定ファイルを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。
［コメント］	必要であれば設定ファイルの詳細説明を入力します。 コメントは 255 文字まで入力できます。

4　［OK］をクリックします。

設定内容が［お気に入り］リストに登録されます。

➔ 設定は共有設定 30 件、プライベート設定 20 件まで登録できます。

➔ ［共有］は、管理者のみ選択できます。

参照

設定した内容をファイルに保存（エクスポート）することもできます。詳しくは、8-26 ページをごらんください。

8.6.2 設定を呼び出すには

ファクスドライバーの［印刷設定］画面を開き、［お気に入り］ドロップダウンリストで呼び出す設定を選択します。

設定値が呼び出され、ファクスドライバーの設定が変更されます。

8.6.3 設定を編集する

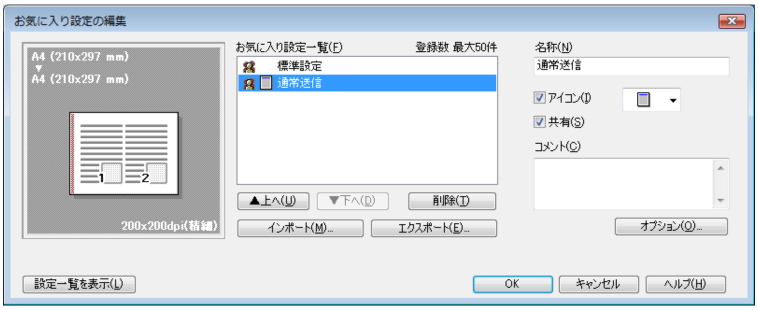
設定名称やコメント、呼び出す機能項目を選択するなどの編集ができます。

1 ファクスドライバーの［印刷設定］画面で［お気に入り］の［編集 ...］をクリックします。

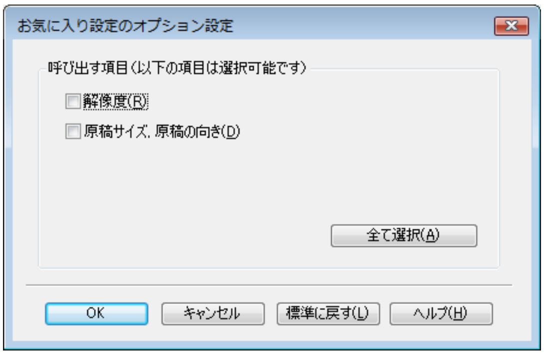
2 リストから、変更したい設定名を選択し、項目を設定します。

➔ 削除する場合は、ここで［削除］をクリックします。

➔ 表示順を入れ替えたい場合は［▲ 上へ］［▼ 下へ］で移動します。



3 ［オプション ...］をクリックし、呼び出す機能をチェックし、［OK］をクリックします。



4 ［OK］をクリックします。

参考

- ファクスドライバーの機能の設定内容を変更することはできません。

8.6.4 設定のインポート／エクスポート

設定した内容をファイルに保存（エクスポート）したり、読み込み（インポート）することもできます。他のコンピューターでも同じ設定内容を利用したいときなどに便利です。

1 ファクスドライバーの［印刷設定］画面で［お気に入り］の［編集 ...］をクリックします。

2 リストから、エクスポートしたい設定名を選択し、［エクスポート ...］をクリックします。

設定ファイルを保存するダイアログボックスが表示されます。

3 ファイルを保存する場所を指定してファイル名を入力します。

4 ［保存］をクリックします。

設定ファイルが作成されます。拡張子「.ksf」になります。

参考

- 保存した設定ファイルをお気に入り一覧に読み込む場合は、［インポート ...］をクリックしてファイルを指定します。

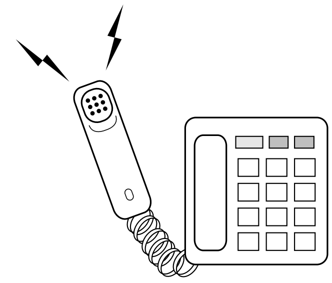
9 電話をかける / 受ける（G3）

9 電話をかける / 受ける（G3）

本機に外部電話機を接続している場合のかけかた、受けかたを説明します。

9.1 電話をかける

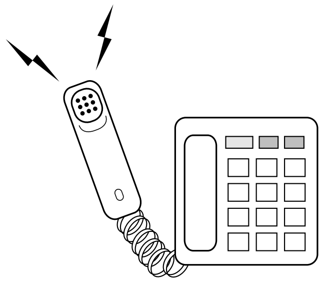
外部電話機の受話器を上げ、相手先を指定します。通話が終了したら受話器を戻します。



9.2 電話を受ける

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。

- 「ポー、ポー」または「ピー」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。［受信］を押し**スタート**を押すか外部電話でリモート受信番号（2 桁）を指定すると受信できます。ファクスが受信を開始したら受話器を元に戻してください。



参考

- ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

参照

リモート受信については、7-5 ページをごらんください。

10 便利な機能（G3/I-FAX/PC-FAX）

10 便利な機能（G3/I-FAX/PC-FAX）

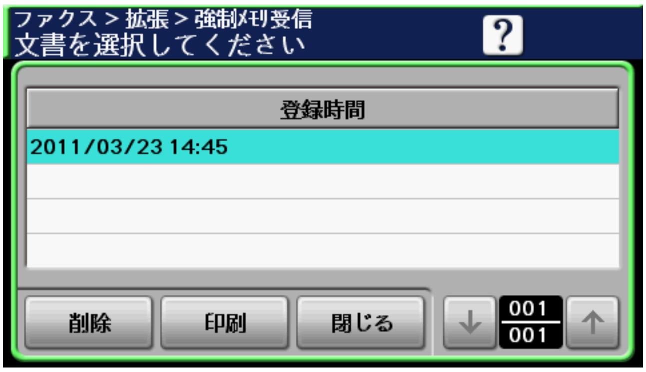
便利なファクスの送受信機能について説明します。

10.1 強制メモリー受信（G3/I-FAX）

受信した文書を SSD に蓄積し、必要に応じて印刷することができます。印刷された文書は SSD から消去されます。

SSD に保存された文書は［拡張］タブの［強制メモリ受信］を選択し、強制メモリー受信ファイルリストにて確認できます。不要な文書は削除することもできます。

➔ ホーム画面 ▸▸［ファクス］または**ファクス** ▸▸［拡張］▸▸［強制メモリ受信］を押します。



項目	説明
［削除］	受信されているが印刷の必要がない文書などを削除します。
［印刷］	指定した受信文書を印刷します。指定した受信文書が印刷されると、データは自動的に削除されます。

参考

- 強制メモリー受信を使用するには、［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［強制メモリ受信］▸▸［強制メモリ受信］を［する］に設定する必要があります。リストを開くためのパスワードも設定できます。
- インターネットファクス受信時、対応していないデータを受信すると、データは破棄され、プリントされません。詳しくは、7-6 ページをごらんください。
- SSD に保存された文書を PageScope Web Connection から利用することもできます。詳しくは、13-11 ページをごらんください。
- この機能は、PC-FAX 受信機能、転送ファクス機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

参照

強制メモリー受信の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

10.2 転送ファクス（G3/I-FAX）

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた宛先（ファクス（G3）宛先、E-mail 宛先）に転送することができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 転送も行い、本機でも受信したファクス文書をプリントするよう設定できます。

参考

- これらの機能は［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［転送ファクス設定］で設定できます。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- インターネットファクス受信時、対応していないデータを受信すると、データは破棄され、プリントされません。詳しくは、7-6 ページをごらんください。
- 解像度が 300 × 300 dpi のインターネットファクス文書を受信した場合は、ファクス（G3）宛先への転送ができません。その場合、転送失敗となり本機で印刷されます。
- この機能は、PC-FAX 受信機能、強制メモリー受信機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

10.3 夜間受信（G3/I-FAX）

夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止できます。夜間時間帯に受信したファクスは、夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

参考

- これらの機能は［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［夜間受信設定］で設定できます。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- この機能は、PC-FAX 受信機能、強制メモリー受信機能、転送ファクス機能とは同時に使用できません。

10.4 閉域受信（G3）

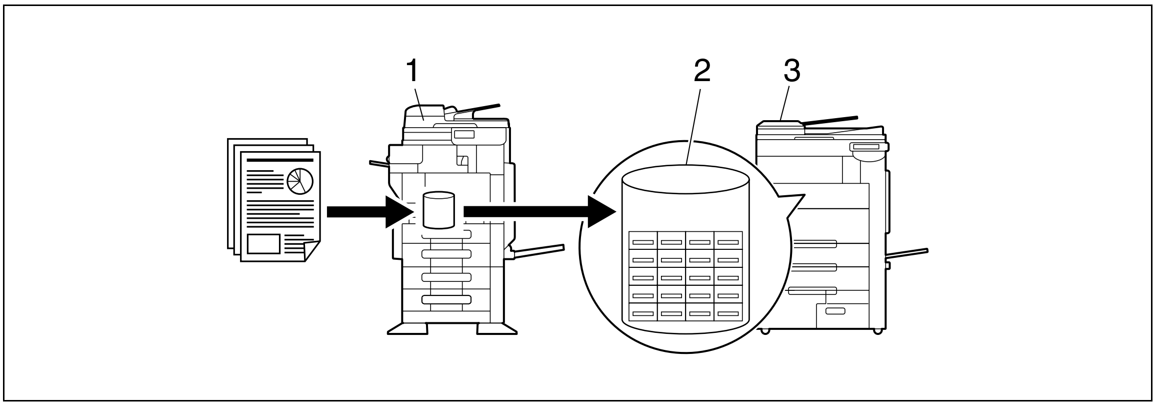
パスワードによって通信相手を限定できます。送信側と受信側に設定されているパスワードを照合し、双方のパスワードが一致した場合だけ通信が行われます。

参考

- これらの機能は［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［閉域受信パスワード］で設定できます。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
- 閉域受信機能を使用するためには、相手先がパスワード送信機能に対応している必要があります。

10.5 親展通信（G3/PC-FAX）

特定の人との間で送受信したい原稿を親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信といいます。この機能は相手先が F コード機能を持つ機種の場合に使用できます。



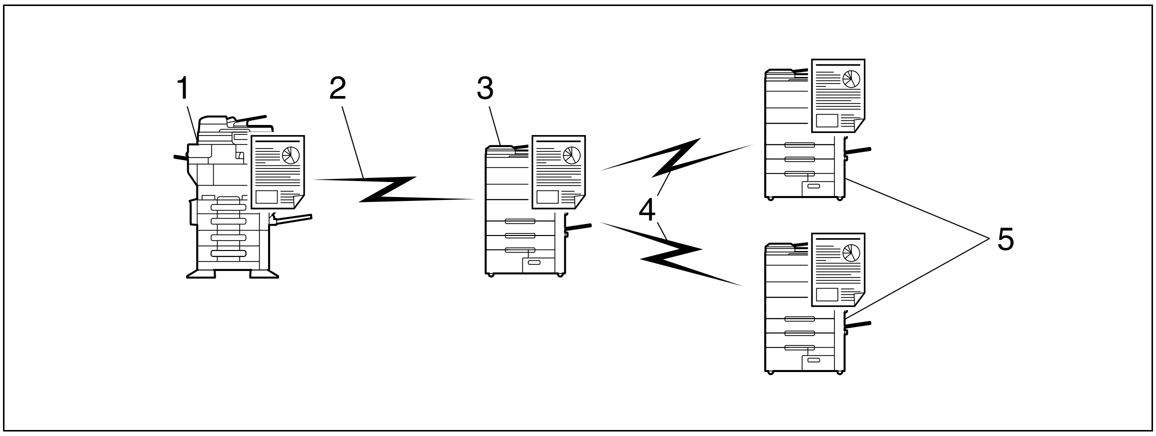
1. 送信
2. 親展ボックス
3. 受信

親展送信する

相手先の親展受信ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。
親展送信については、6-24 ページをごらんください。

10.6 中継配信（G3）

送信するファクス文書をいったん中継配信局に保存し、中継局からさらに送信先に送信する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合、中継配信局と配信先を地域別にグループ化しておけば、個別に送信するよりも全体の通信コストを削減することができます。



1. 中継指示局
2. 市外電話
3. 中継配信局
4. 市内電話
5. 中継配信先

- 中継依頼をして文書を送信するファクスを「中継指示局」といいます。
- 中継指示局からファクスを受け取り、中継を行うファクスを「中継配信局」といいます。
- 中継配信機能は、中継配信局が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

中継依頼送信する

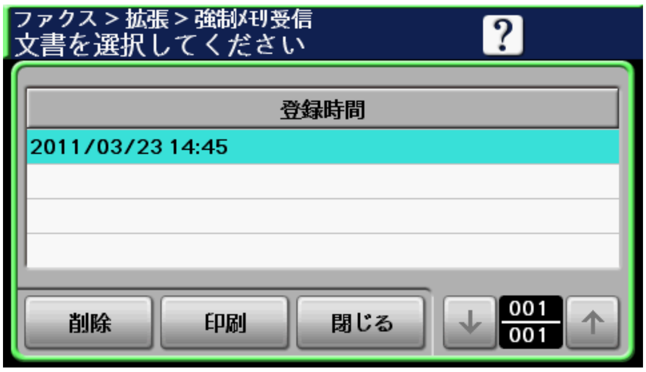
相手先の中継ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。
中継依頼送信については、6-24 ページをごらんください。

10.7 PC-FAX 受信（PC-FAX）

受信した文書（TIFF 形式）を SSD に蓄積し、必要に応じて印刷することができます。印刷された文書はSSD から消去されます。SSD への保存と同時に、本機で受信文書を印刷することもできます。

SSD に保存された文書は［拡張］タブの［強制メモリ受信］を選択し、強制メモリー受信ファイルリストにて確認できます。不要な文書は削除することもできます。

➔ ホーム画面 ►►［ファクス］または**ファクス** ►►［拡張］►►［強制メモリ受信］を押します。



項目	説明
［削除］	受信されているが印刷の必要がない文書などを削除します。
［印刷］	指定した受信文書を印刷します。指定した受信文書が印刷されると、データは自動的に削除されます。

参考
- PC-FAX 受信を使用するには、［管理者設定］►►［ファクス設定］►►［PC-Fax 受信設定］►►［使用設定］を［する］に設定する必要があります。
- インターネットファクス受信時、対応していないデータを受信すると、データは破棄され、プリントされません。詳しくは、7-6 ページをごらんください。
- SSD に保存された文書を PageScope Web Connection から利用することもできます。詳しくは、13-11 ページをごらんください。
- この機能は、強制メモリー受信機能、転送ファクス機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

参照
PC-FAX 受信の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

11 レポート / リストの見かた

11　レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

11.1　レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。

11.1.1　レポート

自動的に印刷されるレポート、印刷方法を設定できるレポート、必要に応じて印刷の指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
［通信管理レポート］ （G3/I-FAX/PC-FAX）	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 100 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、手動でプリントすることができます。
［送信結果レポート］ （G3/I-FAX/PC-FAX）	送信結果が自動的にプリントされます。［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［送信結果レポート］で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ / 使用しないから選択できます。
［同報送信結果レポート］ （G3/I-FAX/PC-FAX）	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［同報送信結果レポート］が［する］に設定されている場合に、順次同報送信が終了すると自動的にプリントされます。
［送信予約レポート］ （G3/PC-FAX）	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［予約レポート］が［する］に設定されている場合に、送信予約をすると自動的にプリントされます。
［同報送信予約レポート］ （G3/PC-FAX）	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［予約レポート］が［する］に設定されている場合に、同報送信を予約すると自動的にプリントされます。
［インターネットファクス受信エラーレポート］ （I-FAX）	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［I-Fax 受信エラーレポート］が［する］に設定されている場合、インターネットファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
［PC-Fax 送信エラーレポート］ （PC-FAX）	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［PC-Fax 送信エラーレポート］が［する］に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーが起こると自動的にプリントされます。

11.1.2　リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
［短縮宛先リスト］	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
［グループ宛先リスト］	グループ宛先の登録内容をプリントできます。
［プログラム宛先リスト］	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
［ファクス設定リスト］	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

11.2 共通のレポート

11.2.1 ［通信管理レポート］

送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 100 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、手動でプリントすることができます。出力方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［通信管理レポート］▸▸［出力の設定］で、プリントする間隔を［100 通信毎］/［毎日］/［100/ 毎日］/［使用しない］から選択できます。

通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。

出力例

P 1
2011.03.24 11:00
シリアル番号 123

通信管理レポート
受信

番号	宛先	通信開始 時刻	時間	枚数	結果	備考
001	12345678	03-23 16:45	00:00:28	000/000	S-OK	
002	12345678	03-23 16:46	00:00:46	000/000	NG	
003	12345678	03-23 16:48	00:00:34	001/001	OK	
004	123@test.local	03-24 10:38	--:--	001/001	OK	I-Fax

結果　OK : 通信OK終了　S-OK : 通信中止　話中 : 話中　無応答 : 無応答
継続 : 継続　LOVR : 受信長オーバー　POVR : 受信枚数超過　SOVR : 同報数オーバー　メモリフル : メモリフル
FIL-ER : ファイルエラー　DC-ER : デコードエラー　NG : その他のエラー　IL-PJL : PJLエラー　LGN-ER : ログインエラー

備考　TMR : タイマー通信　PC : PC-Fax　ポーリング : ポーリング　CALL : 手動送信　FWD : 転送
FCODE : Fコード　BUL : 掲示板　I-Fax : I-Fax　E-mail : E-mail送信

P 2
2011.03.24 11:00
シリアル番号 123

通信管理レポート
送信

番号	宛先	通信開始 時刻	時間	枚数	結果	備考
001	11112222	03-24 08:31	00:00:06	001/001	OK	CALL
002	Tokyo	03-24 09:20	00:01:00	000/001	継続	
003	11112222	03-24 09:23	00:01:00	000/001	無応答	
004	Tokyo	03-24 10:13	00:00:12	000/001	話中	PC

結果　OK : 通信OK終了　S-OK : 通信中止　話中 : 話中　無応答 : 無応答
継続 : 継続　LOVR : 受信長オーバー　POVR : 受信枚数超過　SOVR : 同報数オーバー　メモリフル : メモリフル
FIL-ER : ファイルエラー　DC-ER : デコードエラー　NG : その他のエラー　IL-PJL : PJLエラー　LGN-ER : ログインエラー

備考　TMR : タイマー通信　PC : PC-Fax　ポーリング : ポーリング　CALL : 手動送信　FWD : 転送
FCODE : Fコード　BUL : 掲示板　I-Fax : I-Fax　E-mail : E-mail送信

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	送信、受信それぞれに連番が付けられます。
［宛先］	次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。 送信：短縮宛先またはプログラム宛先の登録名、相手のファクス番号またはメールアドレス 受信：相手のファクス番号またはメールアドレス
［通信開始時刻］	通信を開始した時刻が記載されます。
［時間］	通信の所要時間が記載されます。
［枚数］	通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
［結果］	［OK］：通信が正常に終了した場合に記載されます。 ［S-OK］：通信を中止した場合に記載されます。 ［話中］：相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。 ［無応答］：相手が応答しなかった場合に記載されます。 ［継続］：送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。 ［LOVR］：受信ページ長が制限をこえた場合に記載されます。（インターネットファクス） ［POVR］：受信ページオーバー。受信ページ数が 999 ページを超えた場合に記載されます。（インターネットファクス） ［SOVER］：同報数が制限を超えた場合に記載されます。（PC-FAX） ［メモリフル］：受信中にファクスファイルメモリーがいっぱいになって、受信できなかった場合に記載されます。 ［FIL-ER］：ファイルエラー。受信したファイルがサポートされていない場合に記載されます。（インターネットファクス） ［DC-ER］：デコードエラー。受信したファイルのデコードでエラーが発生した場合に記載されます。（インターネットファクス） ［NG］：通信エラーが発生した場合に記載されます。 ［IL-PJL］：PJL エラー。受信した PJL コマンドでエラーが発生した場合に記載されます。（PC-FAX） ［LGN-ER］：ログインエラー。誤ったユーザー名またはパスワードで送受信した場合に記載されます。（PC-FAX） ［---］：サーバーまで送信済みの場合に記載されます。（インターネットファクス）
［備考］	次のいずれかが記載されます。 ［TMR］：タイマー通信 ［PC］：PC-FAX ［ポーリング］：ポーリング ［CALL］：手動通信 ［FWD］：転送 ［FCODE］：F コード指定 ［BUL］：掲示板 ［I-FAX］：インターネットファクス ［E-mail］：E-mail

11.2.2 [送信結果レポート]

送信結果が自動的にプリントされます。

[管理者設定] ▸▸ [ファクス設定] ▸▸ [ファクスレポート] ▸▸ [送信結果レポート] で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ / 使用しないから選択できます。

P 1
送信結果レポート
2011.03.24 08:53
シリアル番号 123

宛先	通信開始 時刻	時間	枚数	結果	備考
12345678	03-24 08:51	00:00:08	000/001	S-OK	

結果 OK : 通信OK終了 S-OK : 通信中止 話中 : 話中 無応答 : 無応答
継続 : 継続 LOVR : 受信長オーバー SOVR : 同報数オーバー メモリフル : メモリフル
NG : その他のエラー IL-PJL : PJLエラー LGN-ER : ログインエラー

備考 TMR : タイマー通信 PC : PC-Fax ポーリング : ポーリング CALL : 手動送信
FWD : 転送 FCODE : Fコード BUL : 掲示板 I-Fax : I-Fax

11.2.3 [同報送信結果レポート]

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

[管理者設定] ▸▸ [ファクス設定] ▸▸ [ファクスレポート] ▸▸ [同報送信結果レポート] でする / しないを設定できます。また、[同報結果レポート出力] でレポート出力モード（全件一括 /1 宛先毎）を指定できます。

P 1
同報送信結果レポート
2011.03.24 09:10
シリアル番号 123

宛先	通信開始 時刻	時間	枚数	結果	備考
12345678	03-24 09:07	00:00:23	001/001	OK	
11223344	03-24 09:09	00:01:48	001/001	OK	

結果 OK : 通信OK終了 S-OK : 通信中止 話中 : 話中 無応答 : 無応答
継続 : 継続 LOVR : 受信長オーバー SOVR : 同報数オーバー メモリフル : メモリフル
NG : その他のエラー IL-PJL : PJLエラー LGN-ER : ログインエラー

備考 TMR : タイマー通信 PC : PC-Fax ポーリング : ポーリング CALL : 手動送信
FWD : 転送 FCODE : Fコード BUL : 掲示板 I-Fax : I-Fax

11.3　ファクス（G3）/PC-FAX で出力されるレポート

11.3.1　［送信予約レポート］

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。

［管理者設定］ ►► ［ファクス設定］ ►► ［ファクスレポート］ ►► ［予約レポート］ でする / しないを設定できます。

P 1
送信予約レポート
2011.03.24 09:09
シリアル番号 123

宛先	作成時間	通信開始 時刻	枚数	備考
12345678	03-24 09: 09	03-24 09:10	001	TMR

備考　TMR : タイマー通信　PC : PC-Fax　ポーリング : ポーリング　CALL : 手動送信
FWD : 転送　FCODE : Fコード　BUL : 掲示板　I-Fax : I-Fax

11.3.2　［同報送信予約レポート］

タイマー通信機能によって同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。

［管理者設定］ ►► ［ファクス設定］ ►► ［ファクスレポート］ ►► ［予約レポート］ でする / しないを設定できます。

P 1
同報送信予約レポート
2011.03.24 09:11
シリアル番号 123

宛先	作成時間	通信開始 時刻	枚数	備考
12345678	03-24 09:11	03-24 09:13	001	TMR
11223344	03-24 09:11	03-24 09:13	001	TMR

備考　TMR : タイマー通信　PC : PC-Fax　ポーリング : ポーリング　CALL : 手動送信
FWD : 転送　FCODE : Fコード　BUL : 掲示板　I-Fax : I-Fax

11.4　インターネットファクスで出力されるレポート

11.4.1　［インターネットファクス受信エラーレポート］

インターネットファクスが正常に受信できなかったときにプリントされます。

［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクスレポート］▸▸［I-Fax 受信エラーレポート］でする / しないを設定できます

P 1
2011.03.24 13:13
シリアル番号 123

インターネットファクス受信エラーレポート

送信元	受信日時	要因	件名
123@test.local	03-24 13:13	FIL-ER	Message from

要因　LOVR : 受信長オーバー　POVR : 受信枚数超過　FIL-ER : ファイルエラー
DC-ER : デコードエラー　NG : その他のエラー

11.5　PC-FAX で出力されるレポート

11.5.1　［PC-Fax 送信エラーレポート］

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。

［管理者設定］ ►► ［ファクス設定］ ►► ［ファクスレポート］ ►► ［PC-Fax 送信エラーレポート］ でする / しないを設定できます。

P 1
2011.03.24 13:27
シリアル番号 123

PC-Fax送信エラーレポート

宛先	作成時間	通信開始 時刻	要因	名前
12345678	03-24 13:27	----- --:--	LGN-ER	test01

送信できませんでした。 状態を確認し、再送信してください。

要因　OK : 通信OK終了　S-OK : 通信中止　話中 : 話中　無応答 : 無応答
継続 : 継続　LOVR : 受信長オーバー　SOVR : 同報数オーバー　メモリフル : メモリフル
NG : その他のエラー　IL-PJL : PJLエラー　LGN-ER : ログインエラー

11.6 共通のリスト

11.6.1 [短縮宛先リスト]

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。出力方法については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

出力例

短縮宛先リスト
ファクス

P 1
2011.03.23 17:16
シリアル番号 123

番号	検索文字	名前	ファクス番号
0002	TUV	Tokyo	12345678
0003	MNO	Nagoya	11223344
0004	MNO	Osaka	11122233

プリントされる項目

プリントされる項目は、短縮宛先の種類によって異なります。

ファクス

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[ファクス番号]	登録されているファクス番号です。

インターネットファクス

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[E-mail]	登録されているインターネットファクスのアドレスです。

11.6.2 ［グループ宛先リスト］

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。出力方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

出力例

P 1
グループ宛先リスト
2011.03.23 17:21
シリアル番号 123

番号	名前	短縮No	番号
002	gru01	0003 0004	2
003	gru02	0005 0006	2

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	グループ宛先番号です。
［名前］	登録されているグループ名です。
［短縮 No］	グループ宛先に登録されている短縮宛先 No. です。
［番号］	グループ宛先に登録されている短縮宛先の数です。

11.6.3 ［プログラム宛先リスト］

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。出力方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

出力例

P 1
2011.03.23 17:22
シリアル番号 123

プログラム宛先リスト

アドレス帳

番号	名前	E-mail
001	test1	0006
項目		設定
解像度		300x300dpi
ファイル形式		コンパクトPDF
ページ設定		ページ一括
件名		未定義
文字		未定義
片面/両面		片面
原稿画質		文字/写真
カラー		する
モノクロ		ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ
連続読込み設定		しない
濃度		0
下地調整		0
シャープネス		0
読込みサイズ		レター
原稿セット方向		左
原稿セット方向		自動

番号	名前	SMB
002	test2	0008
項目		設定
解像度		300x300dpi
ファイル形式		コンパクトPDF
ページ設定		ページ一括
片面/両面		片面
原稿画質		文字/写真
カラー		する
モノクロ		ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ
連続読込み設定		しない
濃度		0
下地調整		0
シャープネス		0
読込みサイズ		レター
E-mail通知		しない
原稿セット方向		左
原稿セット方向		自動

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	プログラム宛先番号です。
［名前］	登録されているプログラム名です。
［宛先］	短縮宛先の種類と短縮宛先 No. もしくは直接入力した宛先が記載されます。

11.6.4 ［ファクス設定リスト］

本機で設定しているファクスの設定リストをプリントできます。出力方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

P 1
ファクス設定リスト
2011.03.24 11:20
シリアル番号 123

読込み設定

項目	設定	項目	設定
原稿画質	文字	濃度	0
解像度	標準	連続読込み設定	しない
下地調整	0	シャープネス	0

原稿設定

項目	設定	項目	設定
読込みサイズ	A4	長尺原稿	しない
片面/両面	片面	開き方向/とじ方向	自動

通信設定 > 回線設定

項目	設定	項目	設定
ECM OFF	いいえ	V34 OFF	いいえ
宛先確認送信	いいえ		

通信設定 > 送受信方法設定

項目	設定
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信	いいえ
タイマー通信	いいえ
パスワード送信	いいえ
Fコード送信	いいえ

発信元/ファクスID登録

項目	設定
発信元	test-fax
ファクスID	12345678

発信元/受信情報

項目	設定
発信元情報	原稿外
相手先 印字	する
受信情報	受信情報 OFF

回線パラメーター設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	PB	受信方式	自動受信
着信回数設定	2	オートリダイアル	1
オート リダイアル間隔	2	外部TEL 呼出時間	15
回線モニター音	OFF	回線モニター音 レベル	小
		手動受信時 V.34 OFF	いいえ
ナンバー ディスプレイ	しない		

送信/受信設定

項目	設定	項目	設定
インチ系 用紙優先選択	しない	記録用紙 優先選択	自動 選択
記録用紙 サイズ	リーガル	給紙トレイ 固定	自動
受信印刷 縮小率	96	ページ分割 記録	しない
受信原稿両面印刷	しない		

機能設定

項目	設定
ファクス仕向	日本

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
Fコード送信	する	宛先確認 表示機能	しない
宛先2 度入力機能 (送信)	しない	宛先2 度入力機能 （登録）	する
ファクス 送信禁止	しない	ファクス 受信禁止	しない
インターネット ファクス送信禁止	しない	インターネット ファクス受信禁止	しない
PC-Fax 送信禁止	しない		

P 2

ファクス設定リスト

2011.03.24 11:20

シリアル番号 123

強制メモリ 受信

項目	設定	項目	設定
強制メモリ 受信	しない	パスワード	

閉域受信 パスワード

項目	設定	項目	設定
使用設定	いいえ	パスワード	

転送ファクス 設定

項目	設定
使用設定	しない
転送先	
常時印刷設定	不達時のみ 印刷

リモート受信 有効設定

項目	設定	項目	設定
リモート受信 有効設定	しない	リモート受信番号	

PC-Fax 受信設定

項目	設定	項目	設定
使用設定	しない	PC-Fax 受信後印刷	しない

夜間受信 使用設定

項目	設定	項目	設定
夜間受信 使用設定	しない	夜間受信 開始時刻	00:00
夜間受信 終了時刻	00:00		

PBX使用 設定

項目	設定
PBX使用 設定	しない

セキュリティ 設定

項目	設定
手動宛先 入力	許可
個人情報非表示	しない
通信履歴非表示	しない

レポート出力設定

項目	設定	項目	設定
出力の設定	100通信毎	出力時刻 設定	00:00
出力限定設定	100 件	送信結果レポート	エラー時のみ
送信結果 レポート画像付き	しない	送信結果 レポート画面	しない
予約 レポート	する	PC-Fax送信 エラーレポート	する
同報送信結果 レポート	する	同報結果 レポート出力	全件一括
I-Fax受信 エラーレポート	する		

12 ユーザーモード設定

12　ユーザーモード設定

設定メニュー（ユーザーモード）で設定できるファクス関連の機能を説明します。

12.1　[宛先登録]

短縮宛先では最大 2000 件の宛先を登録できます。

参考

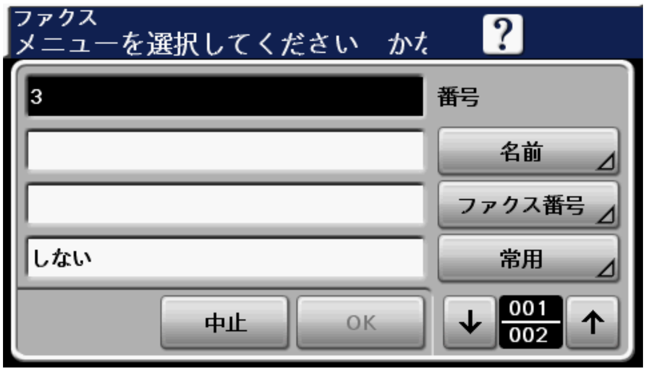
- [管理者設定] ▸▸ [セキュリティ設定] ▸▸ [セキュリティ詳細] ▸▸ [登録宛先変更] が [禁止] に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。
- インターネットファクスの短縮宛先は PageScope Web Connection でのみ登録できます。短縮宛先の登録方法は、13-13 ページをごらんください。
- グループ宛先の登録は PageScope Web Connection で行います。グループ宛先の登録方法は、13-15 ページをごらんください。

12.1.1　ファクス

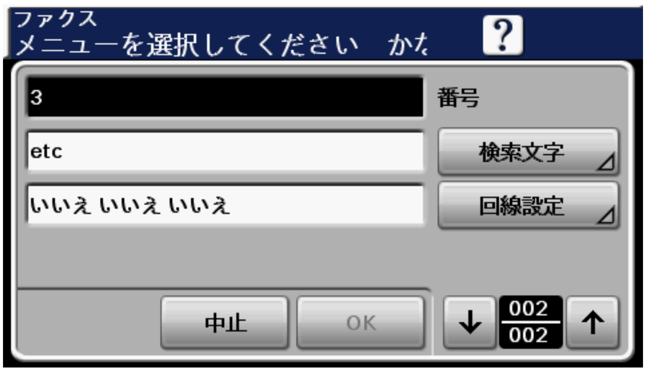
ファクスの宛先を登録できます。[新規登録] を押すと新しく宛先を登録できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [宛先登録] ▸▸ [ファクス] ▸▸ [新規登録] を押します。

1/2 画面



2/2 画面



項目		説明
［名前］		短縮宛先の登録名を半角 72 文字以内で入力します。
［ファクス番号］		相手先のファクス番号を 38 桁以内で入力します。 ・ ［トーン］：ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときに押します。画面には［T］と表示されます。 ・ ［ポーズ］：ダイアルに間をあけたいときに押します。画面には［P］と表示されます。 ・ ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。 ・ PBX 接続設定が有効な場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線発信番号のあとに［ポーズ］を押します。 ・ PBX 接続設定が有効な場合は、［外線］が表示されます。選択すると［E］と表示されます。 ・ ［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［ファクス機能設定］▸▸［宛先 2 度入力機能（登録）］が［する］に設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。 **参照** 宛先 2 度入力機能については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
［常用］		よく使用する宛先の場合は［する］に設定します。［常用］に表示されるため、検索性がよくなります。
［検索文字］		検索文字を選択します。
［回線設定］		送信時の回線について設定します。
	［ECM OFF］	ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信します。 ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。
	［V34 OFF］	V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。 このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。
	［宛先確認送信］	送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。 ・ 宛先確認送信は、相手先が自局のファクス番号を登録していることが必要です。

参考

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［設定内容］▸▸［削除］を押します。

12.1.2　プログラム宛先

頻繁に送信する宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせてプログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、**プログラム**を押すだけで、登録されている宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定の機能を呼び出して使うことができます。

参考

- プログラム宛先は最大 400 件登録することができます。
- [管理者設定] ▸▸ [セキュリティ設定] ▸▸ [セキュリティ詳細] ▸▸ [登録宛先変更] が [禁止] に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。

プログラム宛先登録

1 ホーム画面の [ファクス] または**操作パネル**の**ファクス**を押してからプログラム登録したい読込み設定、原稿設定、通信設定を行います。

2 **プログラム**を押します。

3 [登録先] を押します。

プログラム登録画面が表示されます。



項目	説明
[名前]	プログラムの登録名を半角 72 文字以内で入力します。
[宛先]	宛先を 1 か所選択できます。登録宛先から宛先を選択してください。

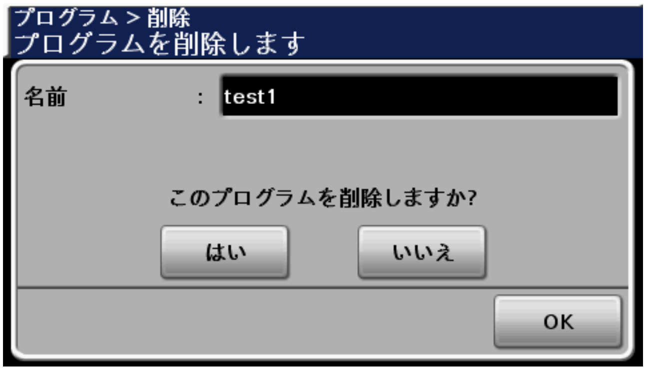
詳細

すでに登録したプログラムの内容を確認するときに押します。確認したら［閉じる］を押します。



削除

すでに登録したプログラムを削除するときに押します。削除するときは［はい］を押します。



12.2 ［ユーザー設定］

12.2.1 環境設定－ファクス基本画面表示

ファクス画面の初期表示を設定します（初期値：常用）。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［環境設定］▸▸［ファクス基本画面表示］を押します。



12.2.2 ファクス設定

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［ファクス設定］を押します。



項目		説明
［リモート受信有効設定］		リモート受信機能を使用するかどうかを設定します（初期値：しない）。
［リモート受信番号］		リモート受信機能によってファクス受信を指示するときの受信番号を設定します（2 桁）。
［ファクス初期設定］		ファクス機能の初期設定値（**リセット**を押したときの設定値）を設定します（初期値：工場時の出荷値）。
［ファクス動作中画面］	［ファクス送信中］	送信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。
	［ファクス受信中］	受信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。

13 PageScope Web Connection

13 PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー PageScope Web Connection の機能について説明します。

13.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の**操作パネル**で行う設定を手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズに行うことができます。

13.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	Web ブラウザー： <Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の場合 > · Microsoft Internet Explorer 6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） · Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Macintosh Mac OS X の場合 > · Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Linux の場合 > · Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）

13.1.2 アクセス方法

✔ PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

✔ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、13-5 ページをごらんください。

✔ 本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキーボードの **Enter** を押します。http:// ＜本機の IP アドレス＞ /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。
- http://[本機の IPv6 アドレス]/

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ホスト名による URL 指定を行います。
  ログイン画面が表示されます。

13.1.3　Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。

Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

Mozilla Firefox の場合

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［Firefox の終了時に履歴を消去する］にチェックを付けます。

3 ［設定］をクリックし、［履歴の消去設定］で［キャッシュ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

13.2 ログインとログアウト

13.2.1 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。

参考

- PageScope Web Connection にはユーザー、管理者あわせて 8 セッションが同時に接続できます。また、パブリックユーザー、レジスタユーザー、管理者とも複数同時に接続できます。
- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。

言語設定

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、本機の**操作パネル**で設定されている言語と同じ言語となります。

［言語］で他の言語へ変更できます。

参考

- ［言語］で言語を変更しても、**操作パネル**で表示される言語は変更されません。



パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合や、登録されたユーザー以外のユーザーがログインする場合は、パブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。



登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、ユーザー名とユーザーパスワードを利用してログインします。

➔　ログイン画面でユーザー名とユーザーパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



参考

- 部門認証を行っている場合は、アカウント名とアカウントパスワードも入力します。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、外部認証サーバーを選択します。

管理者モードへログイン

システム、セキュリティー、プリント、ネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

参照
管理者モードへのログイン方法については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

13.2.2　ログアウト

画面右上の [ログアウト] をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

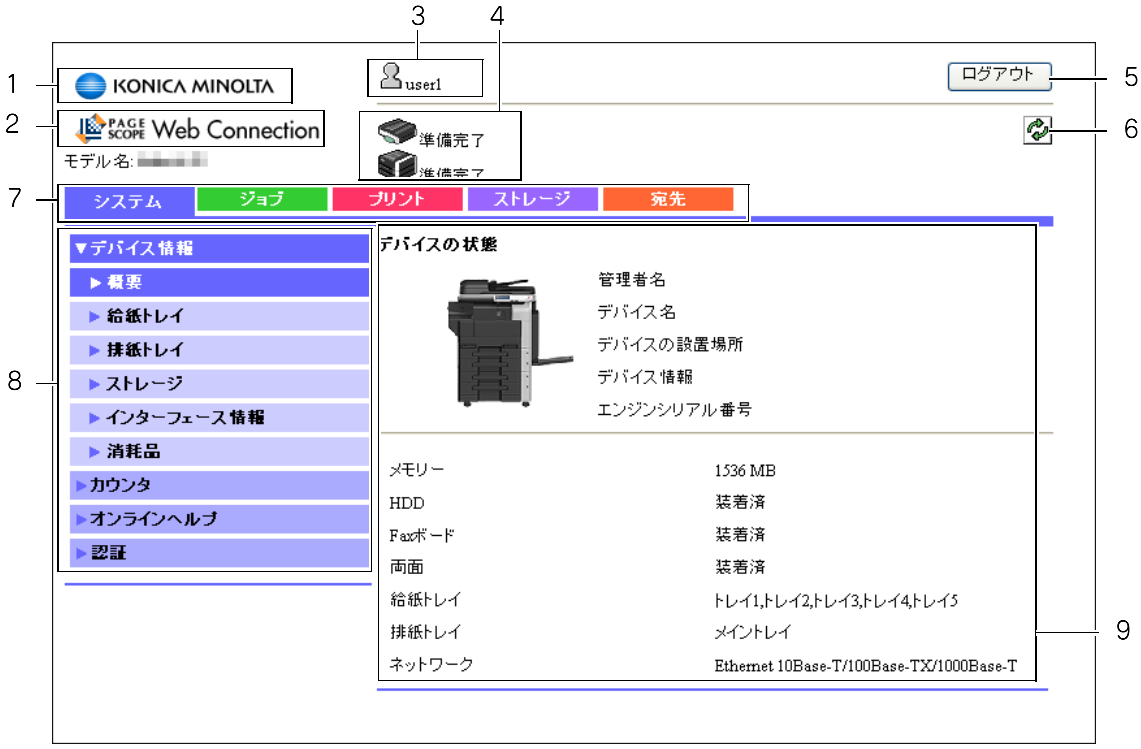
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。

13.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、システム－デバイス情報－概要画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com/
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。
5	[ログアウト]	現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。
6	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
7	メインタブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードと管理者モードで表示される項目が異なります。
8	メニュー	選択されたアイコンにおける情報および設定が表示されます。アイコンの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
9	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

13.4 ステータス表示

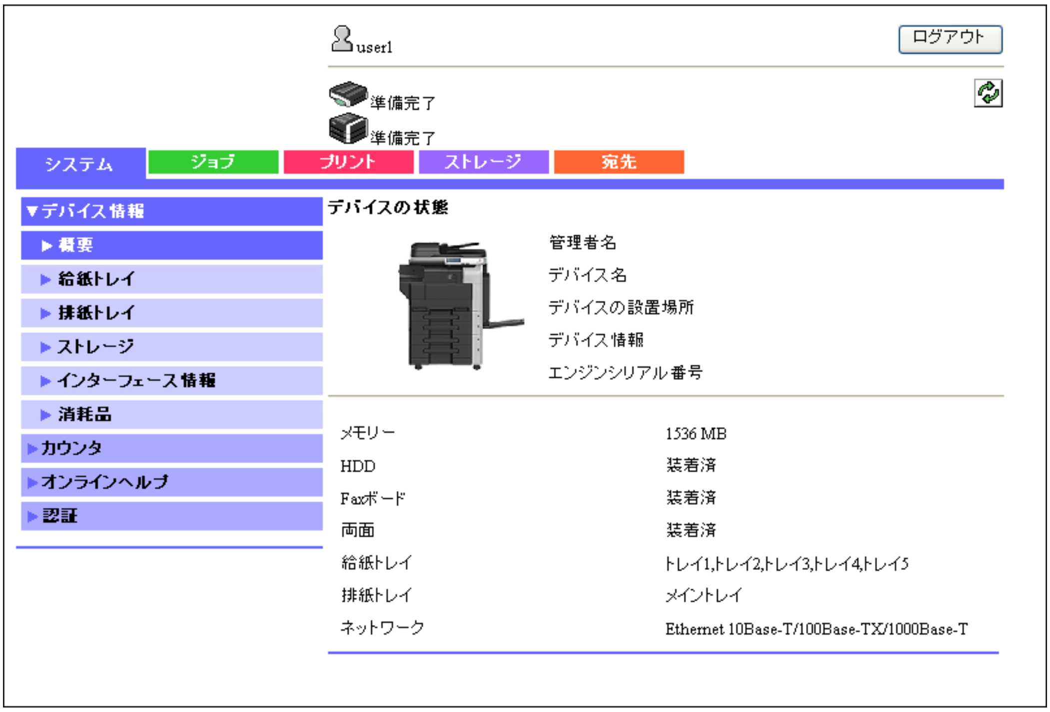
本機の現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明
	レディー	本機がオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。
	警告	注意が必要ですが、印刷は続行可能です。
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。
	フェイタルエラー	本機を再起動する必要があります。 再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要ですのでサービス実施店にご連絡ください。

13.5　ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を確認、設定できます。

13.5.1　システム



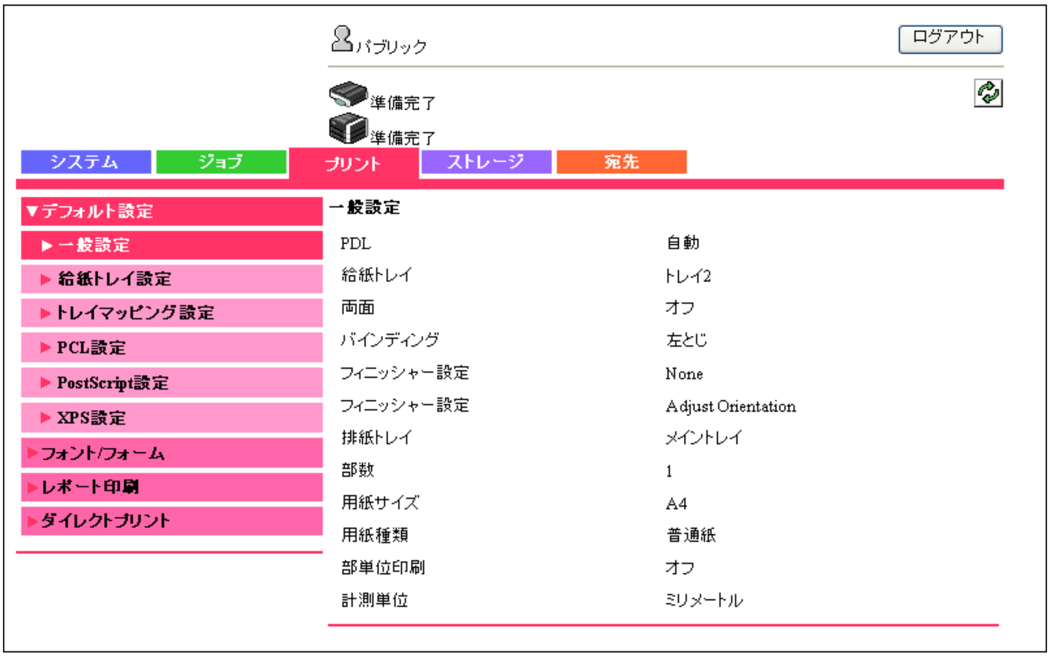
項目		説明
[デバイス情報]	[概要]	本機の構成要素、オプションの装着有無などの状態が確認できます。
	[給紙トレイ]	本機に装着されている給紙トレイと使用している用紙情報が確認できます。
	[排紙トレイ]	本機に装着されている排紙トレイと状態が確認できます。
	[ストレージ]	本機に装着されている HDD の状態が確認できます。
	[インターフェース情報]	本機で設定されているネットワーク情報が確認できます。
	[消耗品]	本機の消耗品情報が確認できます。
[カウンタ]	[トータルカウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が機能別で確認できます。
	[用紙サイズ別カウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が用紙サイズ別で確認できます。
	[用紙種類別カウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が用紙種類別で確認できます。
[オンラインヘルプ]	[オンラインヘルプ]	製品に関するサポート情報を確認できます。 ユーザーモードでは設定の変更はできません。 各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
[認証]	[パスワード変更]	現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。 パブリックユーザーはこの機能を使用できません。
	[登録情報]	現在ログインしているユーザーの登録内容を確認できます。

13.5.2　ジョブ



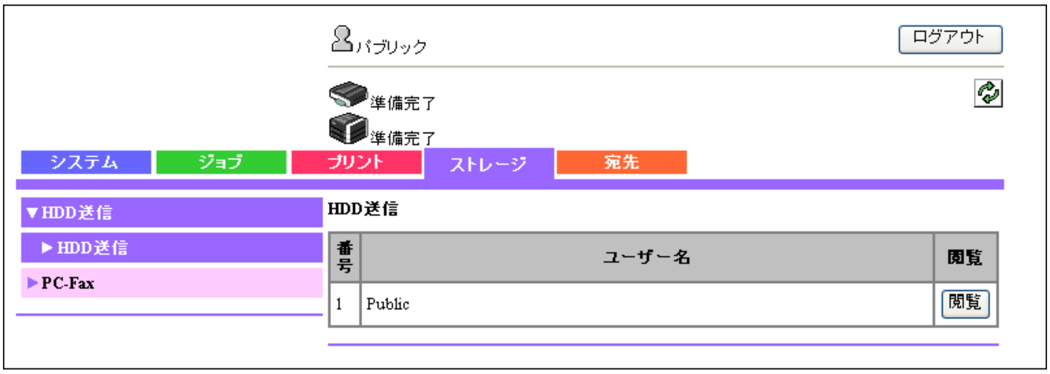
項目		説明
[処理中ジョブ]	[プリント]	本機が現在処理しているジョブが確認できます。
	[送信]	
	[受信]	
	[保存]	
[処理済ジョブ]	[プリント]	本機で処理が終了したジョブが確認できます。
	[送信]	
	[受信]	
	[保存]	
[コミュニケーションリスト]	[スキャン]	本機で処理が終了した通信リストが確認できます。
	[ファックス送信]	
	[ファックス受信]	

13.5.3 プリント



項目		説明
[デフォルト設定]	[一般設定]	プリンターに関する各種設定を確認できます。 ユーザーモードでは設定の変更はできません。 各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
	[給紙トレイ設定]	
	[トレイマッピング設定]	
	[PCL 設定]	
	[PostScript 設定]	
	[XPS 設定]	
[フォント / フォーム]	[PCL フォント]	本機にダウンロードされている PCL フォントの情報を確認できます。
	[PostScript フォント]	本機にダウンロードされている PostScript フォントの情報を確認できます。
	[フォーム]	本機にダウンロードされているフォームの情報を確認できます。
[レポート印刷]	[レポート印刷]	各種レポートの出力を行います。
[ダイレクトプリント]	[ダイレクトプリント]	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます。 ダイレクトプリントでは、PDF、TIFF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。 カラーの原稿をダイレクトプリントしても、モノクロに変換してプリントします。

13.5.4 ストレージ



項目	説明
[HDD 送信]	**ハードディスク**に保存されたスキャンデータを管理することができます。
[PC-Fax]	PC-FAX 受信または強制メモリー受信により本機に保存されたデータを管理することができます。

[HDD 送信]

項目		説明
[番号]		登録されている番号が表示されます。
[ユーザー名]		登録されているユーザー名が表示されます。
[閲覧]	[番号検索]	選択した登録番号の範囲のユーザーが表示されます。
	[サムネイル]	保存されたファイルの最初のページの画像が表示されます。 画像をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
	[ファイル名]	保存されたファイルのファイル名が表示されます。 ファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
	[コピー]	保存されたファイルをダウンロードします。
	[削除]	本機の**ハードディスク**から保存されたファイルを削除します。

参考
- ファイル情報画面からも保存されたファイルをダウンロード、削除することができます。

[PC-Fax]

項目	説明
[番号検索]	選択した登録番号の範囲が表示されます。
[サムネイル]	保存されたファイルの最初のページの画像が表示されます。 画像をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
[ファイル名]	保存されたファイルのファイル名が表示されます。 ファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
[コピー]	保存されたファイルをダウンロードします。
[プリント]	保存されたファイルを印刷します。印刷が終了すると、本機からファイルは削除されます。
[削除]	保存されているファイルを削除します。

参考
- 受信パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
- ファイル情報画面からも保存されたファイルをダウンロード、印刷、削除することができます。

13.5.5 宛先

参考

- **操作パネル**の［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は表示されません。



項目	説明
［アドレス帳］	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。最大 2000 件の宛先を登録できます。
［グループ］	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［プログラム］	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［題名］	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録、変更できます。
［本文］	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録、変更できます。

[アドレス帳]



項目	説明
[新規登録]	新しく短縮宛先を登録します。
[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
[インデックス検索]	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
[番号]	登録番号が表示されます。
[機能]	登録した機能が表示されます。
[名称]	登録名称が表示されます。
[編集]	登録されている短縮宛先を編集します。設定項目は登録時と同じです。
[削除]	短縮宛先を削除します。

［新規登録］▸▸［Fax］

項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［宛先］	宛先のファクスのダイアル番号を入力します。（半角 38 文字以内）
［通信設定］	通信設定を指定します。 ［V34 OFF］、［ECM OFF］、［宛先確認送信］をそれぞれ有効にするかどうか選択します。

［新規登録］▸▸［I-Fax］

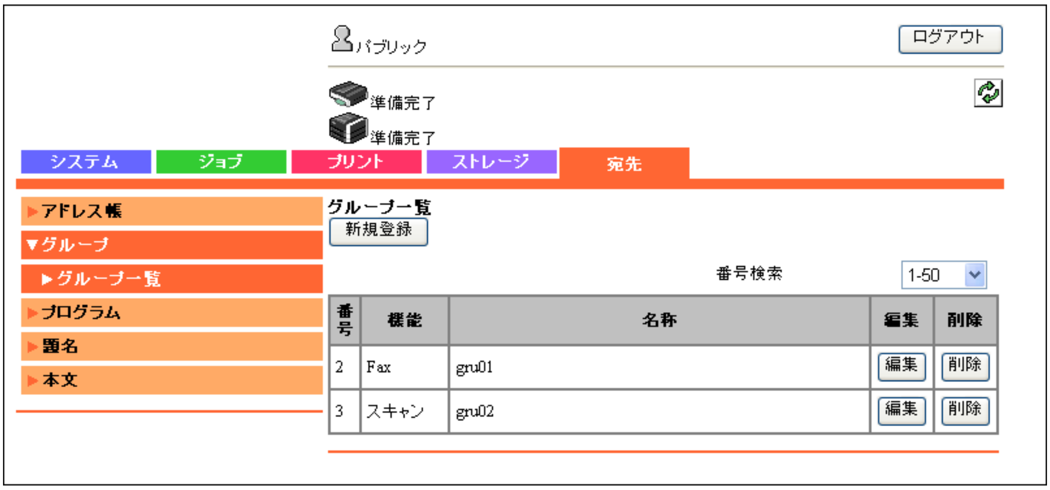
項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［E-mail アドレス］	宛先の E-mail アドレスを入力します。（半角 320 文字以内）

[グループ]

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。

グループ宛先は、ファクス / スキャン機能で 100 グループまで登録できます。

ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 件まで登録できます。



項目	説明
[新規登録]	新しくグループ宛先を登録します。
[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号のグループ宛先一覧が表示されます。
[番号]	登録番号が表示されます。
[機能]	登録した機能が表示されます。
[名称]	登録名称が表示されます。
[編集]	登録されているグループ宛先を編集します。設定項目は登録時と同じです。
[削除]	グループ宛先を削除します。

[新規登録] ►► [Fax]

項目		説明
[名称]		登録するグループ宛先の名称を入力します。(半角 72 文字、全角 36 文字以内)
[宛先]	[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	[インデックス検索]	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
	[機能検索]	機能を選択すると、選択した機能の宛先一覧が表示されます。
[宛先一覧]		グループ宛先に追加したい宛先のチェックボックスをチェックして [適用] をクリックすると、その宛先がグループ宛先に登録されます。

［プログラム］

プログラム宛先を登録、編集できます。

プログラム宛先には、宛先情報、通信情報、原稿情報を組み合わせて登録できます。



項目	説明
［番号検索］	登録番号を選択すると、選択した番号のプログラム宛先一覧が表示されます。
［番号］	登録番号が表示されます。
［機能］	登録した機能が表示されます。
［名称］	登録名称が表示されます。
［編集］	プログラム宛先を登録または編集します。 プログラム宛先が登録されていない場合にクリックすると、［新規登録］画面が表示されます。登録するプログラム宛先の配信方法を選択します。詳しくは、13-17 ページをごらんください。 すでにプログラム宛先が登録されている場合にクリックすると、［プログラム］画面が表示されます。プログラム宛先の設定を編集できます。詳しくは、13-18 ページをごらんください。
［削除］	プログラム宛先を削除します。

［プログラム］（新規登録）

項目		説明
［プログラム（Fax）］		Fax のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、13-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（I-Fax）］		I-Fax のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、13-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（アドレス帳）］		アドレス帳のプログラム宛先を登録します。
	［番号］	プログラム宛先の登録番号が表示されます。
	［名称］	プログラム宛先の名称を入力します。
	［番号検索］	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	［インデックス検索］	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
	［機能検索］	機能を選択すると、選択した機能の宛先一覧が表示されます。
	［宛先一覧］	追加したい宛先のラジオボタンを選択して［適用］をクリックすると、その宛先がプログラムに登録されます。
［プログラム（Group）］		グループのプログラム宛先を登録します。
	［番号］	プログラム宛先の登録番号が表示されます。
	［名称］	プログラム宛先の名称を入力します。
	［番号検索］	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	［グループ一覧］	追加したいグループのラジオボタンを選択して［適用］をクリックすると、そのグループがプログラムに登録されます。
［適用］		クリックすると、［プログラム］画面が表示され、プログラム宛先の詳細設定を行えます。詳しくは、13-18 ページをごらんください。

［プログラム］（編集）

［Fax］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［連続読込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。
［特殊原稿］	送信する原稿が長尺原稿の場合は、該当するものを選択します。
［Timer 送信］	タイマー通信を行うかどうかを選択します。行う場合は、送信時刻を入力します。
［パスワード送信］	パスワード送信を行うかどうかを設定します。行う場合は、パスワードを入力します。
［F-Code］	F コードを使用して送信するかどうかを選択します。使用する場合は、SUB アドレスとパスワードを入力します。

［I-Fax］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。
［特殊原稿］	送信する原稿が長尺原稿の場合は、該当するものを選択します。

[アドレス帳]

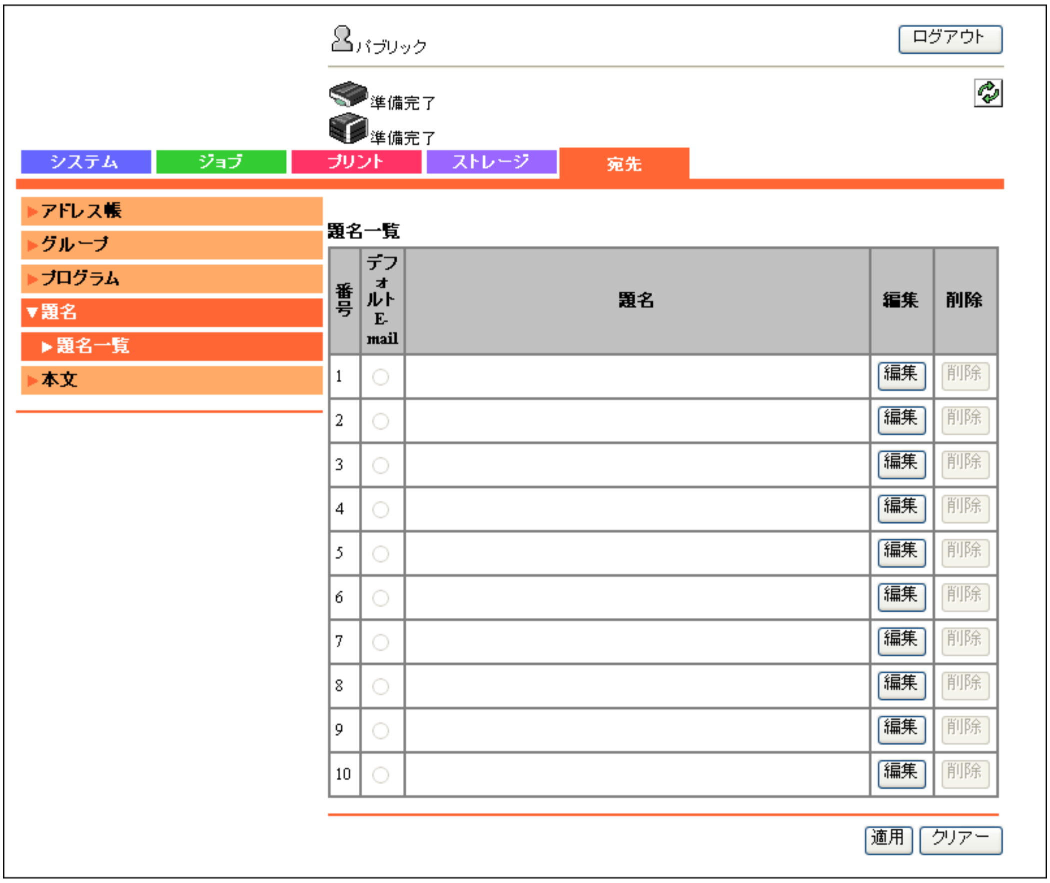
項目	説明
[宛先設定]	宛先情報を表示します。 [編集] をクリックすると宛先情報を編集できます。
[解像度]	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
[両面設定]	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
[原稿画質]	文字、写真など原稿の画質を選択します。
[連続読み込み設定]	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
[濃度]	濃度を選択します。
[下地除去]	下地の濃さを調整します。
[シャープネス]	文字のエッジを強調する調整をします。
[原稿サイズ]	原稿のサイズを選択します。 [定型サイズ] の場合は、サイズを選択します。 [カスタム] の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
[原稿綴じ代]	原稿とじ位置を選択します。
[特殊原稿]	送信する原稿が長尺原稿の場合は、該当するものを選択します。
[Timer 送信]	タイマー通信を行うかどうかを選択します。行う場合は、送信時刻を入力します。
[パスワード送信]	パスワード送信を行うかどうかを設定します。行う場合は、パスワードを入力します。
[F-Code]	F コードを使用して送信するかどうかを選択します。使用する場合は、SUB アドレスとパスワードを入力します。

[グループ]

項目	説明
[宛先設定]	宛先情報を表示します。 [編集] をクリックすると宛先情報を編集できます。
[解像度]	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
[両面設定]	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
[原稿画質]	文字、写真など原稿の画質を選択します。
[連続読み込み設定]	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
[濃度]	濃度を選択します。
[下地除去]	下地の濃さを調整します。
[シャープネス]	文字のエッジを強調する調整をします。
[原稿サイズ]	原稿のサイズを選択します。 [定型サイズ] の場合は、サイズを選択します。 [カスタム] の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
[原稿綴じ代]	原稿とじ位置を選択します。
[特殊原稿]	送信する原稿が長尺原稿の場合は、該当するものを選択します。
[Timer 送信]	タイマー通信を行うかどうかを選択します。行う場合は、送信時刻を入力します。
[パスワード送信]	パスワード送信を行うかどうかを設定します。行う場合は、パスワードを入力します。
[F-Code]	F コードを使用して送信するかどうかを選択します。使用する場合は、SUB アドレスとパスワードを入力します。

［題名］

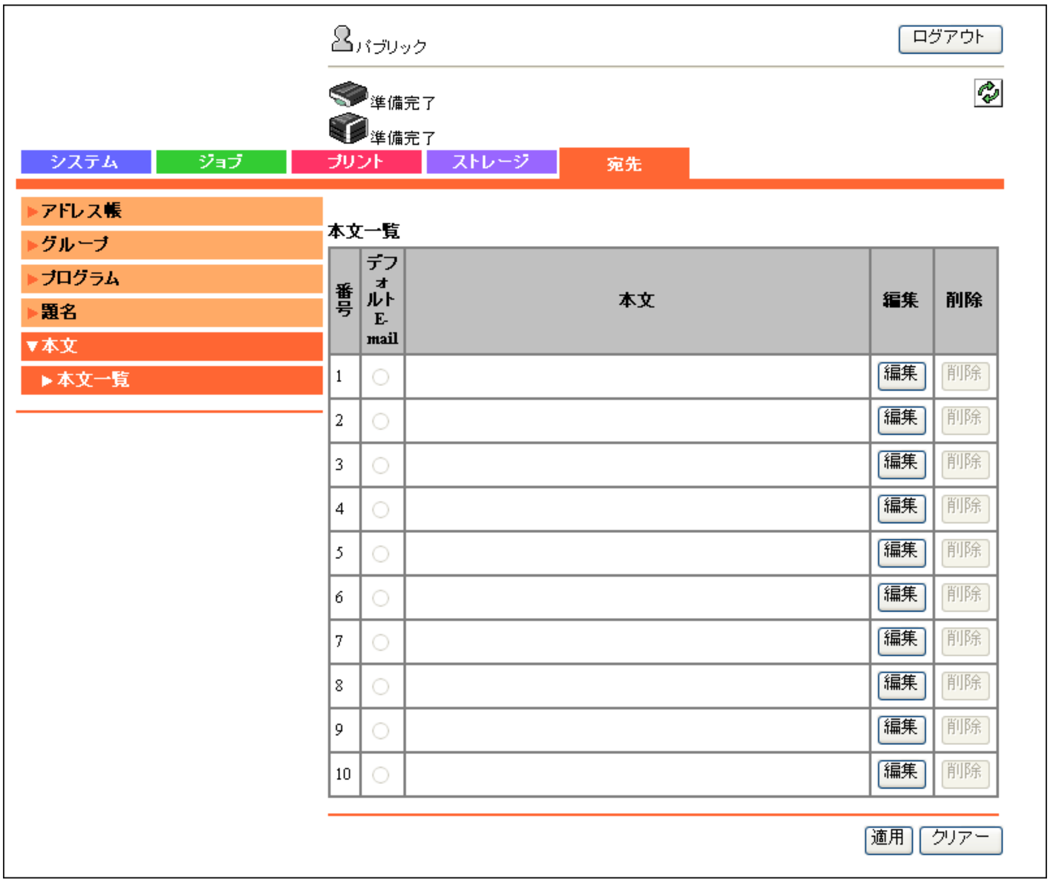
E-mail やインターネットファクスの送信時に使用する件名を登録できます。



項目		説明
［番号］		登録番号が表示されます。
［デフォルト E-mail］		初期値として使用される E-mail の件名を選択します。
［題名］		E-mail の件名が表示されます。
［編集］	［番号］	登録番号が表示されます。
	［題名］	E-mail 件名を登録します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。
［削除］		E-mail の件名を削除します。

［本文］

E-mail やインターネットファクスの送信時に使用する本文を登録できます。



項目		説明
［番号］		登録番号が表示されます。
［デフォルト E-mail］		初期値として使用される E-mail の本文を選択します。
［本文］		E-mail の本文が表示されます。
［編集］	［番号］	登録番号が表示されます。
	［本文］	E-mail 本文を登録します（半角 256 文字、全角 128 文字以内）。
［削除］		E-mail の本文を削除します。

13.6　管理者モード

参照

管理者モードの詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください

14 ファクス機能で困ったとき

14 ファクス機能で困ったとき

ここでは、ファクスを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス実施店にお問合わせください。

14.1 送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、11-5 ページをごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）

エラーメッセージについては、14-9 ページをごらんください。

原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

14.1.1 ファクス（G3）

状況	原因	処理のしかた
原稿が読込まれない	原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？	**原稿ガラス**を使って読込んでください。
原稿が斜めに読込まれる	ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？	ADF のガイド板を原稿の幅に合わせてください。
相手先の受信文書が不鮮明になる	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	**原稿ガラス**を清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	原稿を読み込むときの濃度を濃く設定してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	相手先の状態に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認してください。コピー画像が鮮明なときは、相手先の状態を確認してください。
相手先の受信文書が白紙で印刷される	原稿のセット方向が間違っていませんか？	ADF 使用時は読込む面を上に、**原稿ガラス**使用時は読込む面を下にして原稿をセットしてください。
送信できない	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
	相手のファクス番号は正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストやプログラム宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
	本機の通信設定が正しく設定されていますか？	通信設定が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。

状況	原因	処理のしかた
送信できない	相手先の状態（用紙切れ、電源オフなど）に問題はありませんか？	相手先の状態に問題がないか確認してください。
	パスワード送信時に、パスワードを間違えていませんか？	相手先のパスワードを確認し、正しいパスワードで送信し直してください。
	F コード送信時に入力した F コードが間違っていませんか？	相手先のボックスの F コードを確認し、正しい F コードでもう一度送信してください。
	宛先確認送信で、相手先に送信元のファクス番号が正しく登録されていますか？	相手先に登録されているファクス番号が正しいかどうか確認してください。または宛先確認送信の設定を［しない］にして送信してください。

14.1.2 インターネットファクス送信

インターネットファクス使用時に送信できない場合、以下を確認してください。

状況	原因	処理のしかた
送信できない	送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバー容量を超えていませんか？	SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTP サーバー容量の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については 6-2 ページをごらんください。
	ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
	本機のメールアドレスは設定されていますか？	本機の E-mail アドレスを確認し、設定してください。E-mail アドレスの設定については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
	ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	相手のアドレスは正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、アドレスの登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストやプログラム宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。
	受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が OFF になっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけるなどして確認してください。

参考

- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。

14.1.3 PC-FAX

送信を実行したにもかかわらず、送信できない場合に、上から順に確認してください。

状況	原因	処理のしかた
コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	送信時に指定している機種は正しいですか？	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機でエラーが発生していませんか？	本機の**操作パネル**を確認してください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト送信できるか確認してください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが送信が開始されない。	送信時に指定している機種は正しいですか？	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機でエラーが発生していませんか？	本機の**操作パネル**を確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっていませんか？	本機の**操作パネル**のジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	部門認証が設定されている場合、本機に未登録の部門を指定していませんか？	部門名とパスワードを正しく入力してください。
	ユーザー認証が設定されている場合、本機に未登録のユーザーを指定していませんか？	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト送信できるか確認してください。
	ネットワーク接続で使用する場合、本機とのネットワーク接続が確立していますか？	ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機でセキュリティー強化モードが有効になっていませんか？	セキュリティー強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

14.2 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、11-5 ページをごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）

エラーメッセージについては、14-9 ページをごらんください。

原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

14.2.1 ファクス（G3）

状況	原因	処理のしかた
受信文書が白紙で印刷される	相手先の状態に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認してください。コピー画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	原稿を裏表逆にセットしていませんか？	原稿を正しくセットしているか相手先に確認してください。
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーボトルを交換してください。 トナーボトルの交換操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	手動受信に設定されていませんか？	［管理者設定］▸▸［ファクス設定］▸▸［通信設定］▸▸［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合は、受信の操作が必要です。 受信方式については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機のメモリーが不足していませんか？	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
	閉域受信設定が有効になっていませんか？	閉域受信設定が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。管理者にお問い合わせください。
	閉域受信パスワードを設定している場合、相手先で入力されたパスワードが間違っていませんか？	相手先に正しいパスワードを伝え、正しいパスワードで送信しなおしてもらってください。
	F コード通信の場合、相手先で入力された F コードが間違っていませんか？	相手先に正しい F コードを伝え、正しい F コードで送信しなおしてもらってください。
	ナンバーディスプレイなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか？	設定が合っていないと受信できないことがあります。 接続している通信回線については管理者に確認してください。

状況	原因	処理のしかた
受信できない	特殊な内線交換器を使用していませんか?	呼び出しベルの鳴り方が NTT の回線の鳴り方と違う内線交換器を使用している場合は、着信できないことがあります。[ユーザーズガイド 管理者機能編]を参照して、着信回数を[0 回]に設定してください。
	相手先の状態に問題はありませんか?	本機の問題でないことを確認し、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか?	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか?	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	夜間受信機能が有効になっていませんか?	夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

14.2.2 インターネットファクス

状況	原因	処理のしかた
受信できない	用紙はセットされていますか?	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、[ユーザーズガイド コピー機能編]をごらんください。
	用紙がつまっていませんか?	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、[ユーザーズガイド コピー機能編]をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか?	トナーがなくなると受信できません。 すぐにトナーボトルを交換してください。 トナーボトルの交換操作については、[ユーザーズガイド コピー機能編]をごらんください。
	ネットワークの設定は正しいですか?	ネットワークの設定を確認してください。ネットワークの設定については[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか?	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	本機のメモリーが不足していませんか?	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか?	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか?	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	夜間受信機能が有効になっていませんか?	夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

14.2.3　PC-FAX

状況	原因	処理のしかた
受信できない	PC-FAX の受信機能が無効になっていませんか？	PC-FAX の受信機能を有効にしてください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機のメモリーが不足していませんか？	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
	F コード通信の場合、相手先で入力された F コードが間違っていませんか？	相手先に正しい F コードを伝え、正しい F コードで送信しなおしてもらってください。

14.3　設定できない／設定したとおりに送信できない

ファクスドライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに送信されない場合に確認してください。

参考

- ファクスドライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

状況	原因	処理のしかた
ファクスドライバー上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに送信できない。	正しく設定されていない可能性があります。	ファクスドライバーの各設定項目を確認してください。
	ファクスドライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがファクスドライバーでの設定より優先されて送信されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
送信先で文字化けが発生する。	OS からアウトラインイメージが取得できないことがあります。	送信先で文字化けが発生する場合は、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。

14.4 エラーメッセージ

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

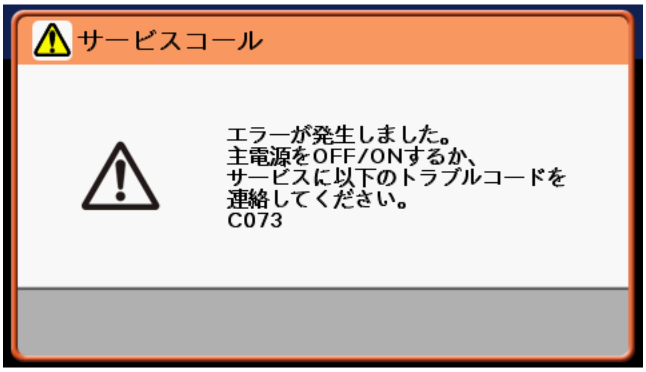
処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[オフフック] [オフフックされています 確認してください]	手動送信後に受話器が上がったままになっています。	受話器を戻してください。
[メモリーフル（ファクス）] [メモリ容量が不足しています 状態を確認してください]	本機のメモリーがいっぱいです。	送信時の場合は、読込み済みの原稿だけを送信するか、または手動で送信しなおしてください。 受信時の場合は、メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
[ファクス送信できませんでした] [ダイアル中にエラーが発生したためファクス送信ができませんでした 所定時間経過後リダイアルします]	ファクス（G3）の送信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[ファクス受信できませんでした] [受信中にエラーが発生したためジョブが正常に終了しませんでした 履歴を確認してください]	ファクス（G3）の受信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[ポーリング受信エラー] [複数の宛先に一度に送信できません]	ポーリング受信に複数の宛先が指定されました。	複数の宛先を指定してポーリング受信することはできません。宛先は 1 件にしてください。
[PC-Fax 送信エラー] [PC-Fax 送信データを受信中にエラーが発生しました]	PC-FAX 送信データを本機で受信したときにエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[PC-Fax 送信禁止] [PC-Fax は禁止されています]	本機で PC-FAX の送信が禁止されています。	PC-FAX の送信機能を有効にしてください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。
[I-FAX 送信できませんでした] [I-FAX 送信中にエラーが発生したため送信できませんでした]	インターネットファクスの送信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[I-FAX 受信できませんでした] [I-FAX 受信中にエラーが発生したためジョブが正常終了しませんでした 履歴を確認してください]	インターネットファクスの受信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[E-mail 送信できませんでした] [E-mail 送信中にエラーが発生したため 送信できませんでした]	E-mail で転送したときにエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[ファクスメモリ残量少] [ファクスのジョブを確認してください]	本機のメモリーがもうすぐいっぱいになります。	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
[ジョブ登録数オーバー] [ジョブの登録が上限値です 登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください]	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。
[ファクス受信ジョブ上限オーバー] [ファクス受信ジョブを印刷するか キャンセルしてください]	ファクス受信ジョブが登録できるジョブの上限をこえています。	ファクス受信ジョブを印刷するか、削除してください。

14.5 ［サービスコール］と表示されたら

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、［サービスコール］というメッセージが画面上に表示されます。

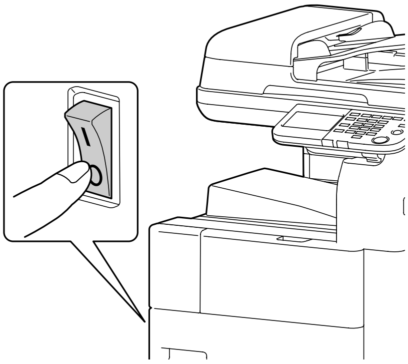
ここでは、サービス実施店にトラブルを知らせる手順を説明します。



⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

- トラブルコード番号を書き留めます。
- **電源スイッチ**を OFF にします。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。



15 付録

15 付録

15.1 製品仕様

15.1.1 ファクス（G3）機能

項目	仕様
適応回線	加入電話回線（PSTN） PBX 回線
通信規格	ECM/Super G3
伝送速度	2.4 kbps ～ 33.6 kbps
伝送時間	3 秒 / ページ （A4、33.6 kbps、JBIG、V.34）
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
ファクスメモリー	256 MB（ファクス（G3）、インターネットファクス送受信）
最大読込みサイズ	**原稿ガラス**：リーガル **ADF**：215.9 mm × 1000 mm
最大記録サイズ	リーガル 1000 mm を超える原稿は受信できません。 ページ分割の設定に従って、長さ 1000 mm までの受信文書を印刷できます。
送受信解像度	高精細（受信のみ）：8 × 15.4 dot/mm、200 × 400 dpi 高精細：16 × 15.4 dot/mm、400 × 400 dpi 精細：8 × 7.7 dot/mm、200 × 200 dpi 標準：8 × 3.85 dot/mm、200 × 100 dpi 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。

15.1.2 インターネットファクス機能

項目	仕様
プロトコル	インターネットファクス（シンプルモード）、TCP/IP、SMTP、POP3
ファクスメモリー	256 MB（ファクス（G3）、インターネットファクス送受信）
ファイル形式	モノクロ TIFF
符号化方式（送信時）	TIFF-S (MH)
符号化方式（受信時）	TIFF-S (MH)、TIFF-F (MR/MMR)
送信解像度	標準：200 × 100 dpi 精細：200 × 200 dpi
受信解像度	200 × 100 dpi、204 × 98 dpi (80 × 38.5 dot/cm) 200 × 200 dpi、204 × 196 dpi (80 × 77 dot/cm) 300 × 300 dpi 200 × 400 dpi、204 × 391 dpi (80 × 154 dot/cm) 400 × 400 dpi、408 × 391 dpi (160 × 154 dot/cm)

15.1.3 PC-FAX 機能

項目	仕様
オペレーティングシステム	Windows Server 2003 (32-bit/64-bit) Windows XP (32-bit/64-bit) Windows Vista (32-bit/64-bit) Windows Server 2008 (32-bit/64-bit) Windows Server 2008 R2 Windows 7 (32-bit/64-bit)
CPU	Pentium 3：400 MHz 以上（Windows Vista：1 GHz 以上）
RAM	512 MB 以上
インターフェース	USB 接続（USB 2.0 (High Speed)） ネットワーク接続（TCP/IP（RAW ポート、LPR））

15.2　こんなときには

15.2.1　ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

参考

- 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、[小]、[中]、[大］で調整できます（工場出荷時は［小］に設定されています)。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお薦めします。

ファクス情報サービスを利用するには

1 ファクス画面の［オフフック］を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

➔ ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、［トーン］または＊を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2 サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3 ［受信］を押し、サービスの案内に従って［実行］または**スタート**を押します。

➔ **スタート**を押した場合は、確認画面が表示されます。［はい］を押し、［OK］を押すと受信が開始されます。

➔ ADF、または**原稿ガラス**に原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

受信が開始されます。

15.3 用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
記号・アルファベット	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	DSN	DSN = Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	ECM	（Error Correction Mode：誤り訂正方式） G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
	F コード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 ＊のサブアドレスの使い方について、CIAJ（情報通信ネットワーク産業協会）が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。（＊通信の規格のことです）

用語	説明
G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novel 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4（Internet Protocol version 4）は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6（Internet Protocol version 6）では、128 ビットの IP アドレスが使われる。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
MDN	MDN = Message Disposition Notifications の略。送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、希望するプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンターに関わる統合的な管理を行うことができる。

用語	説明
NDS	Novell Directory Service の略。ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。IBM 社によって開発された通信インターフェースのこと。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PB	プッシュ式回線のことです。
PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、電子メールのダウンロードや一覧情報の確認、電子メールの削除などの機能をもちます。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティーを確保するために設置されるサーバーのこと
PServer	Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。
Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
Super G3（SG3）	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速（最高 33,600bps）で通信することができます。

	用語	説明
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
あ行	アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。相手機に送信元のファクス番号が正しく登録されている必要があります。
	宛先レベル	情報のセキュリティーのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	一括送信	宛先、送信時刻、メモリー送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリーに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。
	印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由し、読込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer などがある。
か行	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
	キュー名	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。

	用語	説明
	共有プリンター	ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用できるように設定されたプリンターのこと。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報送信や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとじしろ	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじ位置を設定する機能です。両面原稿のとじ位置には、原稿の上側（または下側）にとじ位置がある上下とじと、原稿の左（または右側）にとじ位置がある左右とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
	スプール（Spool）	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 /10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。

	用語	説明
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に送信するファクスのことです。
	長尺原稿	リーガル（355.6 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。 本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。
	ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	ファクスドライバー	コンピューターとファクスの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
	プリンターバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリー領域。
	プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
	フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。 同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事ができない。
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。**プログラム**を押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。ファクスドライバーを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。

	用語	説明
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーがいっぱいになった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
	ローカルプリンター	コンピューターのパラレル／ USB ポートに接続されたプリンターのこと。

16 索引

16 索引

16.1 項目別索引

ら行

16.2 キー索引

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 ______________________

電話番号 ______________________

担当部門 ______________________

担当者 ______________________

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ______________________

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

A3EW-9552FD-12

2011. 10